

佐久市立中学校の運動部活動の地域移行におけるスケジュール等

	R4	R5	R6	R7	R8	R9 以降	目指す姿 (長野県)
休日部活動 (社会教育)	- 協議会（準備会） - 競技団体意見交換	- 地域移行協議会の設置（3回開催） 【佐久市の課題・実施事項】 ①人材確保が急務 ②モデル化（剣道）の検討 ・準備 ③アンケート調査	- 地域移行協議会の設置（4回開催） - 市の「部活動の地域移行に向けた方針」（案）の提示（6月）			【目標】 学校部活動の地域移行	原則として、平日・休日共に 全ての学校部活動を 地域クラブへ移行
			「部活動指導スタッフ人材バンク」の設立 - 教職員（兼職兼業・退職者）、市内事業所（商工会議所等）、経済団体へ働きかけ（10月） - 競技団体への説明、協力依頼 - 研修制度の検討 - 指導者報酬の検討 - ポスター等の作成配布（年度当初）				
			競技別部会の立ち上げ計画（5～6月） - 競技団体、顧問のほか保護者の参加 - 生徒との対話（オンライン対話を検討）				
平日部活動 (学校教育)		顧問・部活動指導員 外部指導者により指導	顧問・部活動指導員・外部指導者・休日指導者（地域クラブ）の連携を探る	学校部活動を地域クラブへ移行に向けた準備期間			

※1...休日部活動...土日いずれか1日の内3時間程度の活動とする（大会参加等除く）
※2...平日部活動...週休日を設け、1日当たり2時間程度の活動とする（大会前等を除く）

部活動がなくなるって本当??

皆さんの中にはテレビや新聞などで、これから中学校の「部活動がなくなる」「部活動の地域移行が行われる」と聞いたことのある方がいるのではないのでしょうか。これを聞いて不安に思っている方もいると思いますが、これはどのようなことなのでしょう。

現在、全国で少子化が進んでいます。そのため中学校ごとにチーム（団体）が組めないなど、部活動を今までのように続けることが難しくなっています。佐久市内の中学校でも部活動の数はだんだんと減っています。

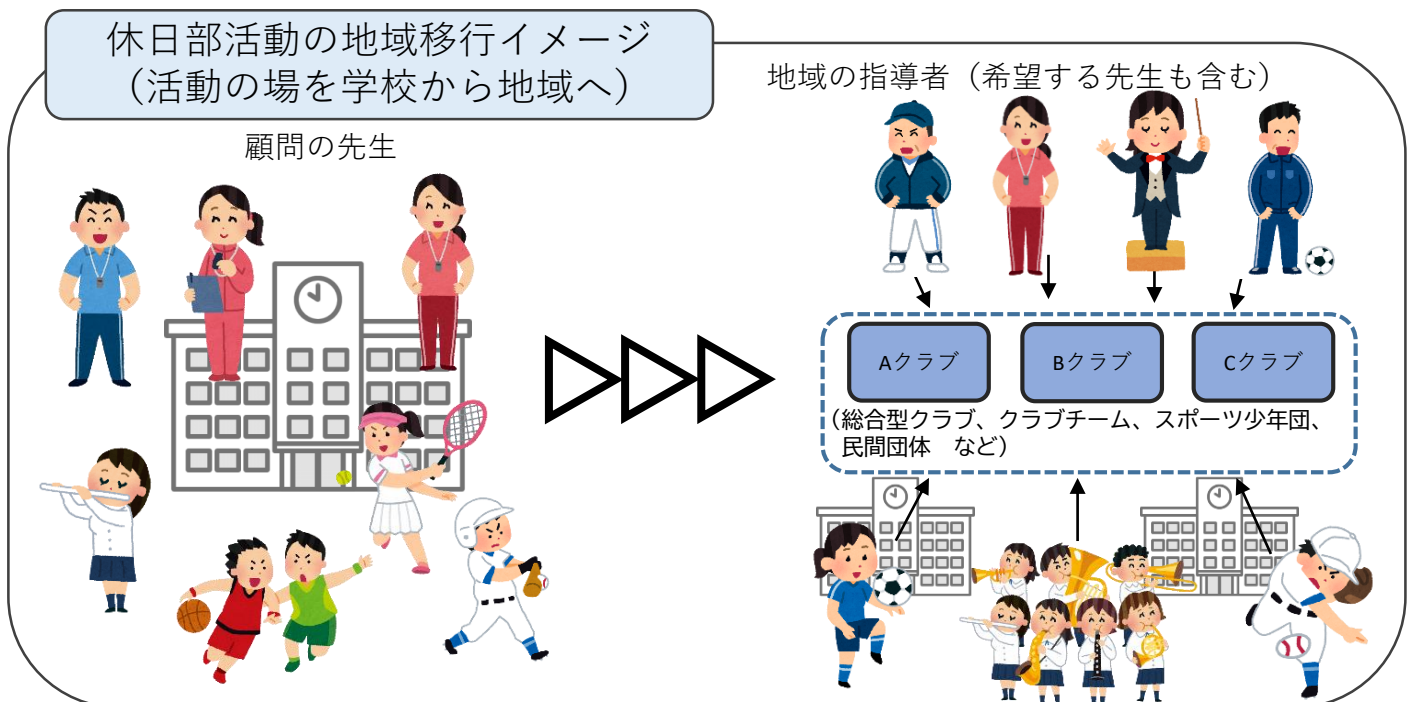
文部科学省（国）では「**将来にわたって生徒がスポーツや文化芸術活動を続けられる**」ように、まず令和7年度※¹までに休日の部活動を地域のクラブなどに移していくことを目標としています。

また、長野県は令和8年度※²までに移すことを目標としています。

そして佐久市では、平日は今までのとおり学校で部活動を行い、**まずは休日（土・日・祝日）だけ地域クラブで活動する体制**を作っていこうと考えています。

このように、すぐに部活動がなくなるのではなく、将来に向かって段階的に学校から地域のクラブなどに活動の場が変わっていくことが「部活動の地域移行」です。

今回のアンケートで、皆さんの考えをお聞きし、佐久市版の「部活動の地域移行」について検討※³していきます。ご協力をよろしくお願いいたします。



※1 「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」
(R4.12スポーツ庁・文化庁)

※2 第2回長野県スポーツ・文化芸術活動連絡協議会資料 (R5.6)

※3 佐久市ホームページに部活動の地域移行の情報をご覧ください。

令和 5 年度 佐久市立中学校の運動・文化部活動の地域移行に向けた アンケート調査結果について（概要）

令和 6 年 3 月
佐久市教育委員会スポーツ課

1 目的及び概要

佐久市立中学校の部活動地域移行に向け、関係する児童・生徒・保護者・教職員が部活動に対してどのような「課題・不安・意見」として抱えているか、現状を把握するためアンケート調査を行った。

なお、長野県教育委員会においても同様の調査が実施されている。（令和 5 年 6 月～7 月実施、令和 5 年 9 月公表）このことから調査項目の重複を避けるため、佐久市独自に調査を要する項目を中心に調査項目を選定したところである。

ついでには、長野県教育委員会が実施の調査結果並びに本調査結果を基に「佐久市立中学校運動部活動の地域移行協議会」等で分析・協議を重ね、当市における中学校部活動の地域移行を検討する。

2 調査対象

- （１）佐久市立小中学校の児童生徒
- （２）上記対象の保護者
- （３）佐久市立中学校に勤務する教職員

3 調査対象数及び回答率

（単位：人・％）

	対象	対象数	回答数	回答率	備考
児 童 生 徒	小学 5・6 年生 ※1	1,690	1,526	90.3	
	中学 1・2 年生 ※1	1,657	1,164	70.2	
保護者	小学 5・6 年生 ※2	1,690	1,237	73.2	
	中学 1・2 年生 ※2	1,657	1,106	66.7	
教職員	中学校	194	134	69.1	栄養教諭・養護教諭を除く
合 計		6,888	5,167	75.0	

※ 1 …対象者数は令和 5 年度学校基本調査の結果を基準とした。

※ 2 …児童・生徒 1 人を 1 世帯として対象者数とした。

4 調査期間 令和 6 年 1 月 1 2 日（金）～ 2 月 9 日（金） 約 4 週間

5 調査手法 Web（QR コード・URL の配信）を利用したアンケート調査及び回収

6 調査結果

- （１）公表時期 令和 6 年 3 月（予定）
- （２）公表場所 佐久市公式ホームページ 等

7 調査実施主体

佐久市教育委員会 社会教育部 スポーツ課
(佐久市立中学校運動部活動の地域移行協議会 事務局)

8 留意事項

- (1) 各調査結果の図表には、原則、小数点以下1位までを表示する。また、複数選択の設問の場合は回答数を分母としている。
そのため、合計は必ずしも100%とならない。
- (2) 記述については、一部抜粋し掲載している部分もある。
- (3) 図において、質問・回答項目を一部省略・加工し表示している箇所がある。

9 本調査における字句について

(1) 小学生5・6年生及びその保護者

クラブ活動の定義…「放課後や休日に行われるスポーツ少年団・クラブチーム(スポーツ)・スクール・ピアノ・書道・合唱・吹奏楽など」のこと

(2) 中学生1・2年生及びその保護者

クラブ活動の定義…「学校部活動以外のスポーツや文化活動(スポーツ少年団・クラブチーム・音楽系活動・各種スクール等)」のこと

佐久市立中学校の運動・文化部活動の地域移行に向けたアンケート調査結果
～小学5・6年生～

【調査の方向性】

問1 放課後や休日のクラブ活動の参加状況

問2 中学校の部活動について

【調査結果】

問1

- 放課後や休日にクラブ活動や習い事に参加している児童は6割以上。活動も平日・休日の両方との回答が多い。休日の過ごし方としてクラブ活動が定着していると読み解ける。
- クラブ活動の種類は市立中学校の部活動にないものも多い。小学生時代のクラブ活動が中学校部活動への接続になっているとは限らない状況がわかる。

問2

- 8割以上が部活動の所属を希望しているが、中学入学前から部活動以外（クラブチーム等）に所属を考えている児童がいる。（希望しない回答者のうち3割程度）
- 部活動でやってみたい競技・活動は、「テニス」や「バスケットボール」が上位につけた。「バドミントン」「ダンス」等の市立中学校の部活動にはない競技への希望が多い。
また、「サッカー」「バレーボール」「野球」といった団体種目への希望が低く、個人競技や多様な種目への志向が確認できた。
- 部活動への期待として「体力・技術の向上」「勝利・良い成績」を求めるよりも、「楽しさ」や「友達関係」を重視する傾向がみられる。

【調査分析結果】

中学入学後の部活動に関心を持つ児童は8割以上であるが、参加を希望しない児童の理由として「やりたくない」との回答が多いことから、児童の部活動に対する考え方が二極化を示している。

また、クラブ活動で現在行っている競技・活動が中学校部活動にないことで接続とならず、競技・活動の見直しをせざるを得ない児童が多いことも判明した。従来の部活動（競技・活動）の種類体制では対応できない状況であり、活動環境を整備するにあたって検討していく必要がある。

佐久市立中学校の運動・文化部活動の地域移行に向けたアンケート調査結果
～中学１・２年生～

【調査の方向性】

- 問１ 放課後や休日のクラブ活動の参加状況
- 問２ 部活動について
- 問３ クラブ活動について
- 問４ 部活動とクラブ活動について
- 問５ 未所属について
- 問６ 部活動の地域移行について

【調査結果】

問１

- 回答者の９割以上が部活動・クラブ活動に所属し、放課後や休日に活動をして日々の生活を送っている。

問２

- 希望どおり部活動に所属している生徒は約８割。希望どおりではないとの回答者からは「バドミントン」を希望する件数が最多。
- 約６割が部活動の競技・活動は中学校入学後に始めたと回答している。小学５・６年生対象の調査結果にある、学童期の競技・活動経験が中学に接続していないことはこの結果にも反映している。
- 部活動継続のための合同部活動（複数校）は「人数が少なければ仕方ない」「合同で活動したい」と肯定的な意見が約８割おり、部活動継続を望む意見である。

問３

- 学校部活動以外のクラブ活動（クラブチーム）では「バスケットボール」が最多。
- クラブ活動に所属理由として「学童期からの継続・部活動よりも専門的な指導」が挙げられた
- 活動時間が部活動に比べ長くなる傾向が見受けられる。

問４

- 部活動とクラブ活動を両立する理由は「それぞれの活動の基礎練習・体力づくりのため」の割合が高く、両立による相乗効果を期待するものであった。

問５

- 部活動に所属しない理由では「やりたくない」「やりたい部活動がない」との意見が多い。学童期に「やりたくない」と回答した傾向との関連性を調査する必要がある。

問６

- 「部活動の地域移行」の情報不足が顕著であった。
- 休日部活動への参加は肯定的である傾向と分析できる。

【調査分析結果】

合同部活動・休日部活動の参加・指導者の属性等を分析し、地域移行後の部活動が「目指す姿」について検討が必要と考える。特に、調査結果には生徒が部活動を継続したいと考えが現れている。希望者が多い競技の環境整備などについて、検討の余地がある。

佐久市立中学校の運動・文化部活動の地域移行に向けたアンケート調査結果
～小学5・6年生の保護者～

【調査の方向性】

- 問1 放課後や休日のクラブ活動の参加状況
問2 部活動の地域移行について
問3 保護者の経験・指導について

【調査結果】

問1

- 活動状況等については、小学校5・6年生対象の調査結果と同じ傾向であった。
- 送迎面では保護者の自家用車による送迎(自宅より15分圏内)が担っている
- 金銭面では5,000円以内の月謝との回答が多いが、遠征等の年間経費は競技・活動の種類比較検討は難しい。

問2

- 「部活動の地域移行」を6割以上が認知され、地域移行後の部活動への参加も肯定的である。
- 既存の部活動の競技等のほか、地域移行後は「プログラミング」「バドミントン」「ダンス」といった競技・活動に対する希望が高く、現在の活動を継続させたい意向が確認できる。
- 地域移行後の保護者負担では、クラブ活動の月謝と同じく5,000円以内が許容範囲との回答が8割以上、送迎面では自宅から概ね片道30分以内であれば約8割が送迎可。
- 送迎できない理由として休日に仕事があるとの割合が高い。
- 地域移行後の部活動には専門的な知識・資格を持った指導者の配置を希望している。
- 合同部活動で部活動が継続できる場合、他校の会場でも参加希望が約7割であった。
- 自由記述の意見は「保護者負担・指導者確保・情報提供・学校部活動の維持」が多数

問3

- 保護者の部活動所属経験は、現在の中学生と比較し1割程度高い。部活動未所属の割合は概ね同率であり、部活動以外で活動する「場」は増えたことがわかる。
- 部活動指導が可能である保護者は7%程度にとどまり、指導者確保にはつながりにくい状況である。

【調査分析結果】

「部活動の地域移行」の認知は6割にとどまっており、今後正確な情報周知が必要である。

保護者負担は一定程度協力を得られるものと推測はできるが、自由記述では負担（特に送迎に対する負担）を避けたいとの意見が多く寄せられた。

また、保護者負担をするのであれば、より専門的で高度な指導や、ハラスメント等の研修を受けた指導者による指導を受けたいとの意見も多く寄せられた。

現在の学校部活動の継続を望む声、休日部活動は不要との声も少なからず寄せられた。

中学進学を控えた児童の保護者と情報の共有をしながら、部活動の地域移行を検討する必要がある。

佐久市立中学校の運動・文化部活動の地域移行に向けたアンケート調査結果
～中学１・２年生の保護者～

【調査の方向性】

- 問１ 学校の部活動やクラブ活動の参加状況
- 問２ 部活動の参加状況
- 問３ クラブ活動の参加状況
- 問４ 部活動の地域移行について
- 問５ 保護者の経験・指導について

【調査結果】

問１

- 中学１・２年生の回答と方向性は同じ

問２

- 部活動の活動日数は４～５日が多いところ、活動時間では平日２時間以上、休日３時間以上と活動しているとの回答も見受けられる。
- 部費（月額）は３,０００円未満の割合が高く、部活動が地域移行した後に保護者の負担を必要となった場合、理解を得ることがハードルになることが想定される。
- 保護者が部活動に求めるものとして、送迎が必要ない点や人間関係の構築について期待していることが確認できた。

問３

- クラブ活動は技術向上や専門的な指導を受けるため参加していることが考えられる。
- クラブ活動の月謝は部活動よりも高額となっている。

問４

- 小学生保護者に比べ部活動の地域移行について７割強が認知している。
- 地域移行後の部活動への参加については、「わからない」との回答が３割以上となり、情報不足から状況が分からず判断に苦慮している。
- 地域移行後の保護者負担（金銭面・送迎面）の許容できる範囲は、小学生保護者と同程度であり、送迎が難しい理由として休日の仕事との回答であった。
- 地域移行後の部活動には専門的な知識・資格を持った指導者の配置を希望している。
- 合同部活動で部活動が継続できる場合、他校の会場でも参加希望が約７割であった。
- 自由記述の意見は「保護者負担・指導者確保・情報提供・学校部活動の維持・活動の方向性」が多数

問５

- 小学生の保護者の回答と回答の方向性は同じであった。

【調査分析結果】

回答の方向性は、小学生保護者と類似した結果となった。

部活動の地域移行がこれからどのように進められるのか、現在の中学１・２年生は当事者の年代であることから、不安を抱える保護者は多く、情報を求める意見が多く寄せられた。小学生保護者と同様に、今後正確な情報周知が必要である。

佐久市立中学校の運動・文化部活動の地域移行に向けたアンケート調査結果
～中学校教職員～

【調査の方向性】

- 問1 部活動の指導状況
- 問2 休日の地域移行に向けて
- 問3 平日の地域移行に向けて
- 問4 部活動の役割について
- 問5 部活動の地域移行について

【調査結果】

問1

- 運動部、文化部で8割以上の教職員が顧問を務めている。(市立中学校で計158名)
- 顧問を持つ部活動で未経験の教職員は約6割(未経験だが、指導経験はあるも含む)
- 平日、休日共に部活動指導に関わる時間が長く(指導以外の準備・引率等も含む)、部活動顧問の業務に負担を感じている状況が改めて確認された。

問2

- 部活動の地域移行後の休日に約8割の教職員が指導を希望していない。
生徒の成長を間近に感じたいと、部活動指導を希望する教職員の回答もある。
- 希望報酬額は1時間あたり2,000円以上を求める声が多い。
- 指導を希望しない理由では、家庭や家族の時間を大切にしたいとの意見が多い。

問3

- 問2と同じく、部活動の地域移行後は平日も指導を希望しない教職員が約8割であり、指導を希望しない理由についても同様であった。
- 希望報酬額は、1時間あたり2,000円以上を求める声が多く、休日と同程度であった。

問4

- 「多様な経験により成長」「人間関係を構築」することが部活動の良い面として捉えられており、「仲間や顧問とのトラブル」「疲れにより勉強が疎かになる」といったマイナス面が懸念されている。

問5

- 部活動の地域移行後は「学校」から「地域クラブ」の活動・大会出場へ変化することについて約7割が賛成である一方、学校単位での活動等を望む声もあった。
- 部活動の地域移行について、「合同部活動」「働き方改革」の肯定的な意見が見られる。その一方で保護者が抱える不安に加え、「地域の指導者が確保できず、教職員が継続して指導を続ける可能性」「地域移行の受け皿となる団体の整備」を部活動の現場として不安を回答している。

【調査分析結果】

「部活動指導の負担の大きさ」がありつつも、生徒の成長を感じながら部活動指導に携わりたいと考える教職員が部活動を担っている状況が判明した。

これまで教職員が負担してきたものを、いかに地域が受け皿となるか競技・活動ごと部会などにより個別の検討が必要である。

佐久市立中学校の運動・文化部活動の 地域移行に向けたアンケート調査結果

(1) 小学 5 ・ 6 年生 版

対象児童数	回答件数	回収率
1，690人	1，526件	90.3%

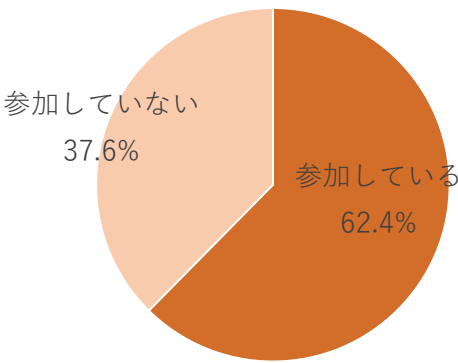
佐久市教育委員会 社会教育部 スポーツ課
令和 6 年 3 月

問 1 放課後や休日のクラブ活動の参加状況

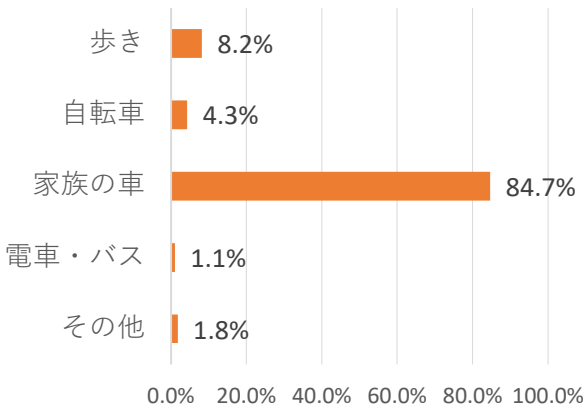
- ・ 放課後や休日の活動状況について質問。
- ・ 回答者の 6 割以上が、何らかのクラブ活動や習い事に参加している。
- ・ 家族の車により、15 分～30 分程度の範囲にて活動しているケースが大半である。

※クラブ活動の定義・・・「放課後や休日に行われるスポーツ少年団・クラブチーム（スポーツ）・スクール・ピアノ・書道・合唱・吹奏楽など」のことを称す。

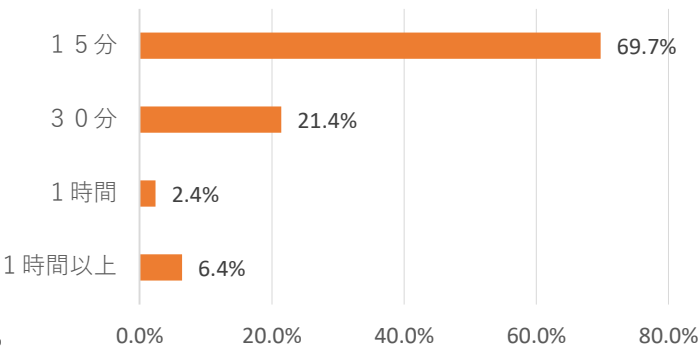
① 放課後や休日にスポーツや音楽などのクラブ活動への参加



② クラブ活動の場所までの交通手段

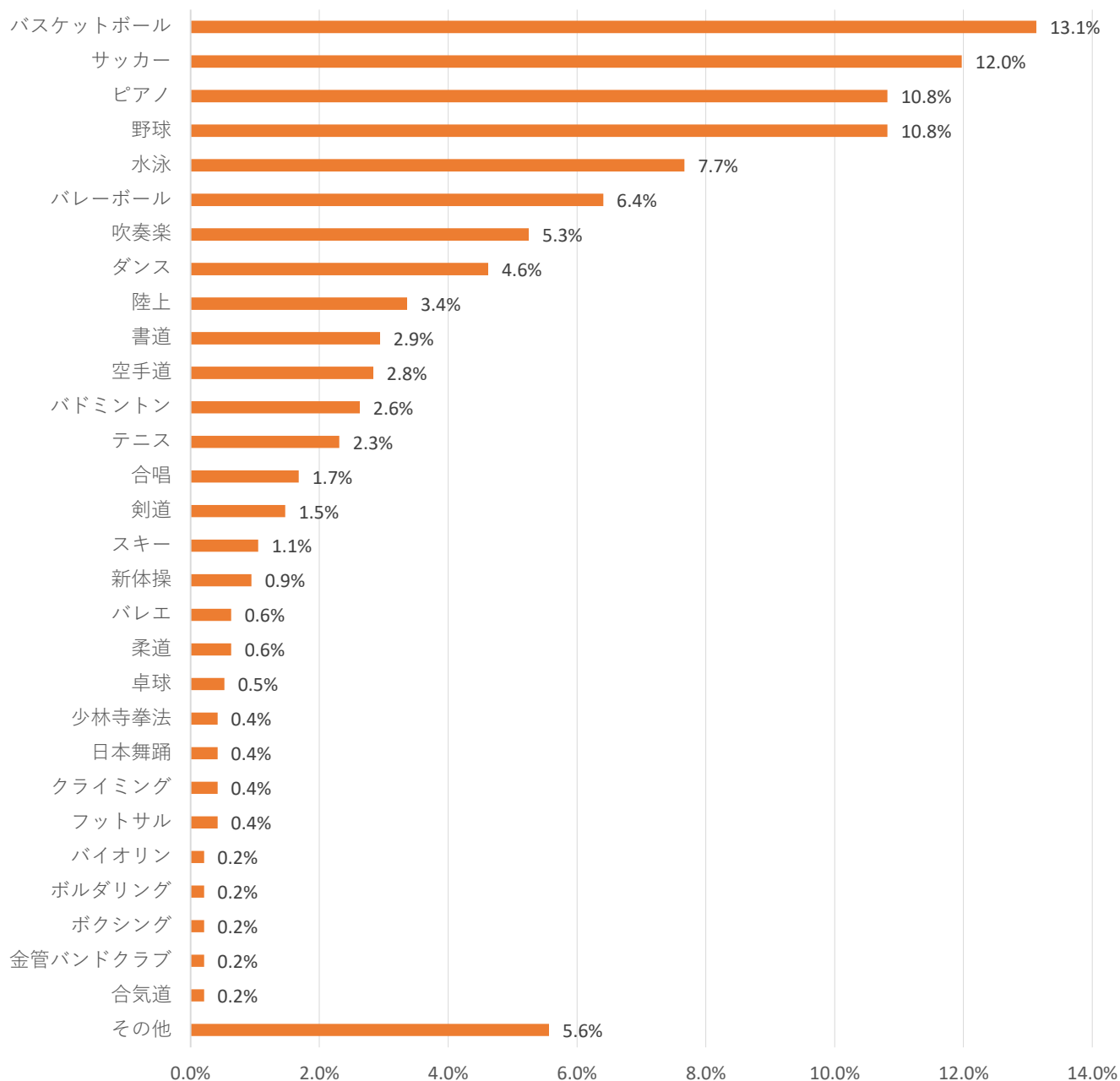


③ クラブ活動の場所までの移動時間



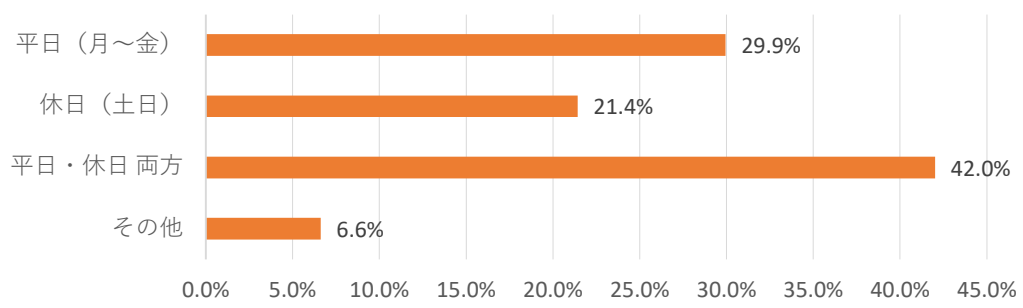
- クラブ活動の種類は、上位からバスケットボール（13.1%）、サッカー（12.0%）、ピアノ・野球（10.8%）となった。
- また、中学校の部活動にはない競技・活動も多く、多様な活動が行われている様子が読み取れる。

④ 参加しているクラブ活動の種類

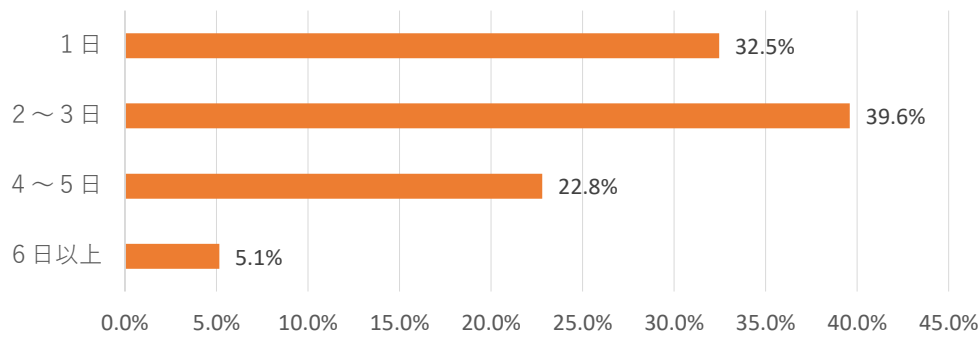


- 平日・休日を問わず、クラブ活動・習い事に参加している実態がある。
- 週末（土・日）中心に活動しているクラブが多い実態を確認できる。
- 1 回あたりの活動時間は概ね午前か午後の半日単位と推測できる。

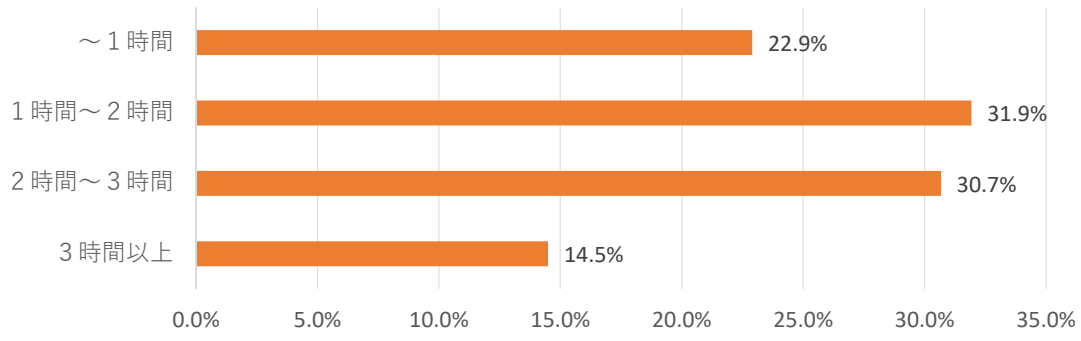
⑤ クラブ活動の活動日（曜日）について



⑥ クラブ活動の練習回数（1 週間単位）について



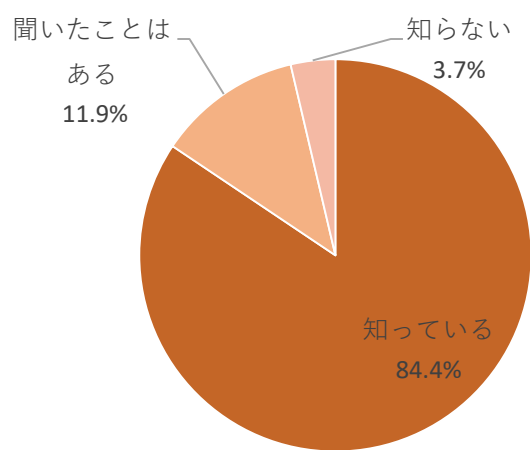
⑦ クラブ活動の 1 回あたりの練習時間について



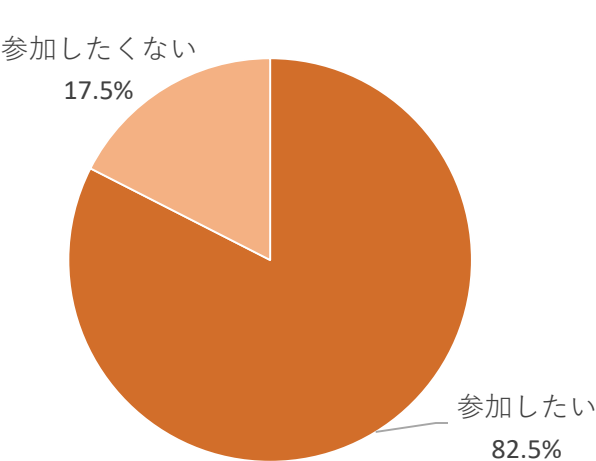
問 2 中学校の部活動について

- 部活動への認識、部活動への期待について質問。
- 5・6年生はほぼ全員が中学校部活動を認知しており、8割以上が参加を希望しているものの、「クラブチーム（スポーツ）に入りたい」「やりたくない」との回答も見える。

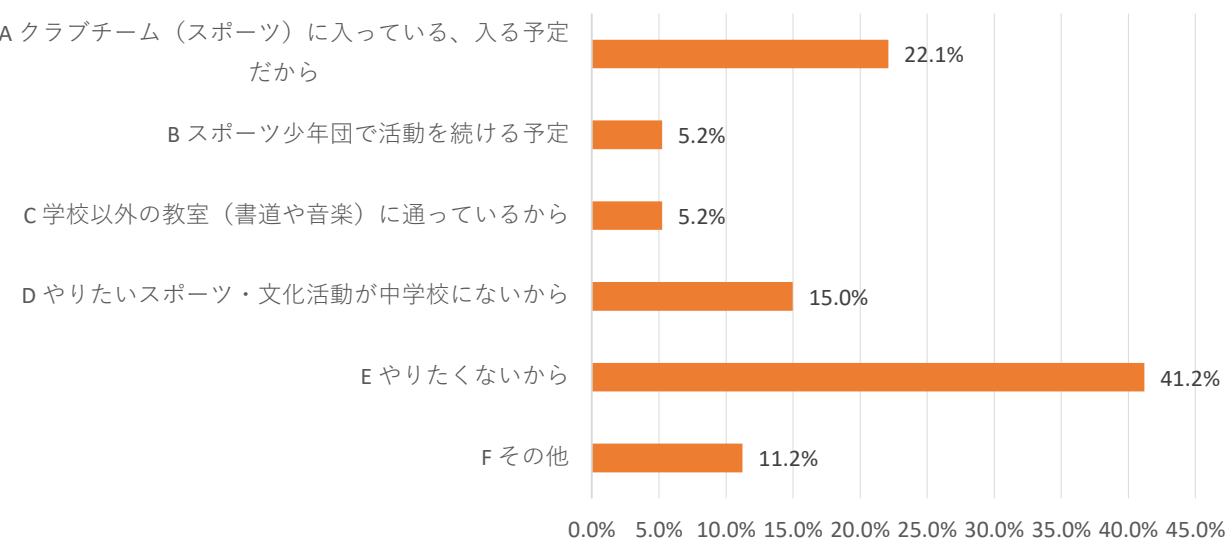
① 部活動を知っていますか？



② 部活動に参加したいですか？

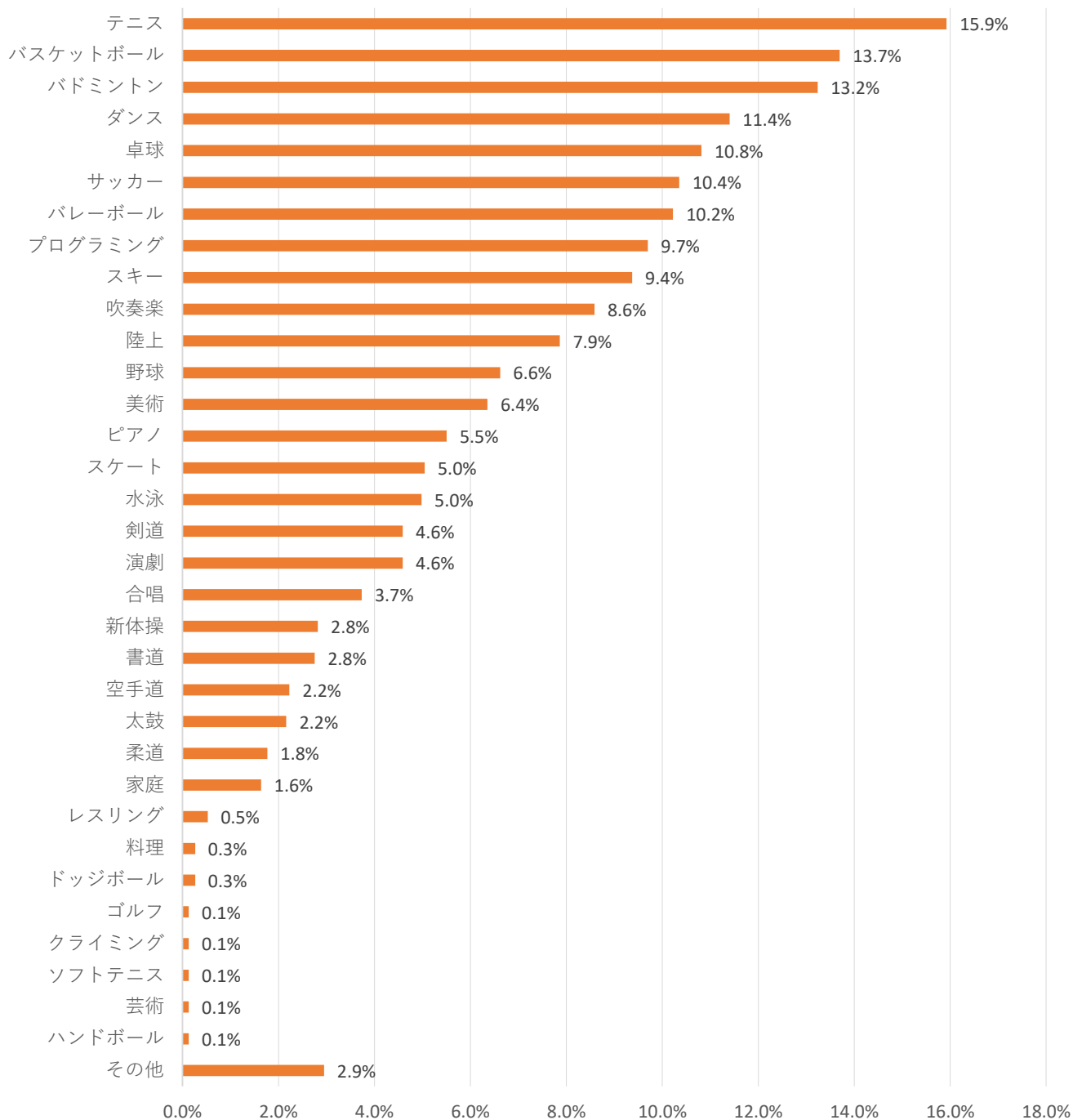


③ 部活動に参加したくない理由は？



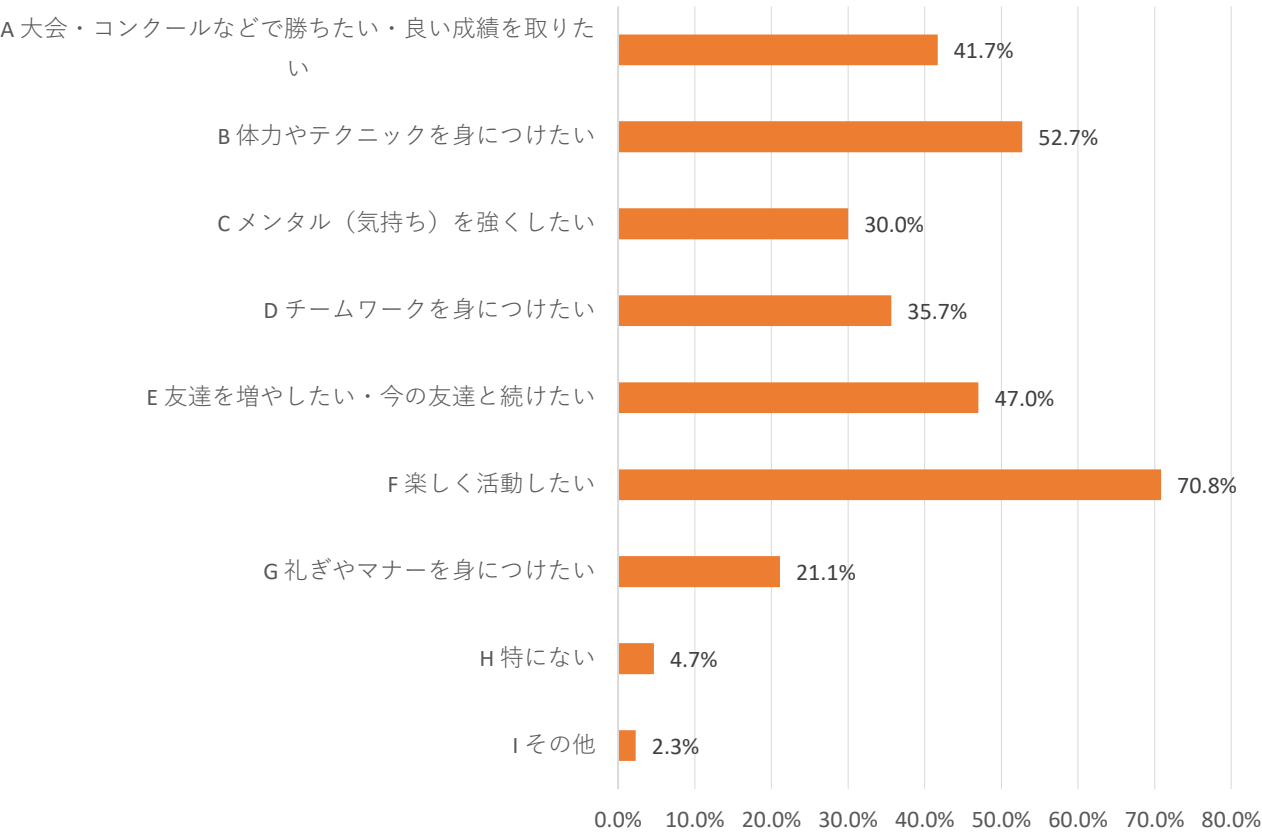
- テニス・バスケットボール等の競技のほか、「バドミントン」「ダンス」といった部活動にない競技への希望が確認できる。
- これまで市立中学校で活動している「サッカー」「バレーボール」「野球」への回答割合が低いことから、団体から個人競技志向や多様な種目が児童に展開している事が確認できる。

④ 部活動でやってみたい競技・活動は？（複数選択）



- 楽しく活動したいとの回答が特徴的である。
- 部活動には「体力・技術の向上」、「勝利・良い成績」を期待するよりも「楽しく活動したい」「友達関係」を期待する声が多くなった。

⑤ 中学入学後、部活動に期待すること（複数選択）



佐久市立中学校の運動・文化部活動の 地域移行に向けたアンケート調査結果

(2) 中学 1 ・ 2 年生 版

対象世帯数	回答件数	回収率
1, 6 5 7 人	1, 1 6 4 件	7 0 . 2 %

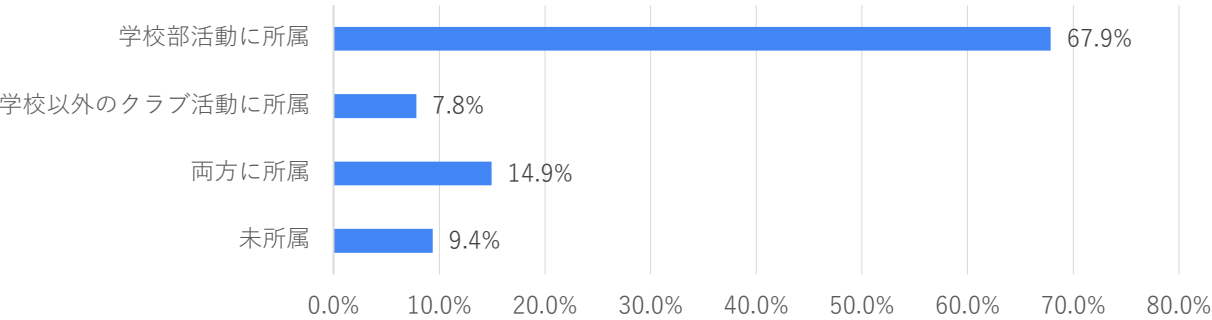
佐久市教育委員会 社会教育部 スポーツ課
令和 6 年 3 月

問 1 学校の部活動やクラブ活動の参加状況

- 部活動やクラブ活動の状況について質問。
- 8割以上の回答者が部活動に所属しており、約1割は部活動及びクラブ活動へ所属していなかった。
- 個人競技のほか、「バスケットボール」「バレーボール」といった団体競技の所属が多い。

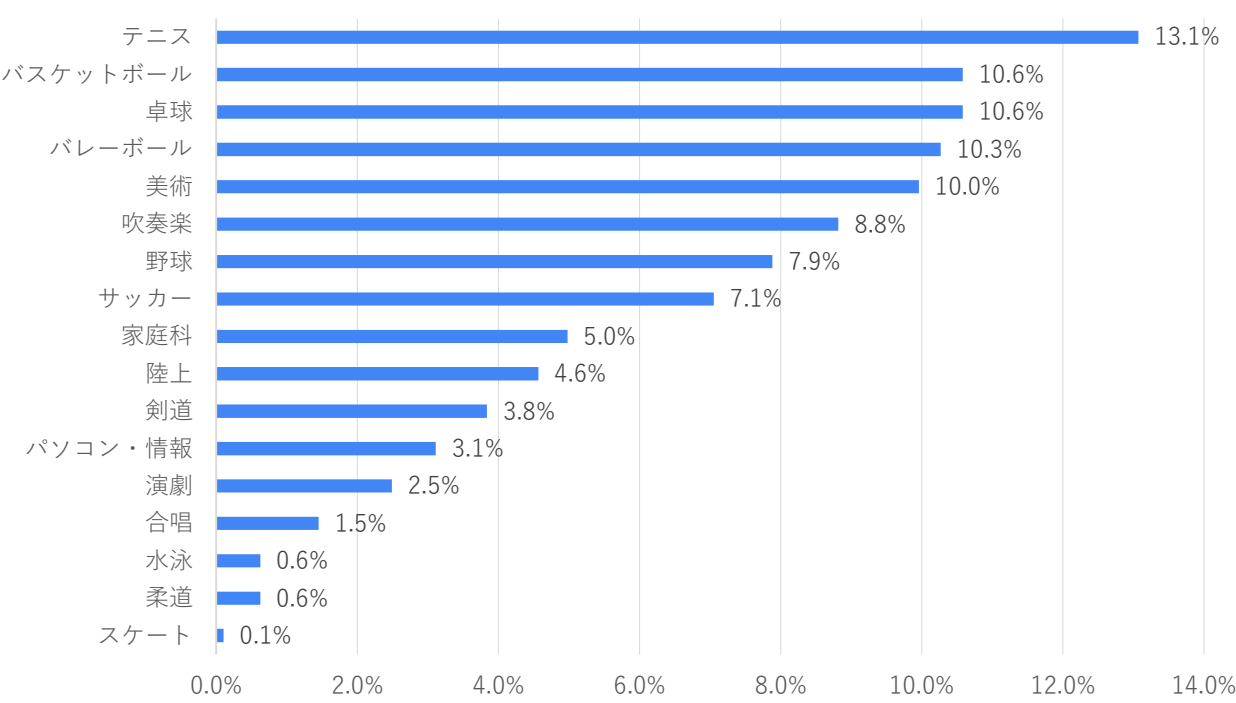
※クラブ活動の定義・・・学校部活動以外のスポーツ・文化活動（スポーツ少年団・クラブチーム・音楽系活動・各種スクール等）をまとめて称する

① 学校の部活動やクラブ活動への所属・活動状況



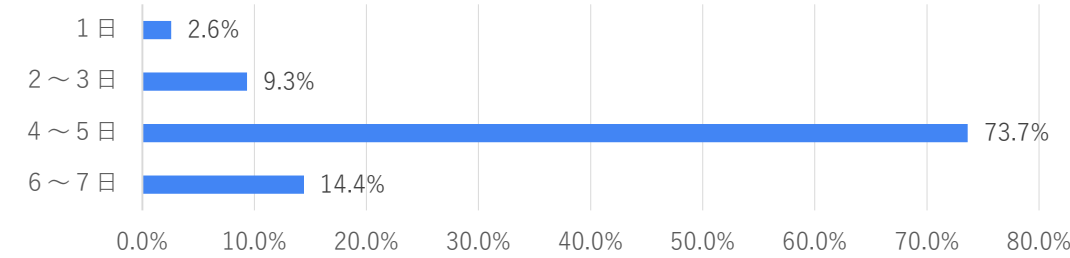
問 2 部活動の参加状況

① 部活動の所属状況

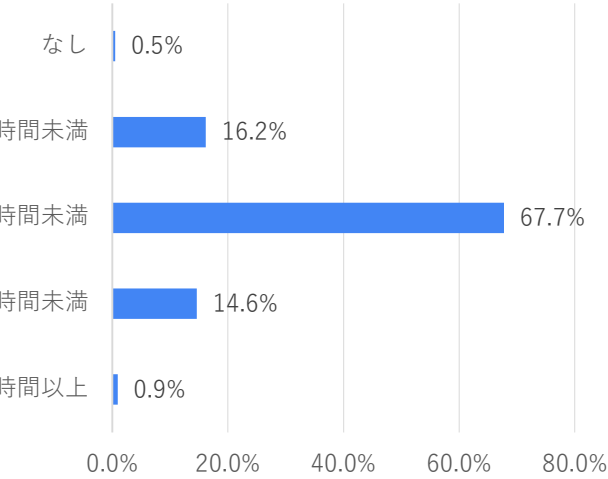


- 活動日数は4～5日が最多となっており、平日を中心に活動している様子が見られる。
- 8割近くの回答者が希望する部活動に所属できている。希望の部活動が中学校になかったのは1割程度に留まっており、かなりの程度ニーズに応えられている様子が見て取れる。

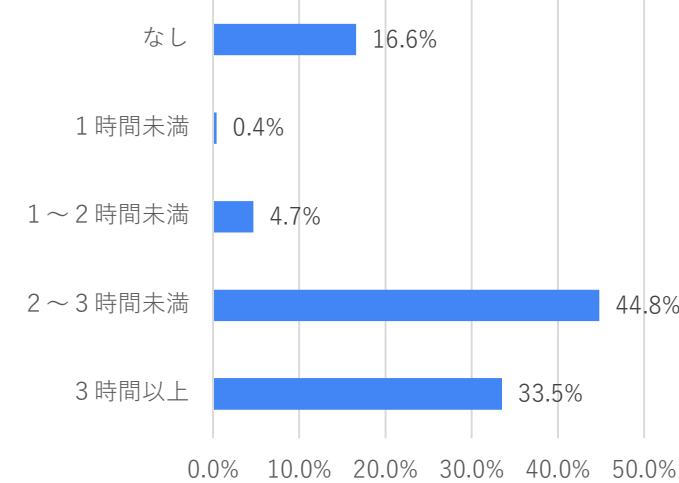
② 部活動の活動日数（1週間あたり）



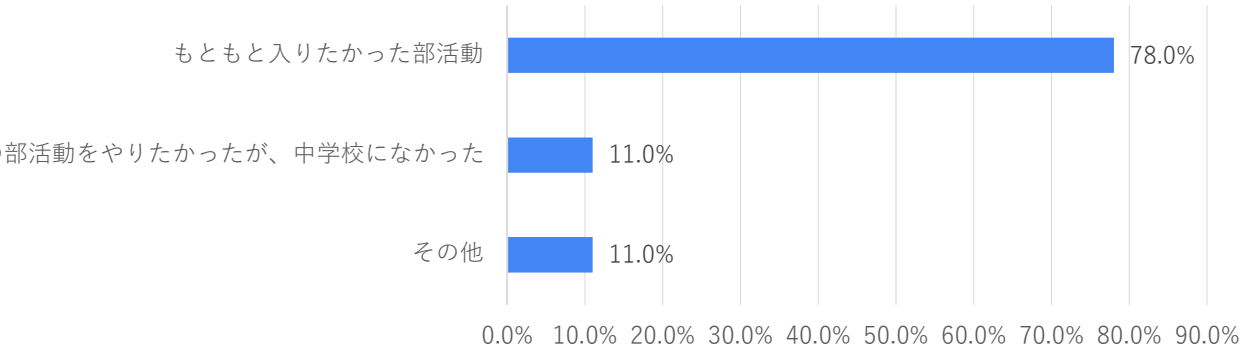
③ 平日1回あたりの活動時間



④ 休日1回あたりの活動時間

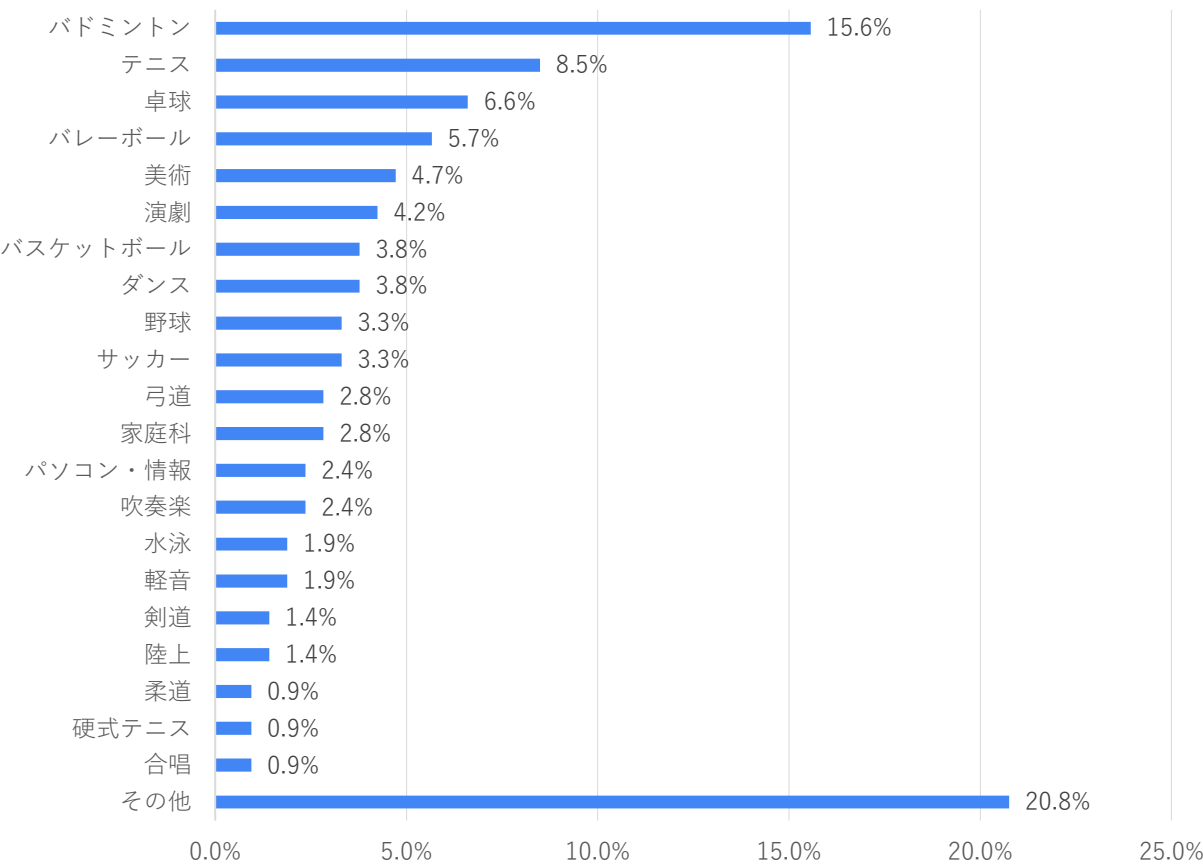


⑤ 希望する部活動への所属状況

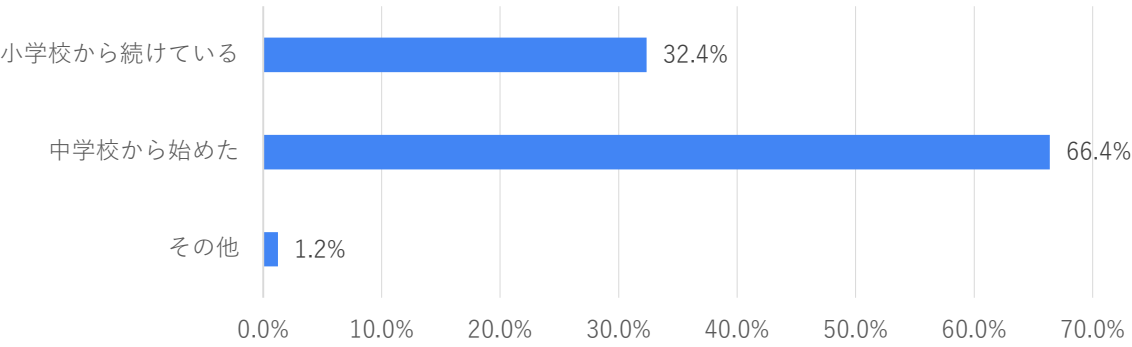


- 入りたい部活動は市内の中学校にはない「バドミントン」が最も多かった。設置していない中学校のある部活動も上位にあることから、既存の部活動への関心がうかがえる。
- 所属している部活動は、中学校から始めたケースが2/3を占めており、残りの回答者のほとんどは小学校から続けている活動を継続している。

⑥ 入りたい部活動（「もともと入りたい部活動」に入っていない場合）

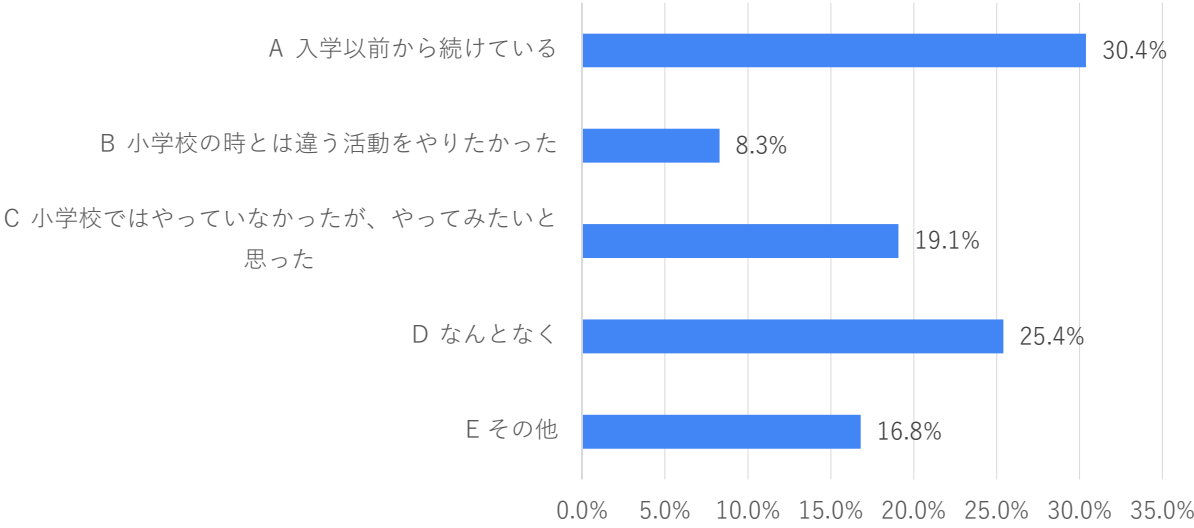


⑦ 所属の部活動の開始時期



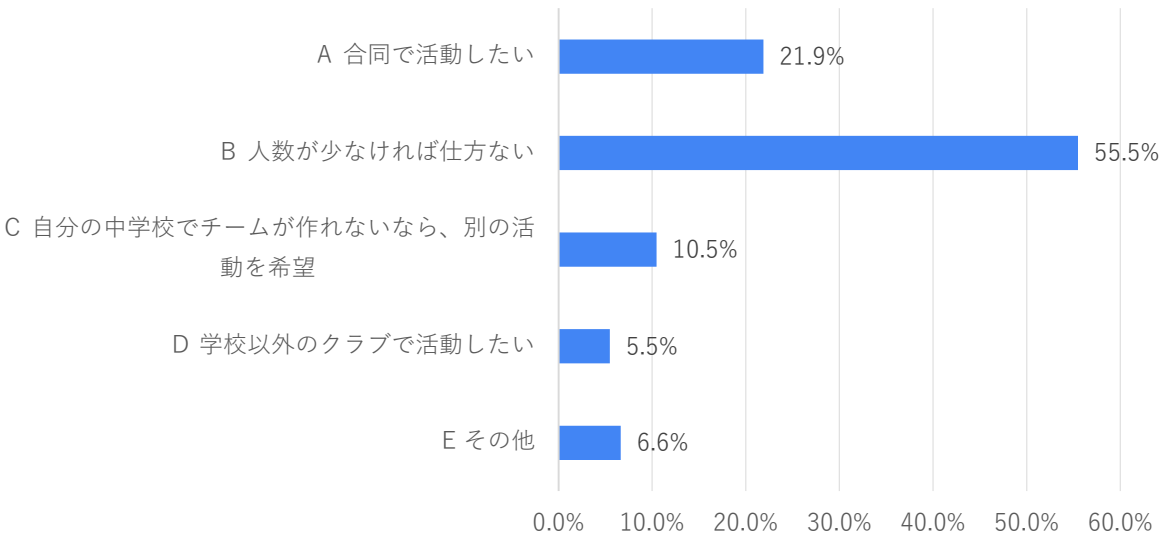
- 3割程度の回答者が入学以前から継続した部活動を行っている。また、中学校入学を機に新たな活動を始めている回答者も一定数確認できる。
- 部活動を継続するためであれば、合同部活動を行うことを8割近くの回答者が考えている。「別の活動を希望」「学校以外のクラブで活動を希望」する回答者は少数であった。

⑧ 所属している部活動を選んだ理由



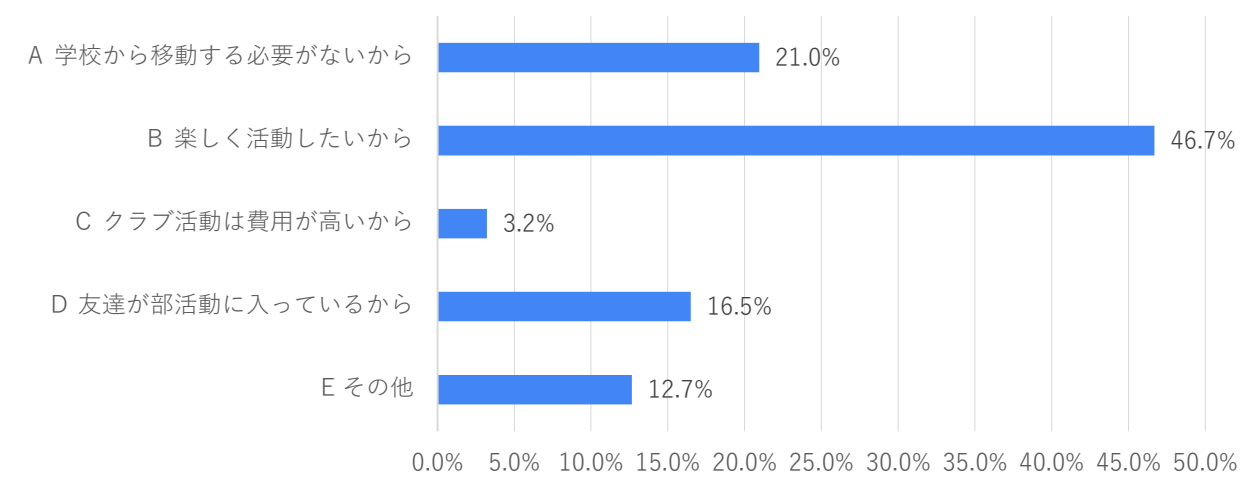
⑨ 他校との合同部活動について
(追加想定)

今後部活動の部員が減少していくと想定される。他校と合同で活動することにより、活動が継続できると想定

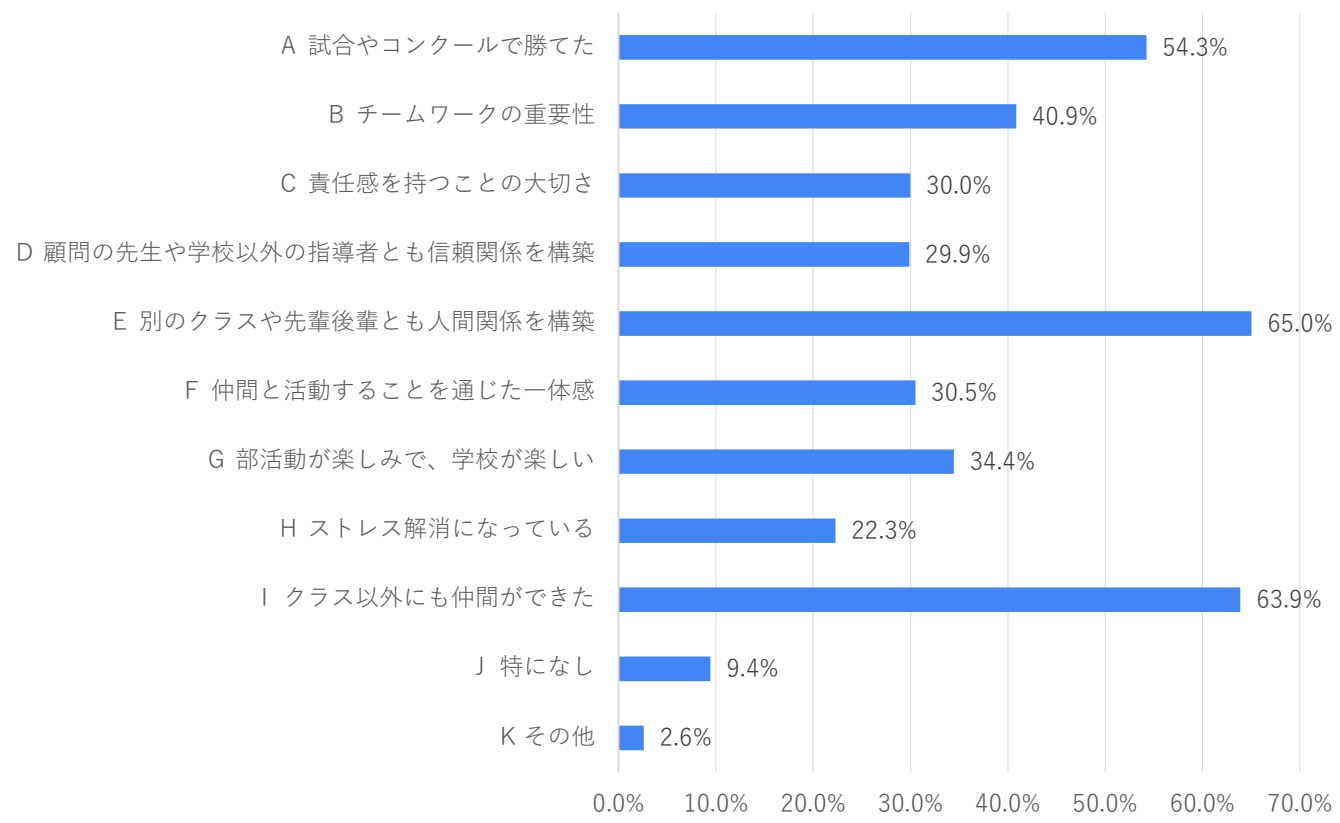


- 楽しく活動するために学校部活動を選択する回答者が約半数おり、最も重要な要素となっている。
- 部活動で感じる良い面として、試合やコンクールなどで成果を出すことが半数を超えるが、それ以上に部活動での人間関係の構築を挙げる回答者が多くなっている。
- 部活動においては、勝利や成績だけでなく、「楽しさ」「人間関係」を重要視していることが確認された。

⑩ 学校以外のクラブ活動ではなく、部活動に所属している理由
 （追加想定）クラブ活動を選ばなかった理由

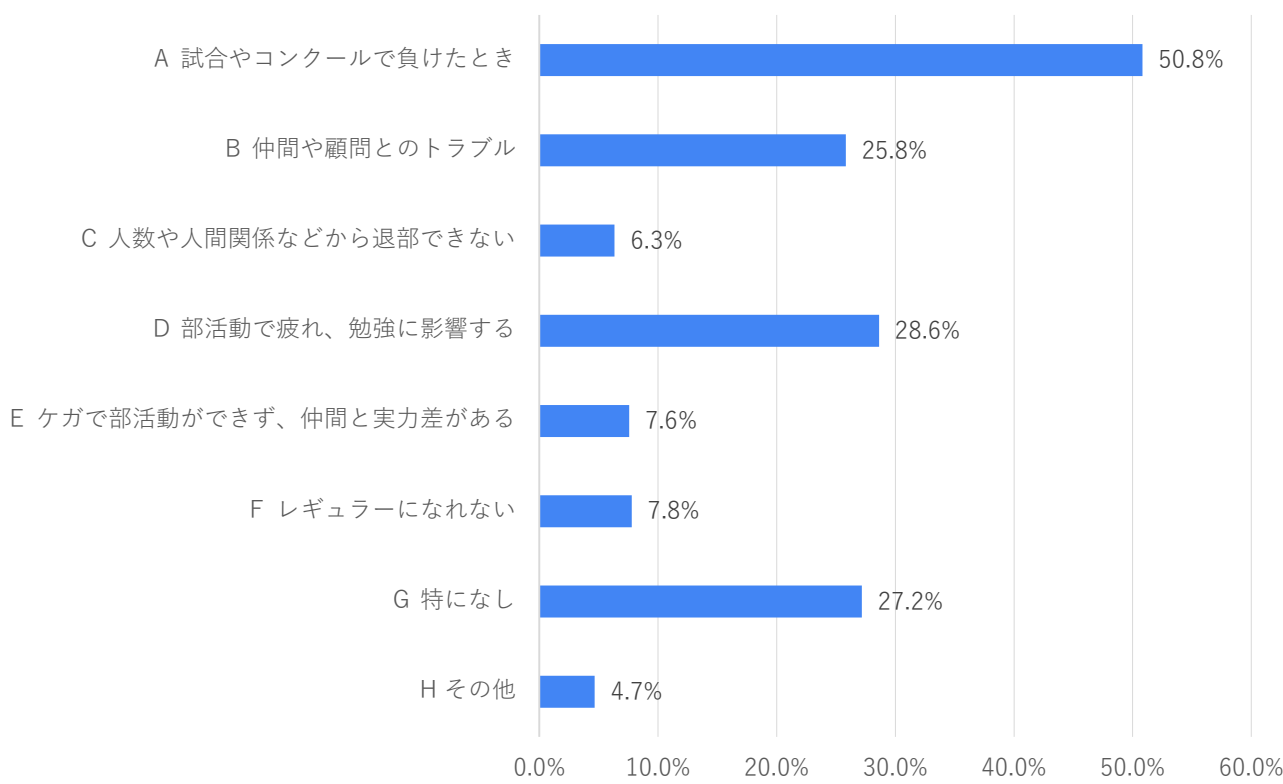


⑪ 部活動で「よかった・楽しかった」と感じる点（複数選択）



- 部活動で残念・辛いと感じることについて、「試合やコンクールで負けた時」と答えた回答者が半数を占めた。次いで「疲れて勉強に影響する」「人間関係のトラブル」といった回答が多かった。
- 特になし、との回答も3割程度と多くなっている。

⑫ 部活動で「残念・辛い」と感じる点（複数選択）

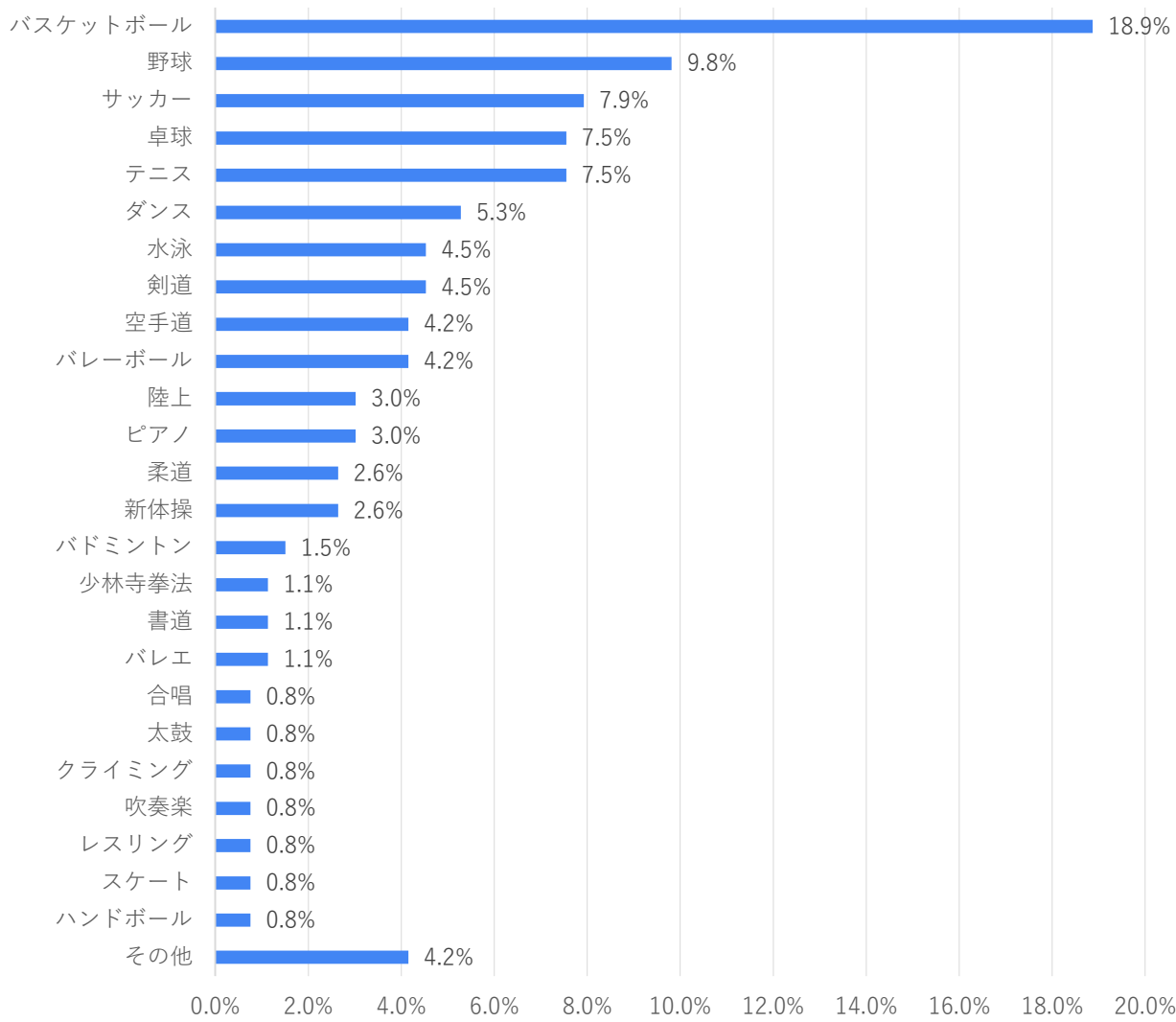


問3 クラブ活動の参加状況

- クラブ活動への参加状況について質問。
- クラブ活動では、「バスケットボール」を行う回答者が約2割と最も多かった。続いて、「野球」「サッカー」などが多数となった。
- 部活動にある競技が上位に多く見られることから、技術向上やより高いレベルを目指している者は、部活動よりもクラブ活動を行っていることが考えられる。

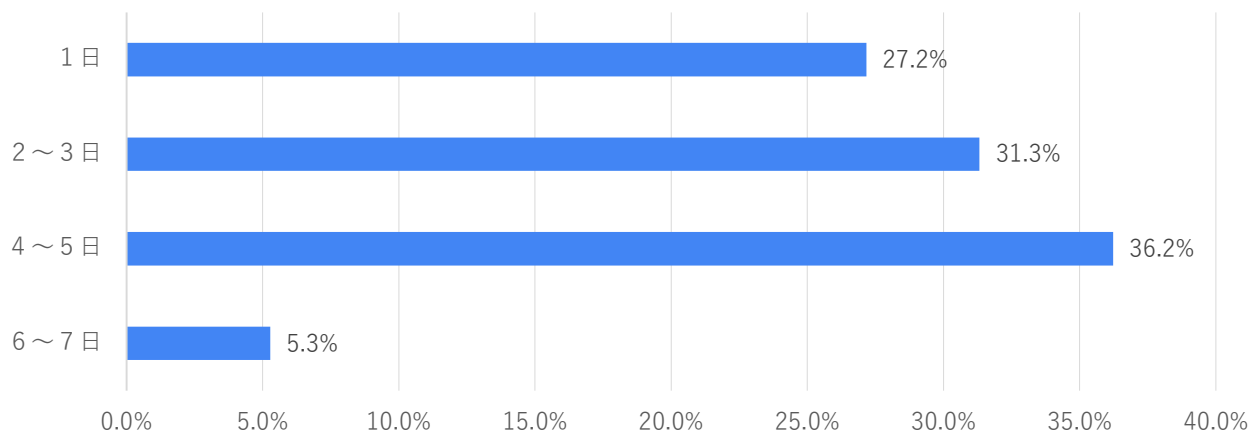
※クラブ活動の定義・・・学校部活動以外のスポーツ・文化活動（スポーツ少年団・クラブチーム・音楽系活動・各種スクール等）をまとめて称する

① クラブ活動の所属状況

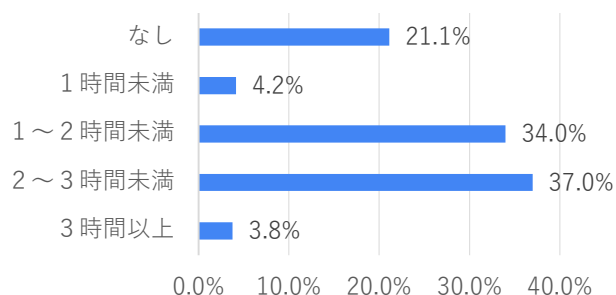


- 活動日数は週4～5日が最も多くなっているが、ほぼ毎日活動している活動も確認された。
- 休日は平日よりも活動時間が長く、集中的に実施してる様子が確認できた。一方、平日及び休日のみ活動しているクラブも一定数ある。
- 活動場所への移動手段は車での送迎が最も多くなっており、保護者などの負担が発生している。

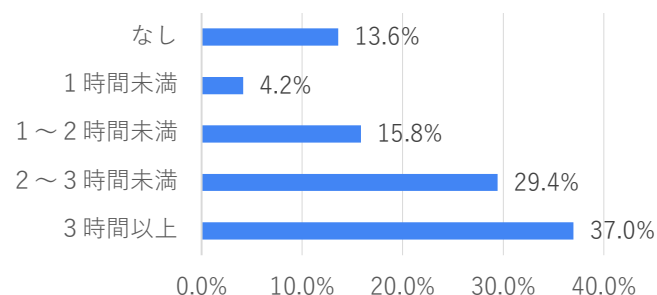
② クラブ活動の活動日数（1週間あたり）



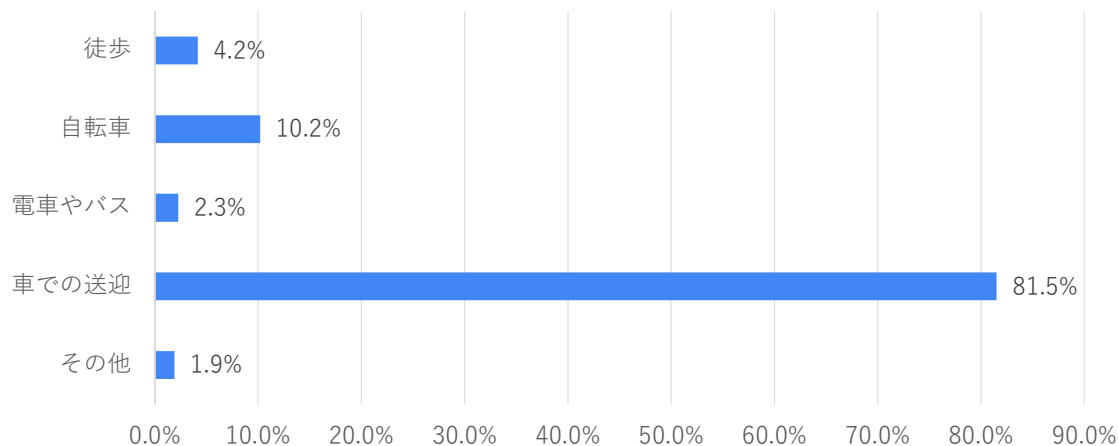
③ 平日の1回あたりの活動時間



④ 休日の1回あたりの活動時間

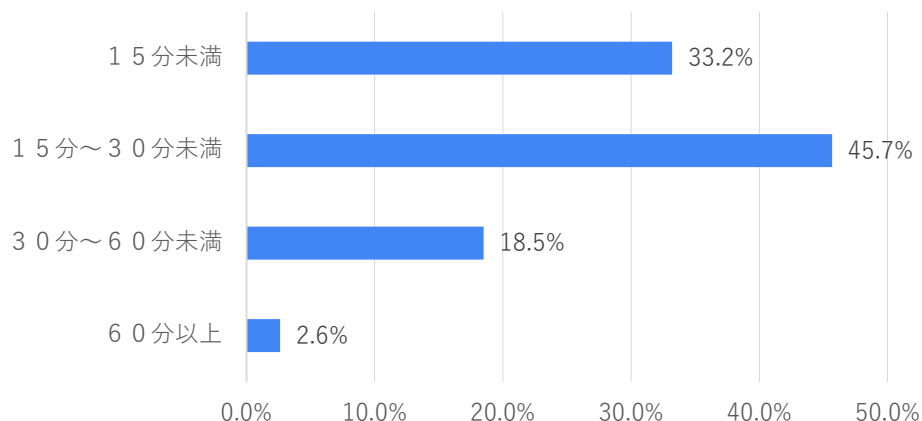


⑤ 活動場所への移動手段

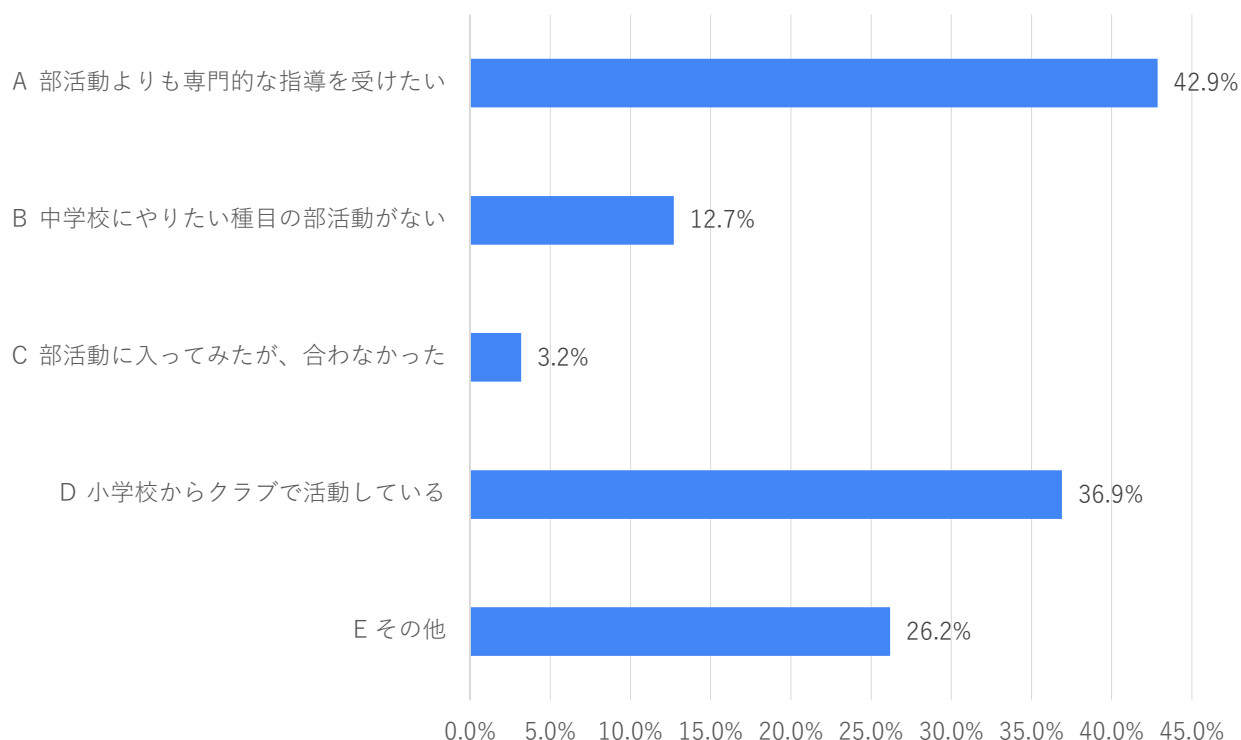


- 活動場所への移動には8割近くが30分未満だが、残り2割は30分以上を要している。
- クラブ活動には、「より専門的な指導」を求めている回答者が4割以上に上った。一方、「やりたい部活動がない」「部活動が合わなかった」を選んだのは、約16%であったことから、部活動の不满によるクラブ活動所属者は少ない。

⑥ 活動場所への移動時間



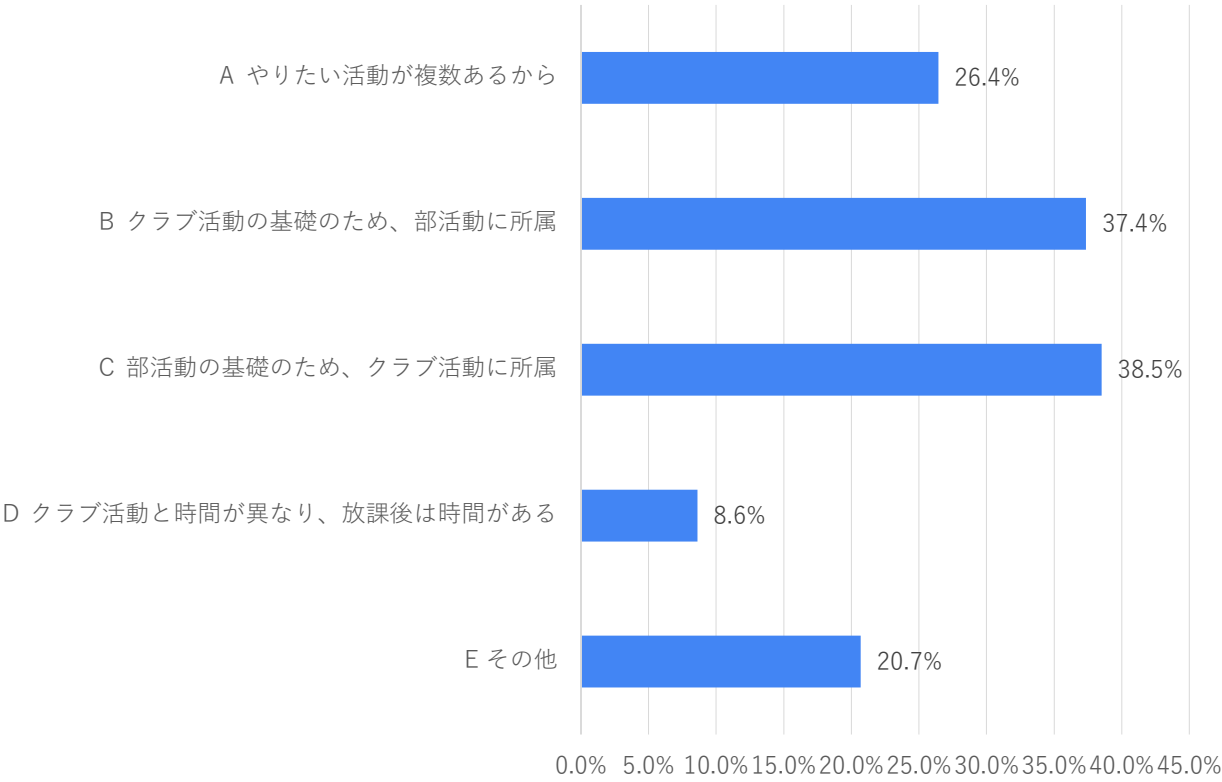
⑦ クラブ活動に所属している理由（複数選択） （追加想定）学校部活動を選ばなかった理由



問 4 部活動とクラブ活動について

- 部活動とクラブ活動両方に所属する理由について質問。
- 両方の活動に所属する理由について、どちらかの活動の基礎とするために所属している割合が8割近くとなった。
- やりたい活動が複数ある、の選択割合が次いで多かった。

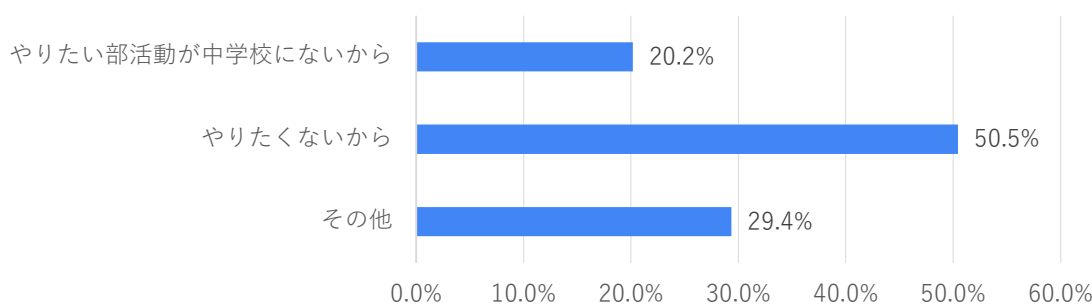
① 部活動とクラブ活動の両方に所属する理由（複数選択）



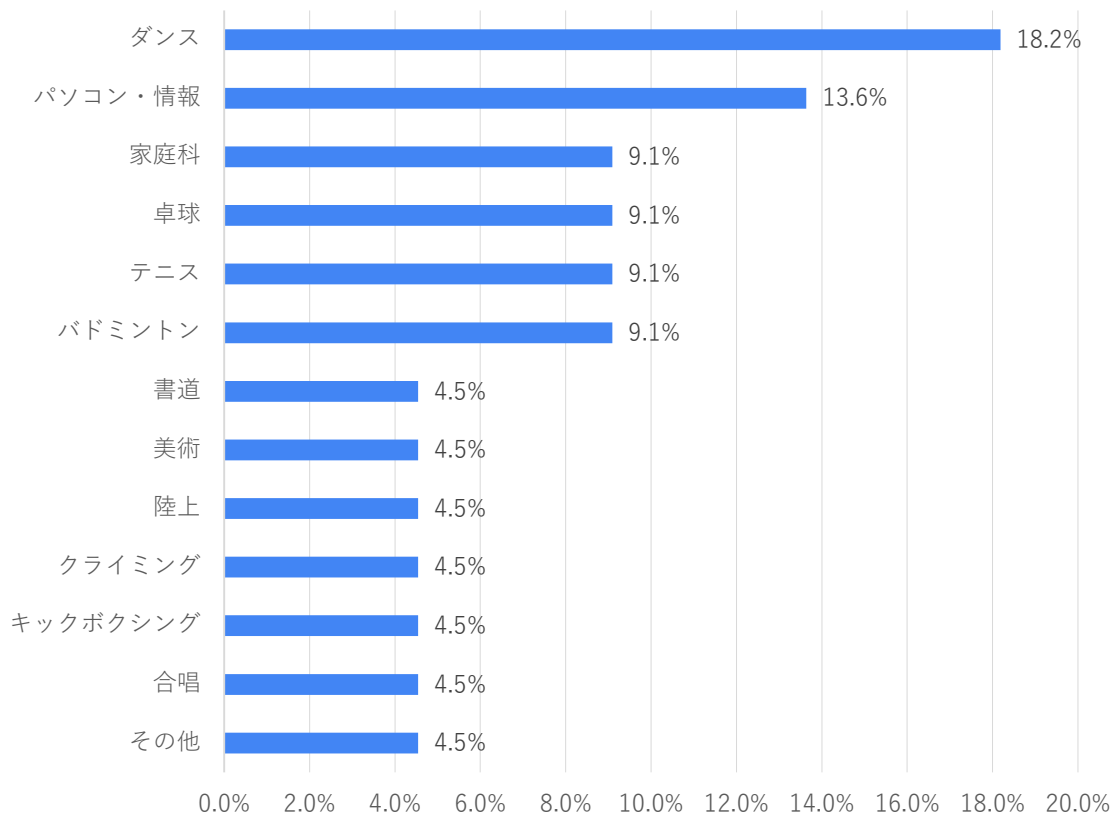
問 5 未所属について

- 部活動にもクラブ活動にも所属しない理由について質問。
- 「やりたい部活動が中学校にないため」どの活動にも所属していない回答者が約 2 割に留まった。
- やりたかった部活動は、「ダンス」、「パソコン・情報」、以下家庭科、卓球、テニス、バドミントンと続いた。

① 部活動とクラブ活動のどちらにも所属しない理由



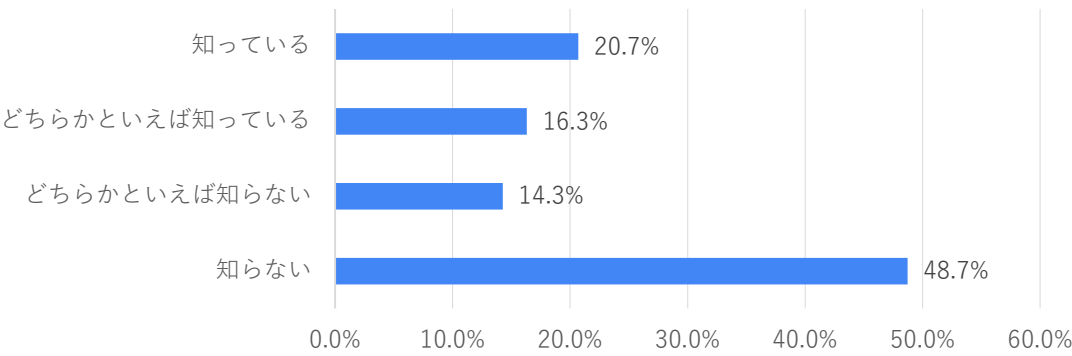
② やりたかった部活動について（やりたい部活動が中学校になかった場合）



問 6 部活動の地域移行について

- 部活動地域移行の認知、期待について質問。
- 地域移行について、「知らない」の回答が約半数を占めた。「どちらかといえば知らない」を合わせて6割強が地域移行について知らない状況が確認された。
- 地域移行した休日クラブ活動への参加希望について、「分からない」が最も多く、参加に好意的な回答と否定的な回答は半々程度であった。地域移行についての不安や認知不足が考えられるので、情報を適切に伝えていく必要性がある。

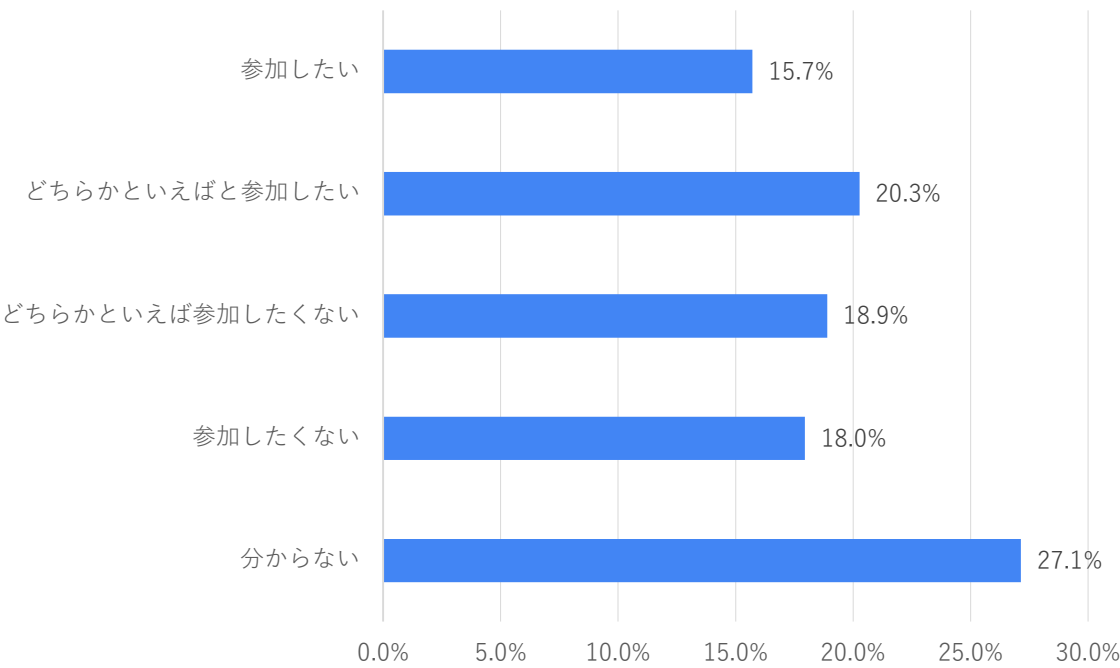
① 部活動の地域移行についての認知状況



② 地域移行した部活動への参加希望

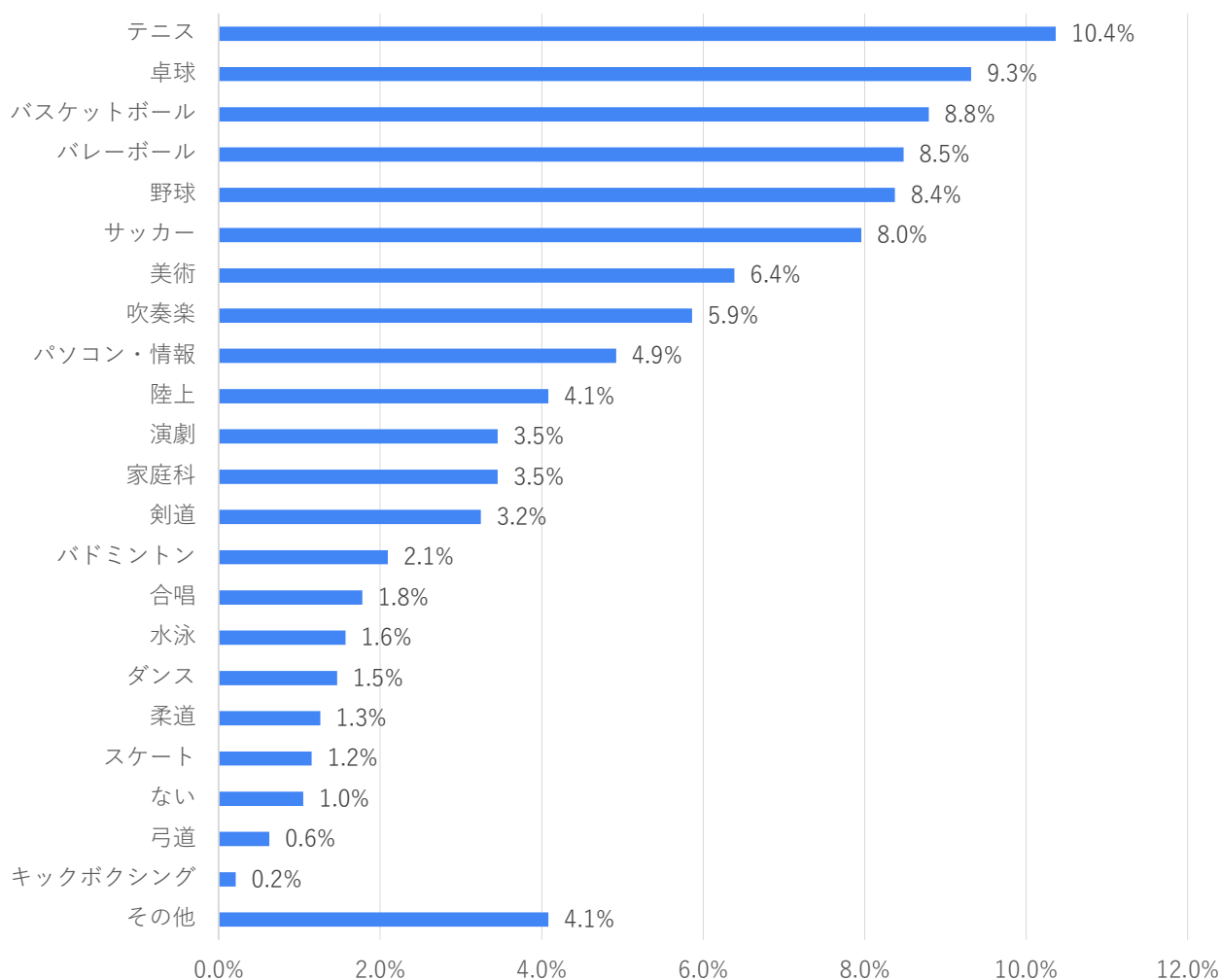
(追加想定)

休日は部活動を学校主体から地域主体のクラブ活動となり、活動場所や指導者が平日と異なることも想定されます。

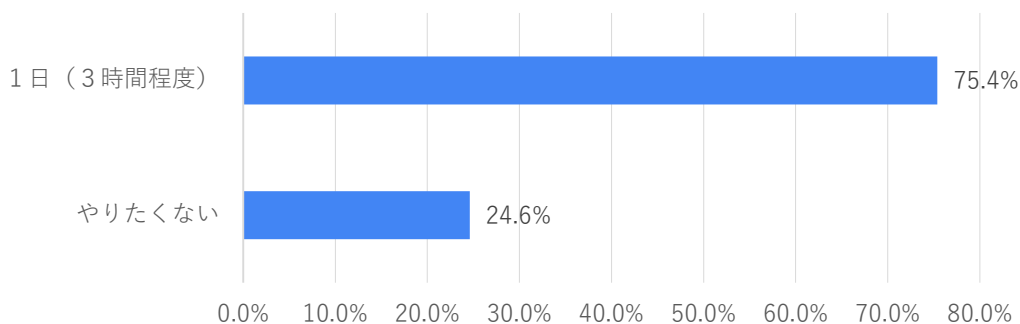


- 「テニス」「卓球」「バスケットボール」等の競技といった既存の活動が大半を占めた。また、「バドミントン」「ダンス」といった部活動にない競技への希望も確認できた。
- 休日の活動については約75%の回答者が希望している。

③ 地域移行した際に参加を希望する活動

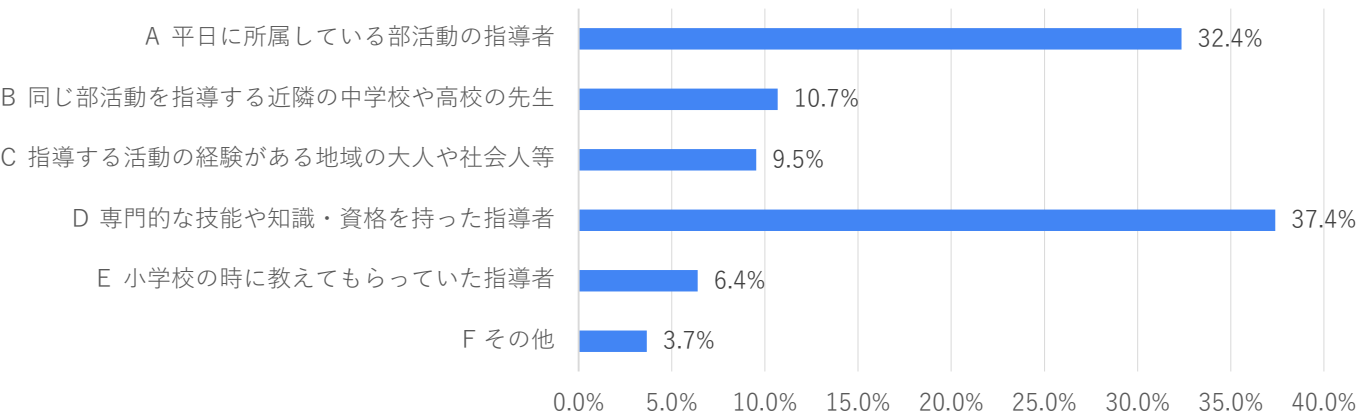


④ 休日の活動希望

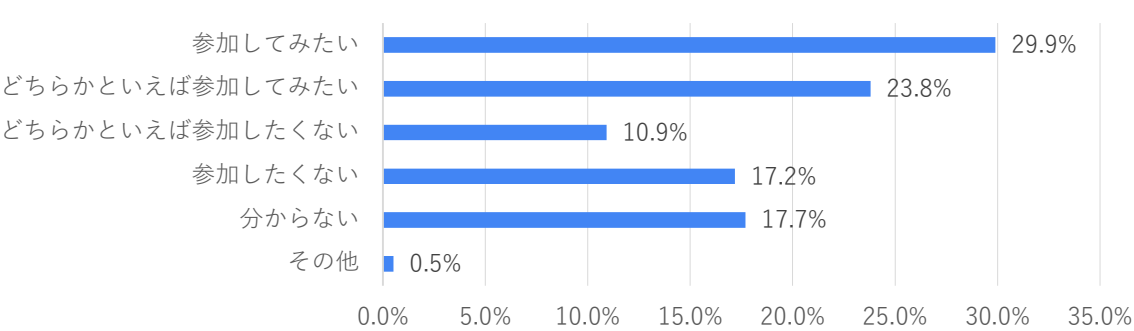


- 休日のクラブ活動で希望する指導者について、専門的な指導ができる指導者に続いて、平日の指導者が多くなった。部活動地域移行には、教職員の引き継ぎの指導も重要であると考えられる。
- ゆる部活への関心は半数を超えており、気軽な活動への興味が伺える。
- 合同部活動について、4割の回答者は参加に好意的であったが、否定的な回答が3割強、また「わからない」の回答が最も多かった。

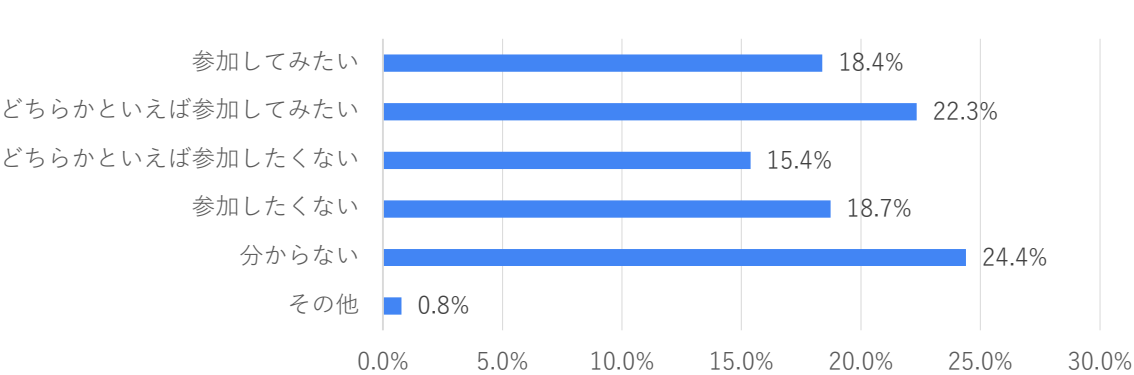
⑤ 休日部活動が地域主体のクラブに移行した場合に希望する指導者の属性



⑥ 勝敗や大会・コンクールの結果にこだわらず、気軽に楽しく体を動かす、いわゆる「ゆる部活」への参加希望



⑦ 休日部活動について、やりたい種目が合同部活動により継続できる場合の参加希望
(追加想定) 自分が通う中学校以外が会場になる場合も想定される



佐久市立中学校の運動・文化部活動の 地域移行に向けたアンケート調査結果

(3) 小学 5 ・ 6 年生 保護者 版

対象世帯数	回答件数	回収率
1，6 9 0 人	1，2 3 7 件	7 3．2 %

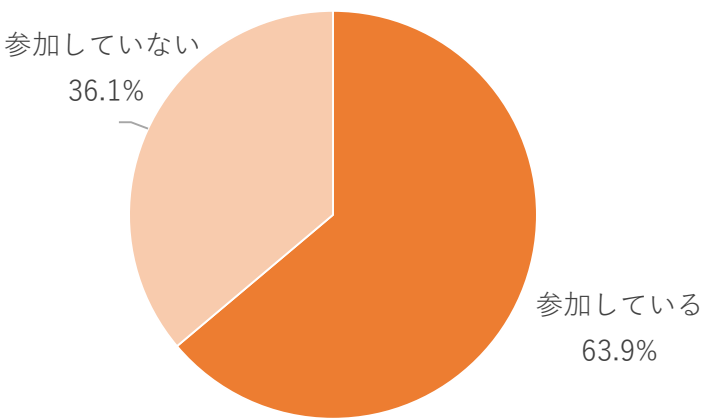
佐久市教育委員会 社会教育部 スポーツ課
令和 6 年 3 月

問 1 放課後や休日のクラブ活動の参加状況

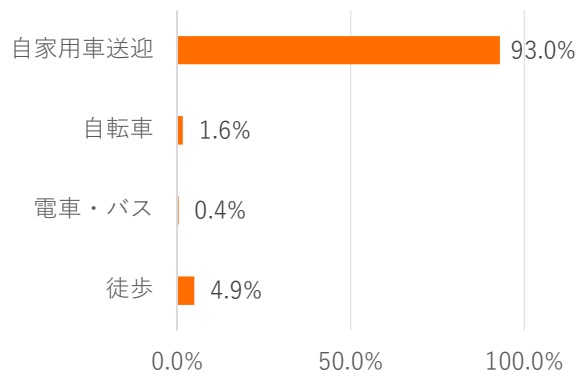
- クラブ活動の状況について質問。
- 子どもが活動している回答者の割合は約64%であった。
- 活動場所までは、15～30分かけて送迎しているケースがほとんどである。

※クラブ活動の定義・・・「放課後や休日に行われるスポーツ少年団・クラブチーム（スポーツ）・スクール・ピアノ・書道・合唱・吹奏楽など」のことを称す。

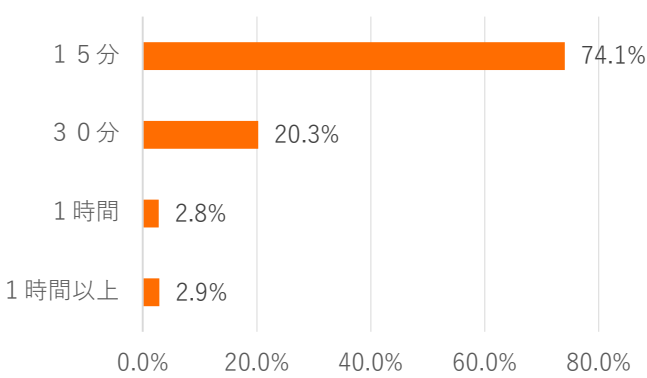
① 放課後や休日におけるスポーツや音楽などのクラブ活動への参加



② クラブ活動の場所までの移動手段

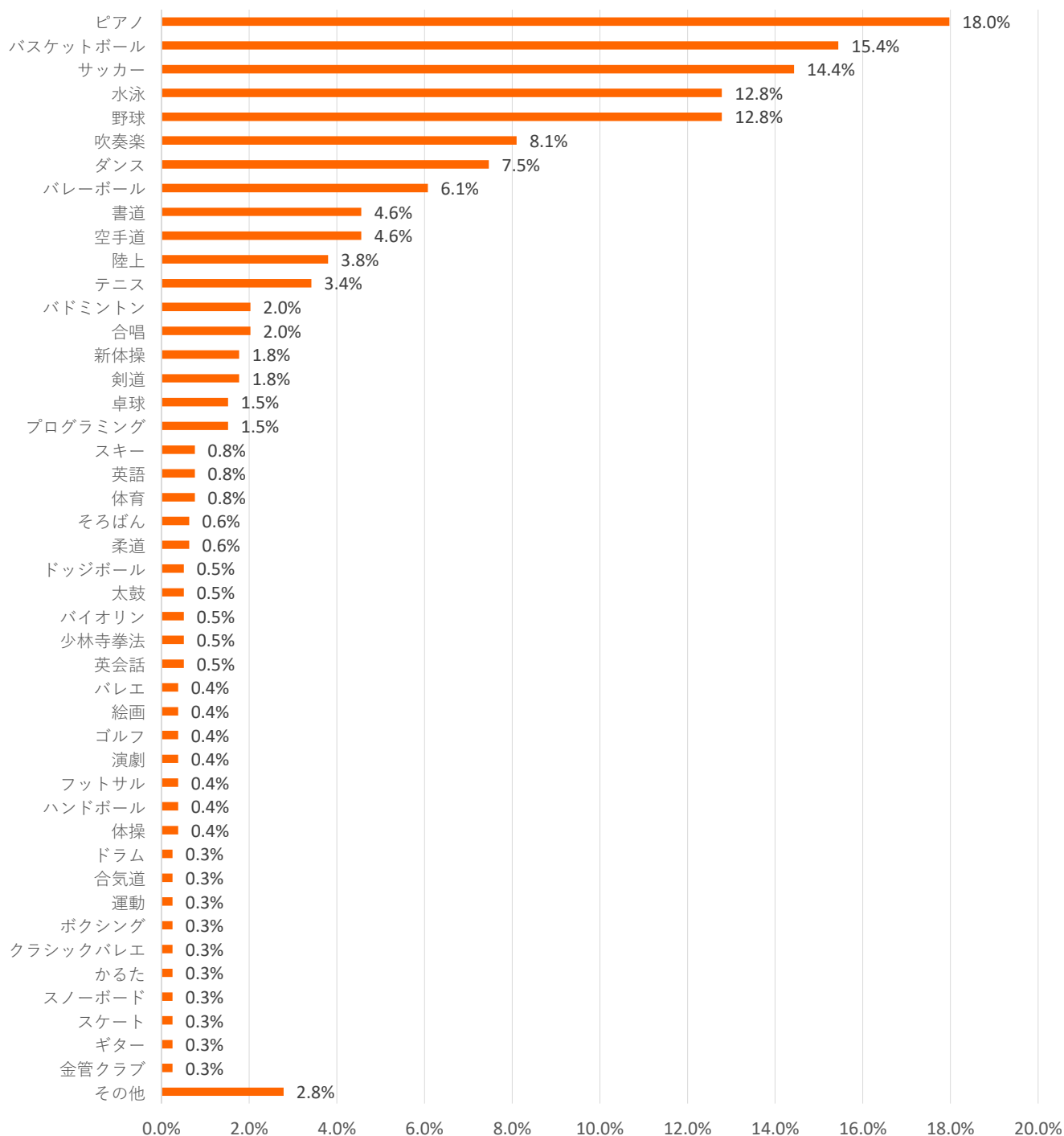


③ クラブ活動の場所までの移動時間



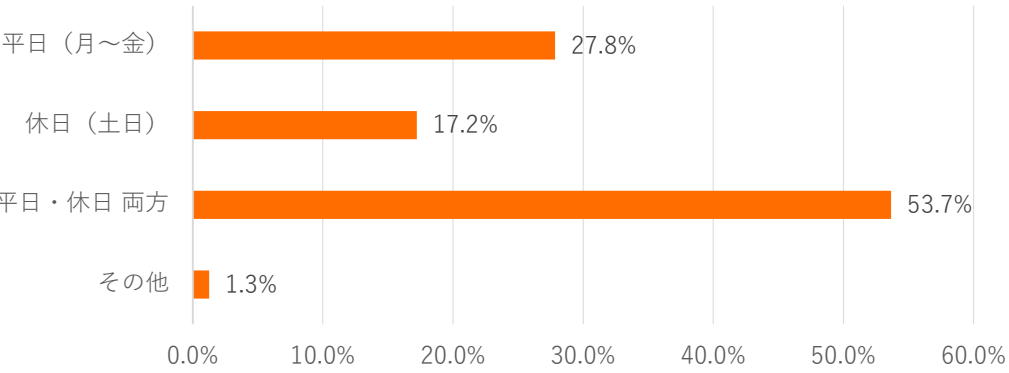
- クラブ活動の種類は、上位からピアノ、バスケットボール、サッカーとなった。
- また、中学校の部活動にはない競技・活動も多く、多様な活動が行われている様子が読み取れる。

④ クラブ活動の所属状況（複数選択）

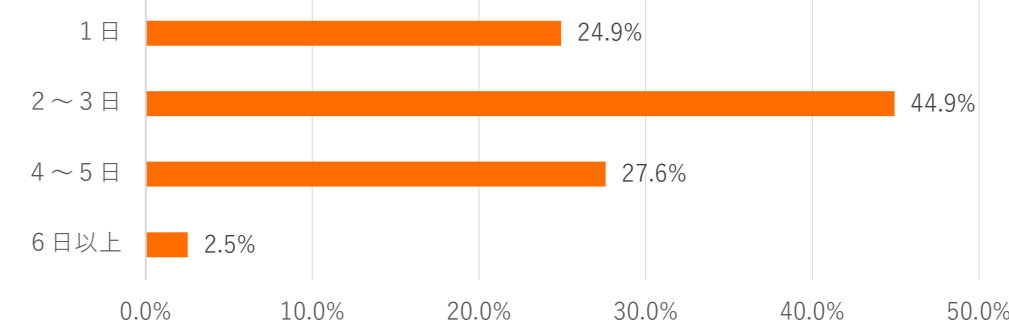


- 平日・休日を問わず、クラブ活動・習い事に参加している実態がある。
- 週末（土・日）中心に活動しているクラブが多い実態を確認できる。
- 1回あたりの活動時間は概ね午前か午後の半日単位と推測できる。

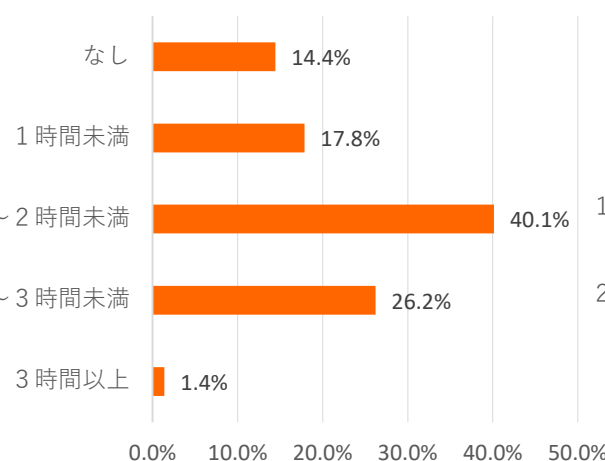
⑤ クラブ活動の活動日（曜日）について



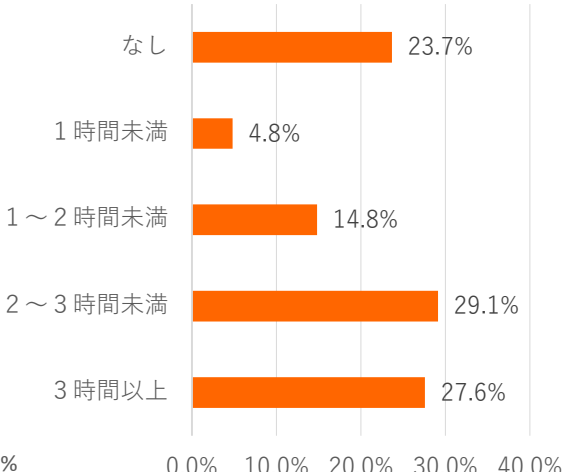
⑥ クラブ活動の活動日数（1週間あたり）



⑦ 平日の1回あたりの活動時間

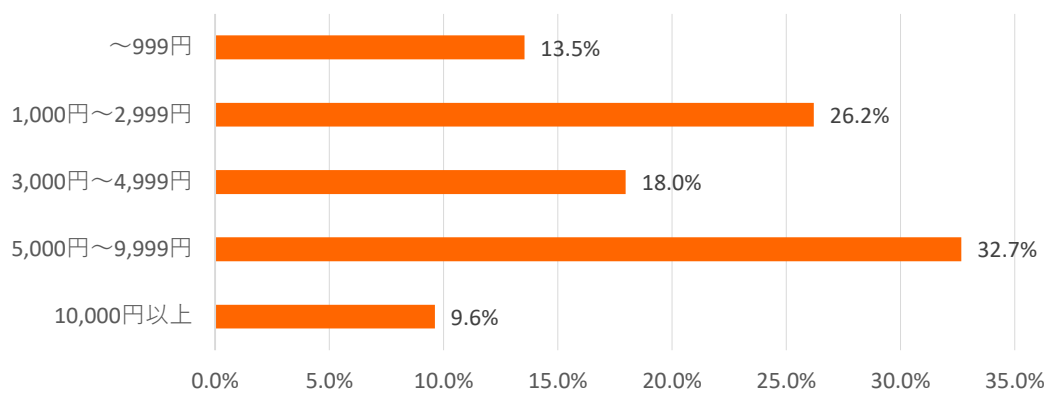


⑧ 休日の1回あたりの活動時間

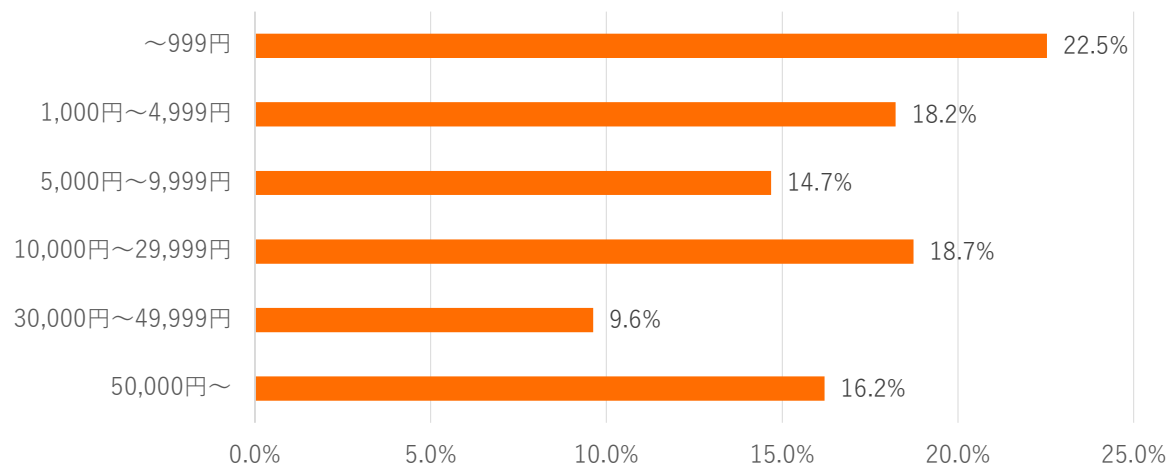


- 5,000円～9,999円の価格帯が最も多い結果となった。
- 年間経費については、活動により価格帯にばらつきがある。999円以下が最も多かった。

⑨ クラブ活動の月謝（会費）について



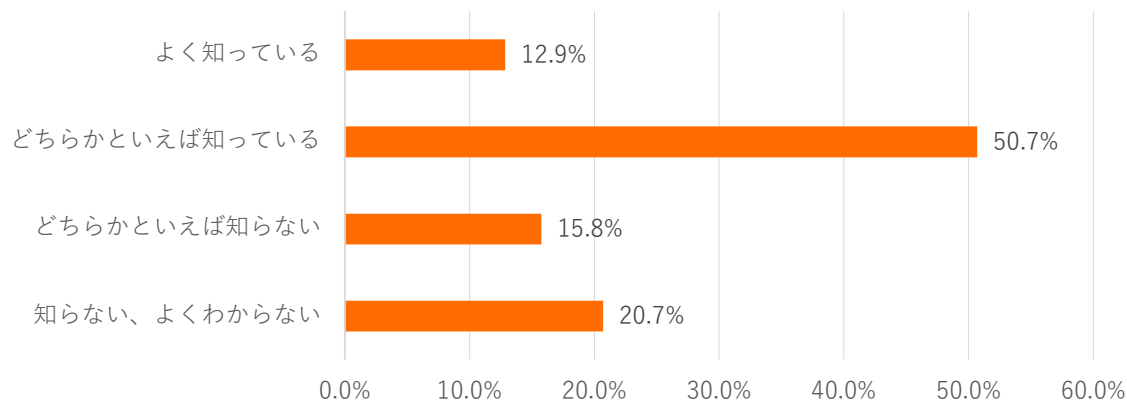
⑩ クラブ活動の月謝（会費）以外の年間経費（大会参加費・遠征費）



問 2 部活動の地域移行について

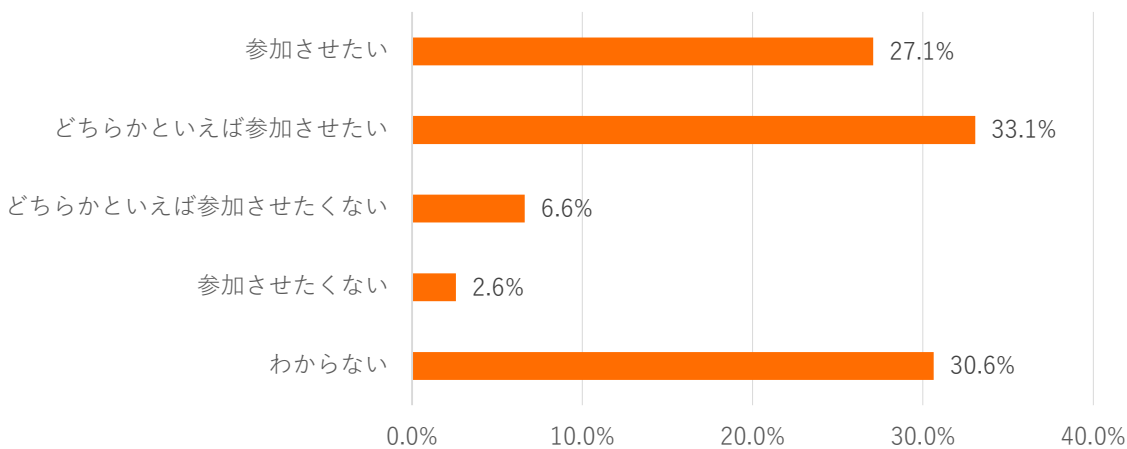
- 部活動地域移行の認知、期待について質問。
- 部活動の地域移行については 6 割以上が認知している。
- 参加に肯定的な意見が 6 割を超えているが、「わからない」との回答が 3 割以上で、地域移行の状況が分からない様子も推察される。

① 部活動の地域移行についての認知状況



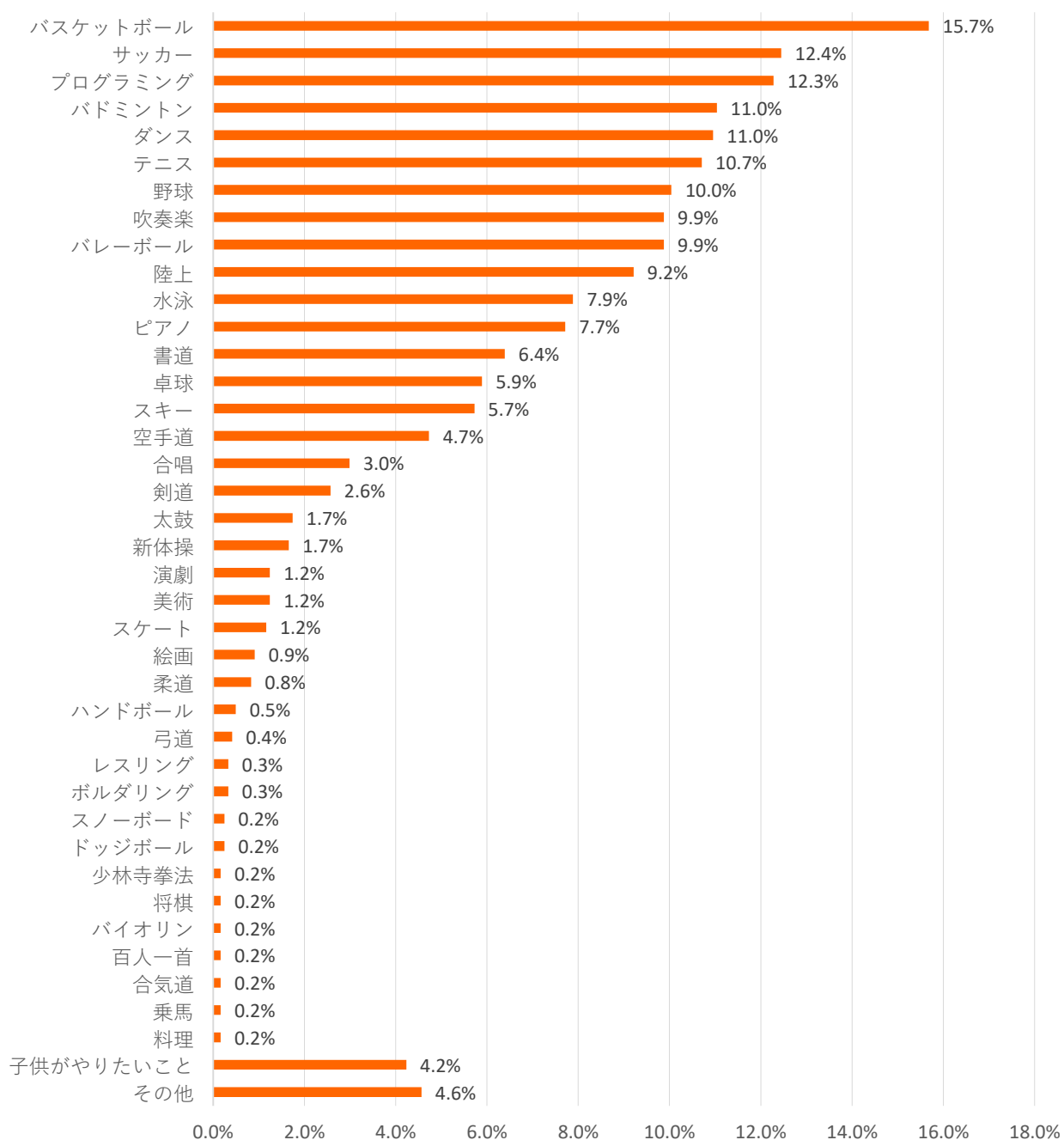
② 地域移行した部活動への参加希望 (追加想定)

休日は部活動を学校主体から地域主体のクラブ活動となり、活動場所や指導者が平日と異なることも想定されます。



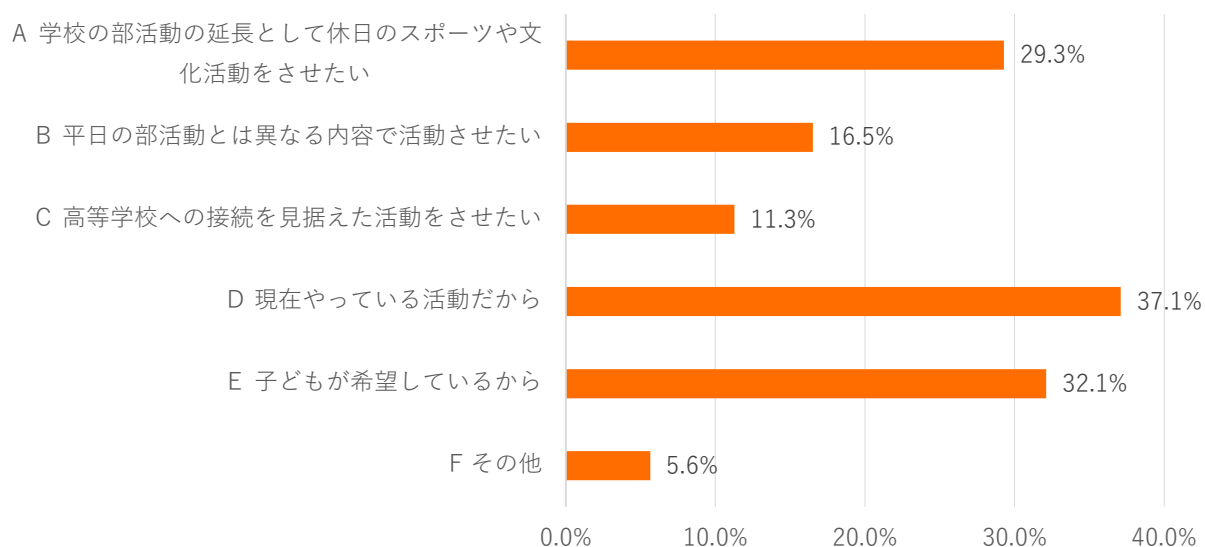
- バスケットボール・サッカー等の競技のほか、「プログラミング」「バドミントン」「ダンス」といった部活動にない競技への希望が高いことが確認できる。
- 部活動にはない活動が多く、多様な希望が見受けられる。

③ 休日に地域主体のクラブ活動へ参加させる場合に希望する活動（複数選択）



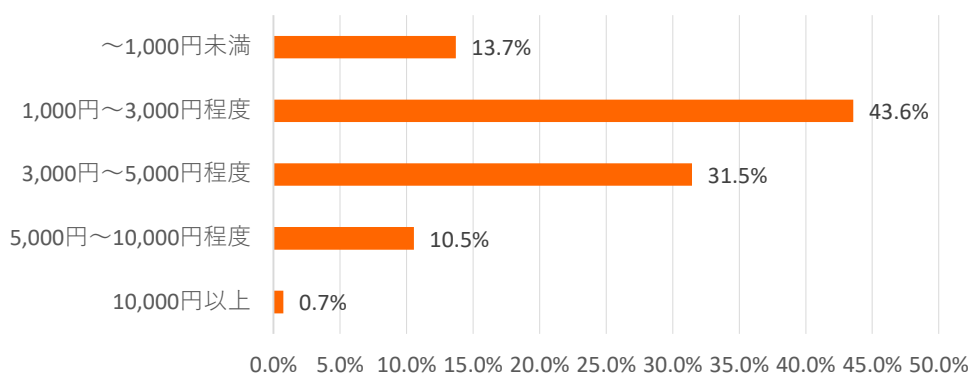
- 現在行っている活動を、引き続き中学校でも継続する回答割合が最も多かった。

④ 休日に地域主体のクラブ活動へ参加させたい理由（複数選択）

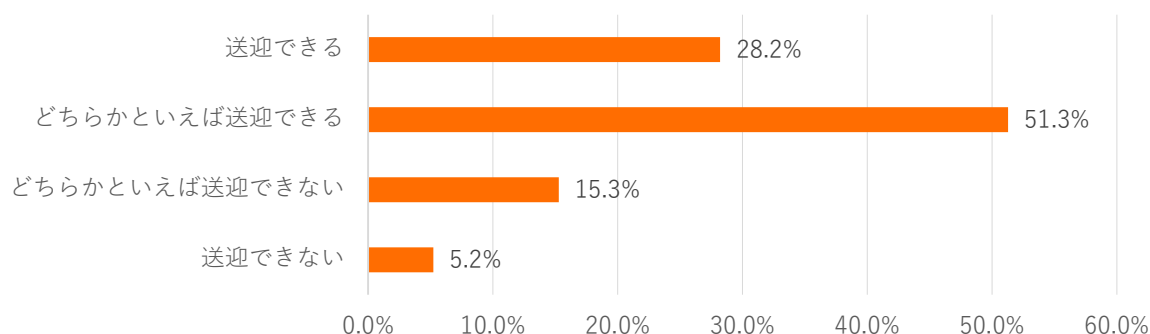


- 月謝について、1,000円～3,000円程度までが最も許容できるとの回答だった。
- 送迎については、約8割が送迎できるとの回答であったが、休日は仕事などにより送迎できない回答者もいるため、活動場所までの移動は課題になってくると想定される。

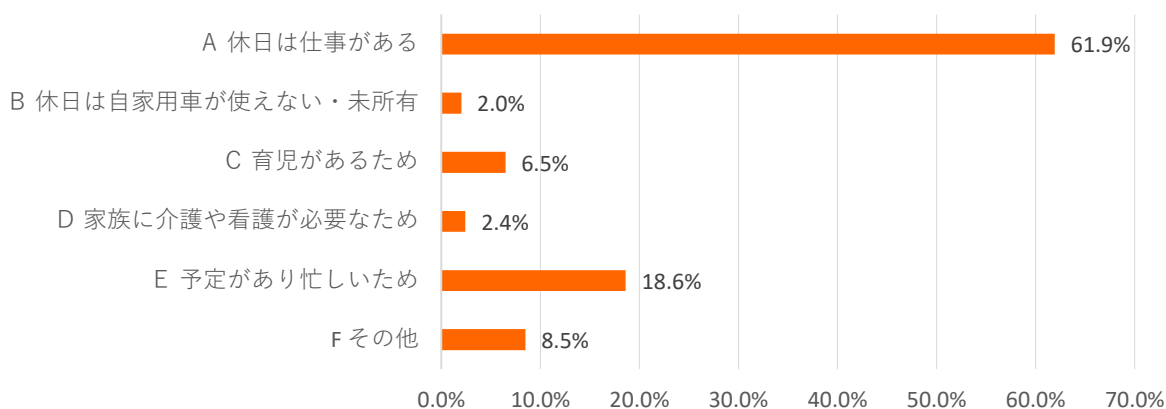
⑤ 休日の部活動が地域主体のクラブ活動となった場合に、許容できる月謝額



⑥ 休日部活動が地区（学区）外の体育館等で行われると場合、送迎可能か（追加想定）送迎の範囲は、片道概ね30分以内の想定をしています。

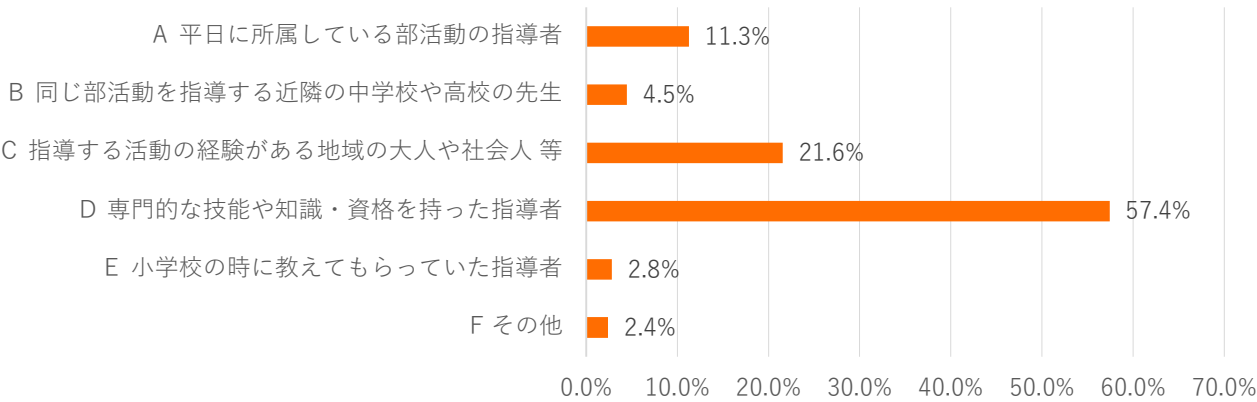


⑦ 送迎ができない場合の理由

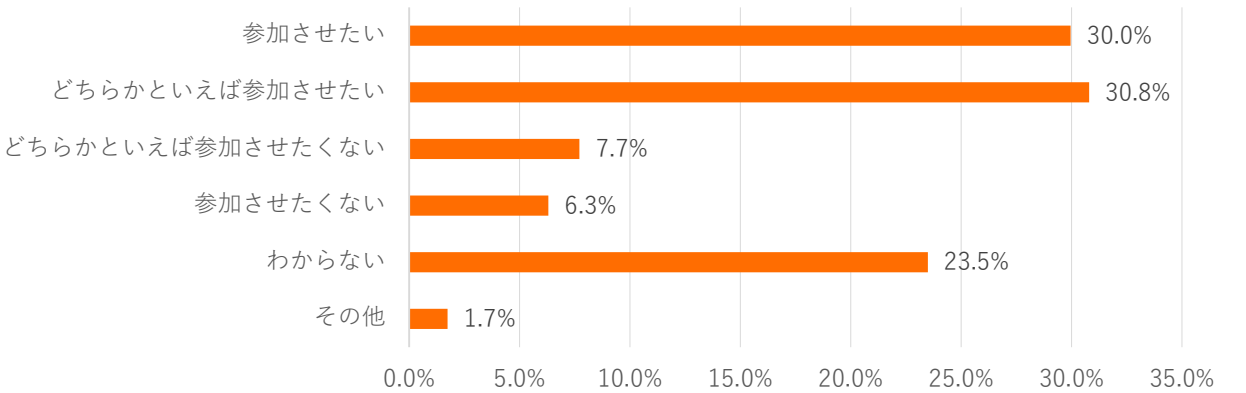


- 専門的な指導を望む回答が約 6 割と、専門性を求める声が多数であった。
- 約 7 割の回答者が、合同部活動の参加に肯定的であった。

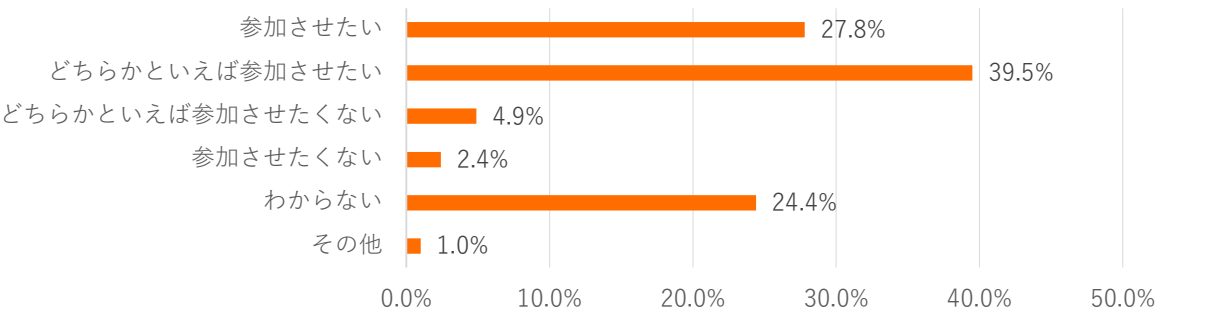
⑧ 休日部活動が地域主体のクラブに移行した場合に、希望する指導者について



⑨ 勝敗や大会・コンクールの結果にこだわらず、気軽に楽しく体を動かす、いわゆる「ゆる部活」への参加希望



⑩ 休日部活動について、やりたい種目が合同部活動により継続できる場合の参加希望
(追加想定) 自分が通う中学校以外が会場になる場合も想定される。



⑪ 部活動の地域移行に関わる自由記述（まとめ）その1

自由記述に多く寄せられた項目から順に掲載する

一つの回答に複数の項目が記載された場合もあるため、その際は、いずれか一方の内容を採用とした。

【保護者負担について】

- 小学生と中学生の保護者です。休日部活や運動部は試合等があり、保護者の送迎に負担が大きい。地域移行になると送迎、月謝など他の問題も増えると思う。保護者が手伝う体制もやめてもらいたい。
- 部活はバス通学のため送迎がありがたい。地域移行後、送迎・他校との保護者会、親の負担が大きいと推測。現在の社会体育の時間だと、活動させたくても戸惑う。
- 休日も仕事をしている保護者の負担を考えると、やらせたい事が出来ない環境は避けてほしい。
- 中学校の部活を選ぶ理由は自分で移動ができる範囲の活動が多いからです。平日も保護者の送迎が必要となると参加が難しいです。
- 習い事の他に休日まで練習で送迎をするのは家庭的に不可能。時間、場所、金額によってやりたくてもやれない人は増える。
指導者が専門資格のあるクラブチームなら月謝は考えられるが、部活動の延長という内容での月謝は考えられない。
- 地域移行に絡め幅広いスポーツや活動が選べるようになるといい。市職員、企業サポーターなど、様々な支援を求め、市からこういった活動にしっかりと補助金を出す・送迎バスなどの活動支援
- 役員がなければ是非参加したいと思っている人は多いと思う。費用面は理解できるが、役員などの負担があるとためらう。
- 月謝がかかるとすれば、専門の指導者に指導はお願いしたい。

【指導者確保について】

- 子供達に選択肢を持たせつつ、顧問の負担を減らし、専門的な知識と経験のある指導者に担当してもらえるようにしてほしい。
- 指導者が複数いても、みんなそれぞれの指導のやり方が違うと混乱する。長く続けてくれる指導者の方が有難い。コロコロ変わるのは困る。
- 地域の指導者が選ばれるプロセス、指導者の資質が心配。特定のチームの指導者が地域移行の指導者になった場合、メンバーのえこひいきが発生しないか心配。
- 中学生の保護者です。学校部活では外部コーチが入り、主に休日は外部コーチが指導している。専門的だが、熱が入り過ぎており外部コーチが所属している社会人のクラブの練習(平日夜間)にも参加するよう進めたり、対応に苦慮します。
- 適切に運営、活動できているか、チェックする仕組みが必要ではないかと思う。
- 学校はどの程度関わってくるのか？月謝等はどれくらいかかるのか？外部に頼む場合、指導してくれる人の素性等は確かなのか？顧問の先生の負担が減るのは良い事だと思う。
- 有料で外部にお世話になるのは当然の流れだと思う。教育を善意に頼るのは時代の流れに沿わなくなっていると思う。
- 平日と休日で指導が違っていると指導がかわる可能性があるので、必ず部活の顧問と地域移行先で方向性や指導方針をすりあわせして欲しい。子供の混乱、またはトラブルが起きないようにお願いしたい。

⑪ 部活動の地域移行に関わる自由記述（まとめ）その2

自由記述に多く寄せられた項目から順に掲載する

一つの回答に複数の項目が記載された場合もあるため、その際は、いずれか一方の内容を採用とした。

【情報提供について】

- ・ 移行時期の情報がない、子供達自身も不安になっている。早めに情報連携して頂き決断できるようにしてほしい。
- ・ 地域移行というものが今までとどう違うのか、説明会等あるのか、情報をどこから入手すれば良いのか教えて欲しい。地域以降にするメリット、デメリットや、保護者の介入がどこまで必要なのか、子どもが満足に指導を受けられるのか知りたいです。
- ・ 部活動地域移行の情報や、中学入学に向けてどんな準備や移行方法がとられるのかなど、最新の情報を得られる機会が欲しい。
- ・ 曖昧な情報が多く混乱している。早めに細かいことを決めていただきたいのと、子供ファーストな仕組みにして欲しいです。

【部活動は現状維持/休日の部活動不要】

- ・ 今までのように、学校の様子、勉強の様子を配慮した上での部活動レベルにしてもらえるのが、子供にとっても負担にならず、親として希望する。
- ・ 子どもたちのことを知っている学校の先生に 見てもらえたほうが安心出来たり大会に向けてしっかり練習が出来るように感じます
- ・ 部活動は課外活動だから意味がある。現状維持でよい。地域移行は反対。複数校の合同で先生同士が協力すればよい。
- ・ 学校の先生が部活の指導者を兼任するのは止めるべきだが、活動内容を情報共有して生徒の教育指導をお願いしたい。
- ・ 家族の時間も必要なので個人的には休日に部活は不要。
- ・ 地域移行してまで休日に部活をしなくてもよい。学校の部活以外にやりたいことをやればいい。
- ・ 平日のみ学校の部活動で充分。

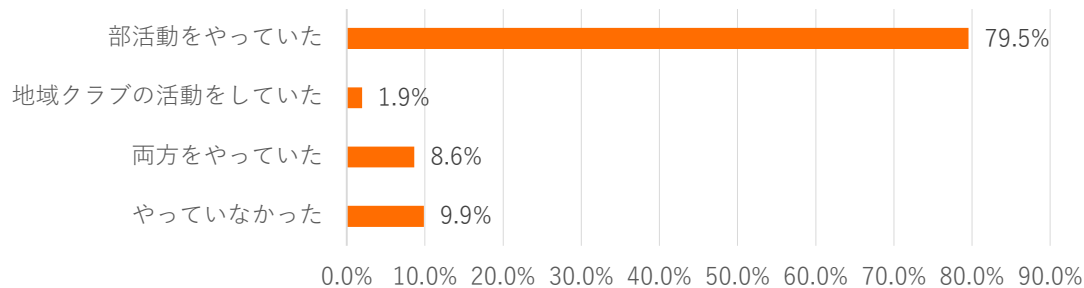
【その他】

- ・ 現状の部活動では選択肢が少な過ぎて子供達が本当にやりたい活動が出来ていない印象です。なるべく早くに地域移行をしていただき、本当にやりたい競技を楽しめる環境を望みます。
- ・ ワークショップや検討委員など立ち上げ、そこへ保護者(希望者)が参加できるような取組があったら有難いです。
- ・ 何をさせたいかの前に、地域主体のクラブが信頼できる機関であるという安心感が欲しい。
- ・ 民間の方のお世話になることは基本的に賛成ですが、指導者と保護者の方向性が違いすぎることもある。地域クラブやその指導者になる条件等が見えれば、保護者が判断しやすくなると思います。
- ・ 地域指導者は確保できているのか。無償で丸投げするのではなく、給与等人材確保できる体制があるのか。

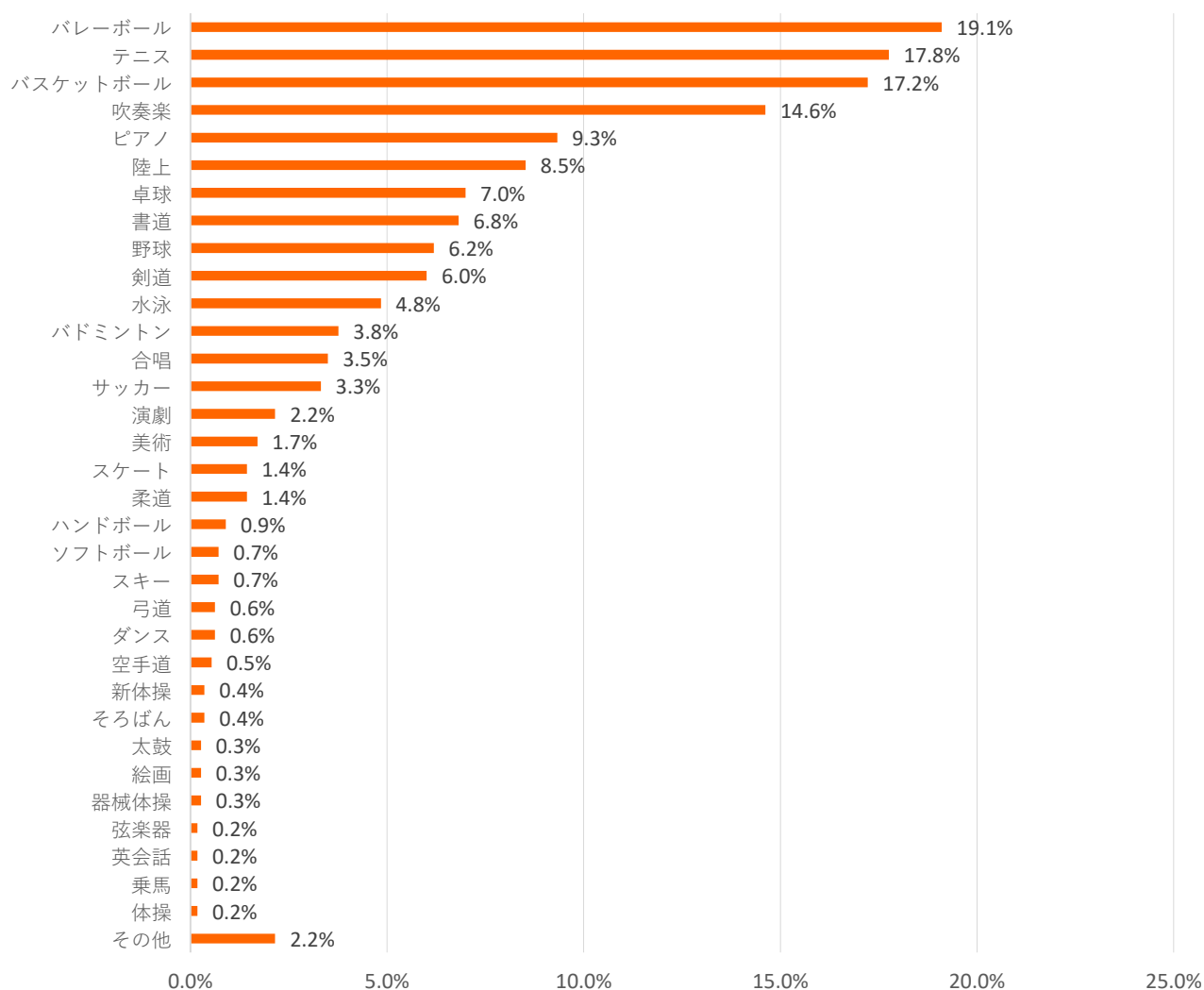
問 3 保護者の経験・指導について

- 保護者の部活動経験やスポーツ少年団等の指導経験について質問。
- 地域指導者をいかに確保していくか、検証する。
- 約 9 割の回答者が、中学校時代に活動を行い、多様な活動をしていた。

① 中学生時代に部活動やクラブ活動でスポーツや文化活動の経験の有無

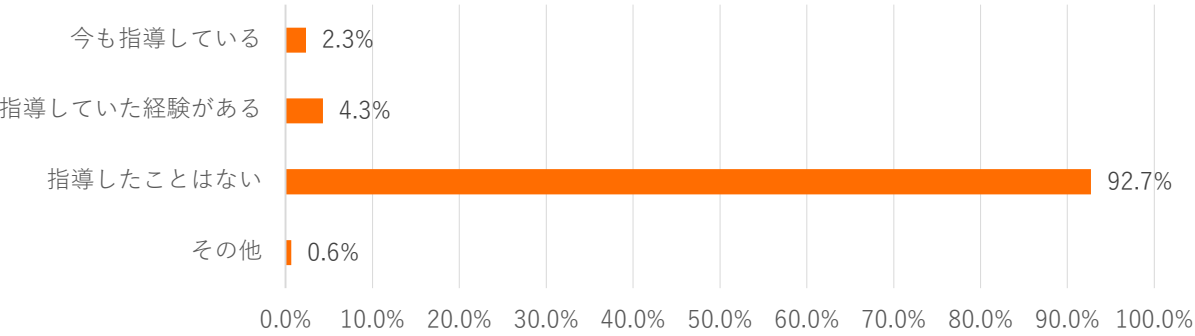


② 経験した活動の種類（複数選択）

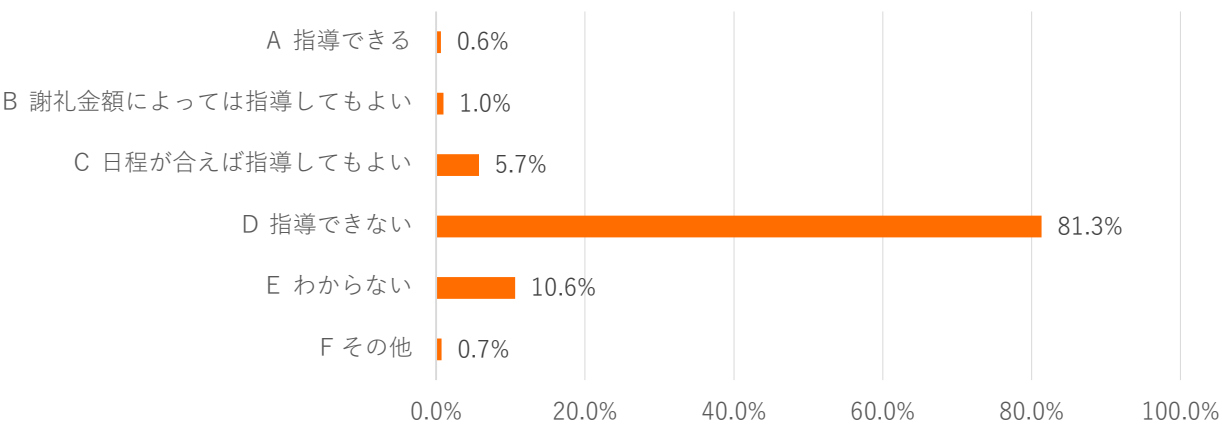


- 指導経験のある回答者は6.6%であった。
- 7.3%の回答者が、地域移行後に条件によって指導者となり得ることが分かった。

③ スポーツ少年団や文化活動等での指導経験について

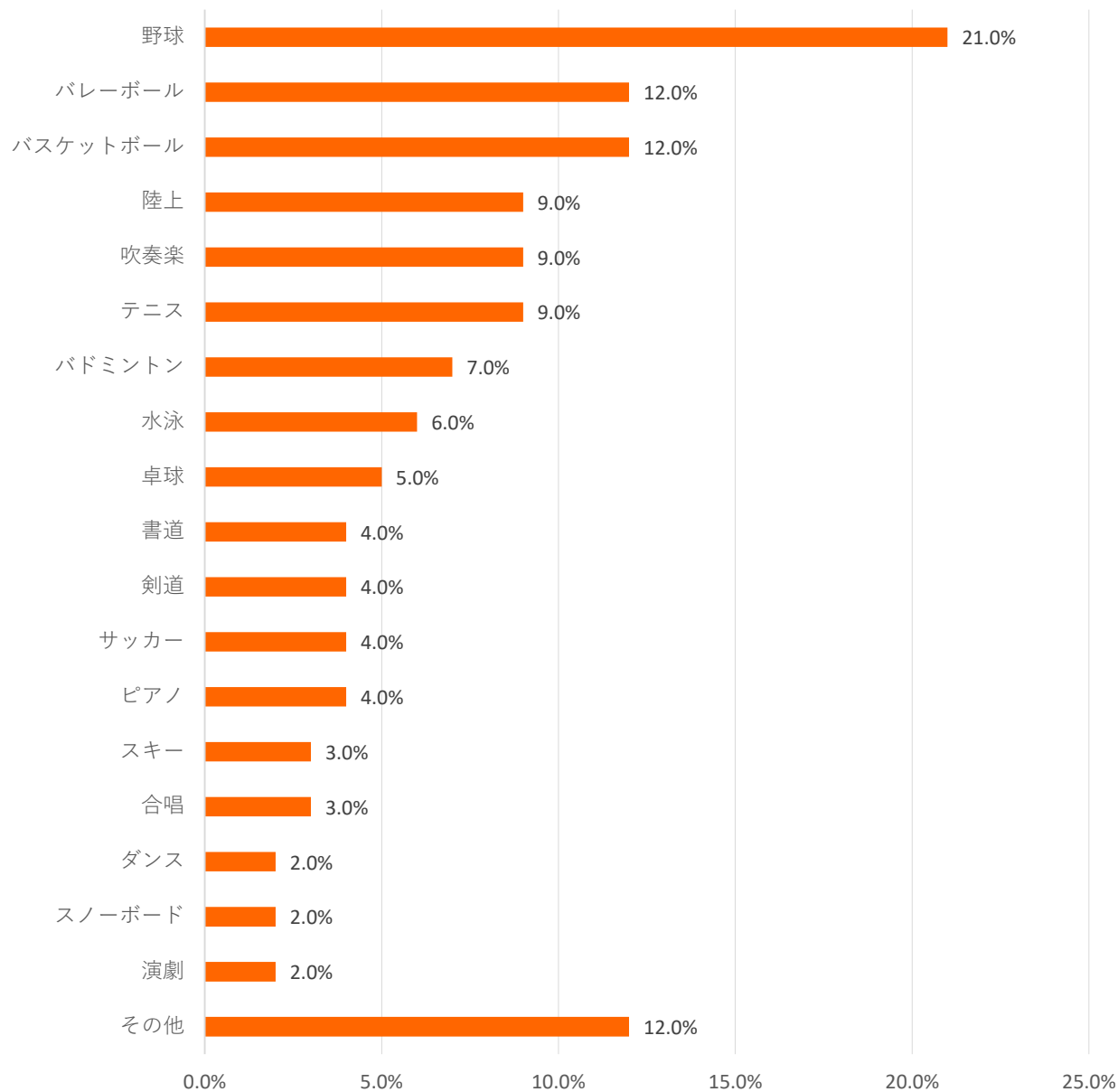


④ 部活動が地域に移行した際、指導者になれるか



- 指導可能な活動について、野球との回答が最も多かった。
- 多くの部活動の競技・活動について、指導可能な人材がいることが確認された。

⑤ 指導可能な活動（複数選択）



佐久市立中学校の運動・文化部活動の 地域移行に向けたアンケート調査結果

(4) 中学 1 ・ 2 年生 保護者 版

対象世帯数	回答件数	回収率
1，6 5 7 人	1，1 0 6 件	6 6．7 %

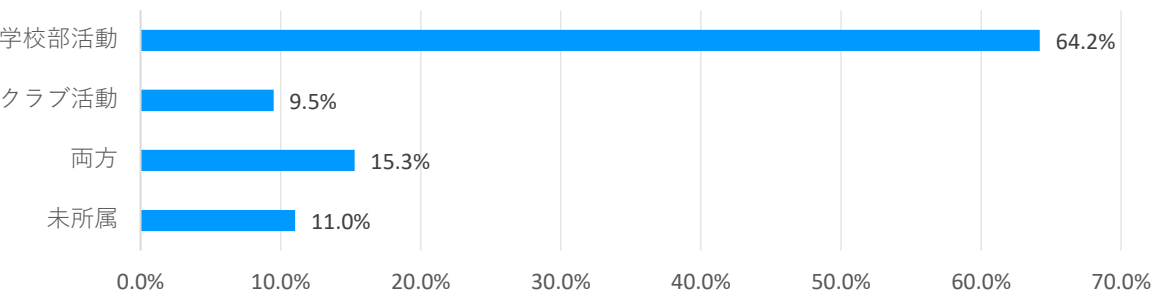
佐久市教育委員会 社会教育部 スポーツ課
令和 6 年 3 月

問 1 学校の部活動やクラブ活動の参加状況

- 部活動やクラブ活動の状況について質問。
- 子どもが活動している回答者の割合は約 9 割であった。
- 「バスケットボール」のほか、「テニス」「卓球」の個人競技の割合が高かった。

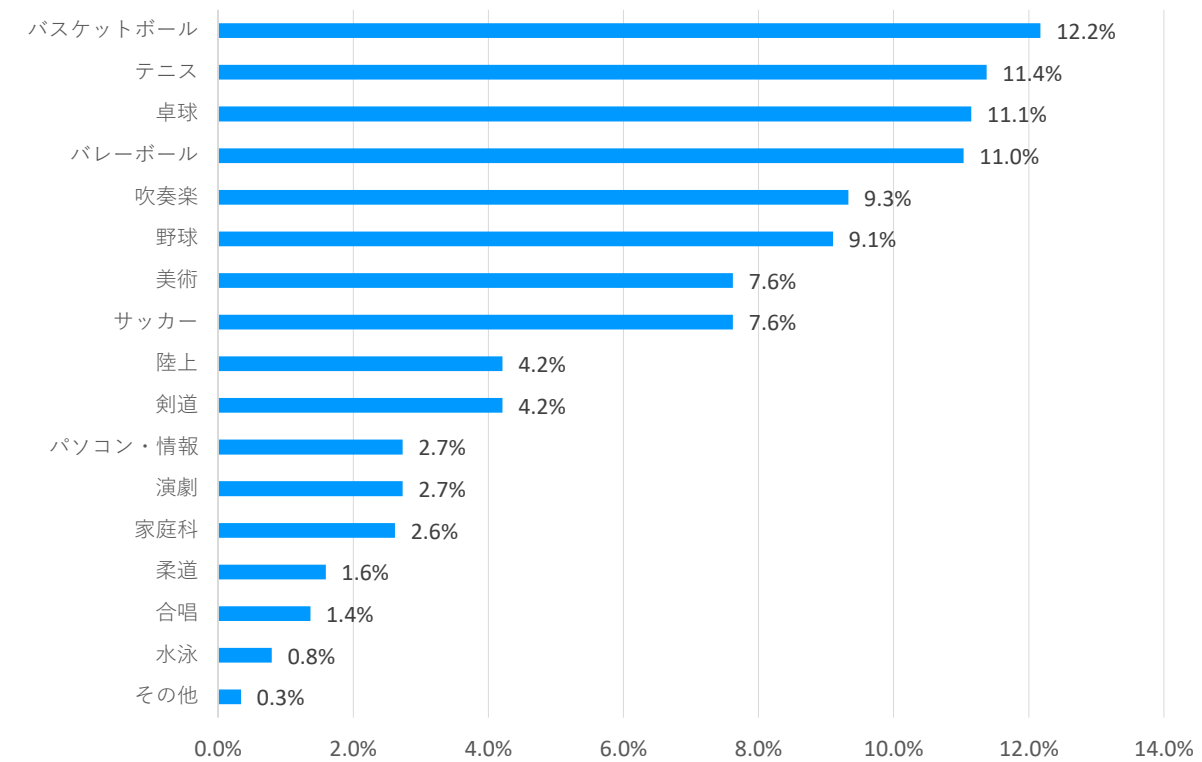
※クラブ活動の定義・・・学校部活動以外のスポーツ・文化活動（スポーツ少年団・クラブチーム・音楽系活動・各種スクール等）をまとめて称する

① 学校の部活動やクラブ活動への所属・活動状況



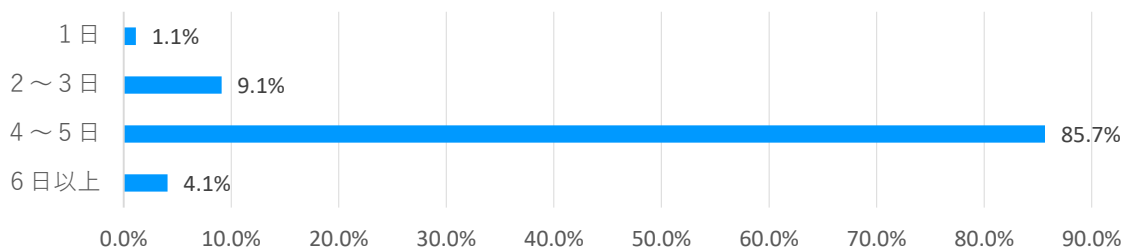
問 2 部活動の参加状況

① 部活動の所属状況

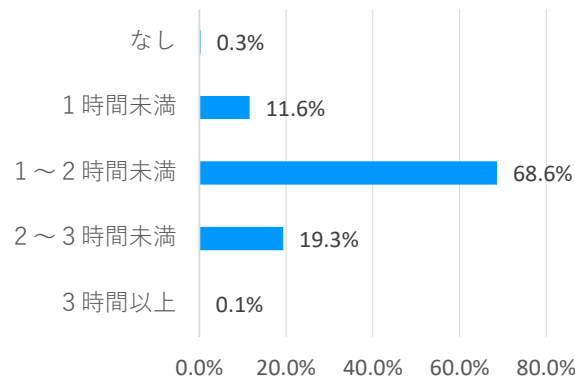


- 部活動の活動日数は4～5日が最も多く、平日に1～2時間程度、休日に2～3時間程度の活動をしている割合が高かった。
- 部活動に所属する理由については、「学校の仲間と活動してもらいたい」「移動の必要がない」が4割を超える結果となった。

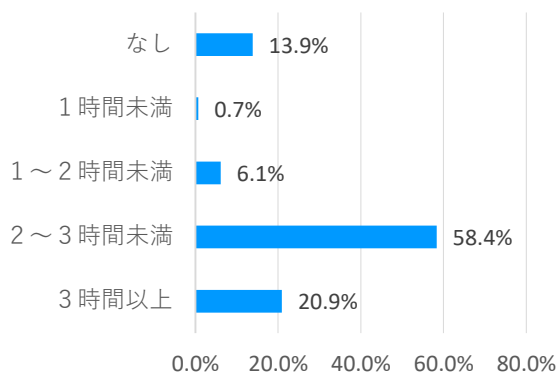
② 部活動の活動日数（1週間あたり）



③ 平日の1回あたりの活動時間

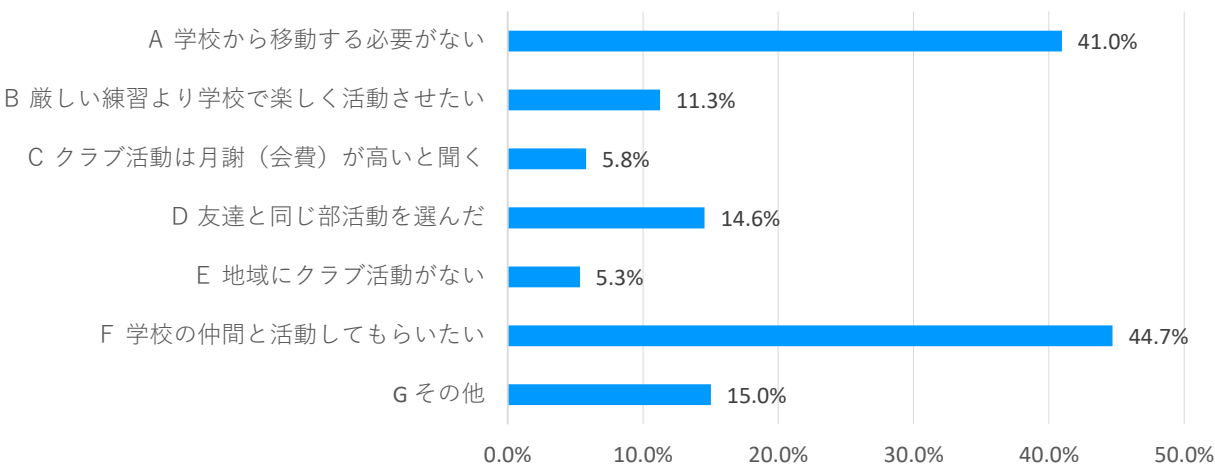


④ 休日の1回あたりの活動時間



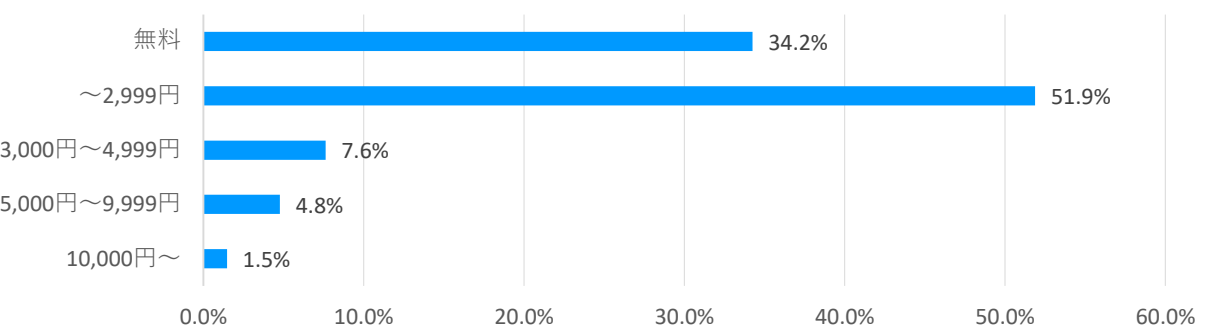
⑤ 部活動に所属している理由（複数選択）

（追加想定）クラブ活動（学校以外のスポーツ・文化活動の活動）を選ばなかった理由

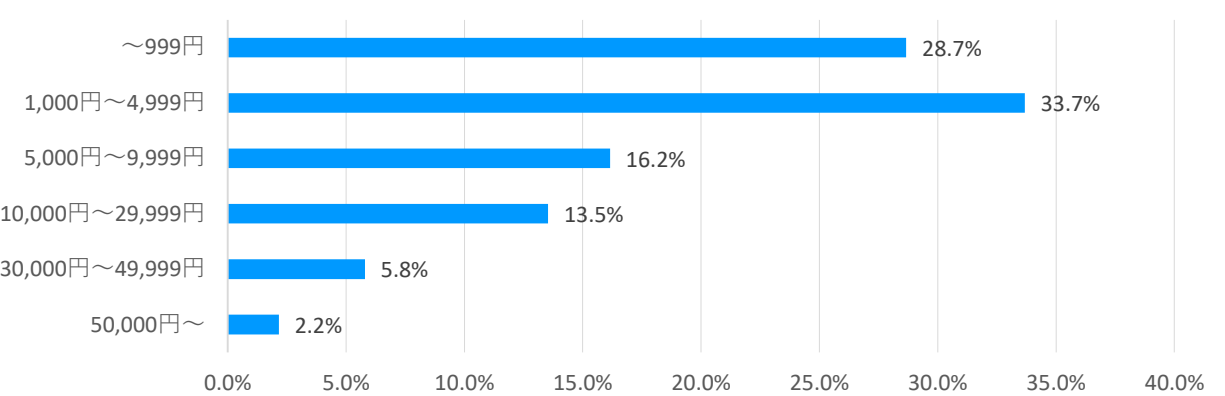


- 部費の月額、3,000円未満が最も多く、次いで無料が多くなっている。地域移行の際の受益者負担についての理解を得ることがハードルになることが考えられる。
- 年間経費は5,000円未満が6割を占めるが、50,000円以上かかっている部活動もある。

⑥ 部活動の部費・会費（月額）

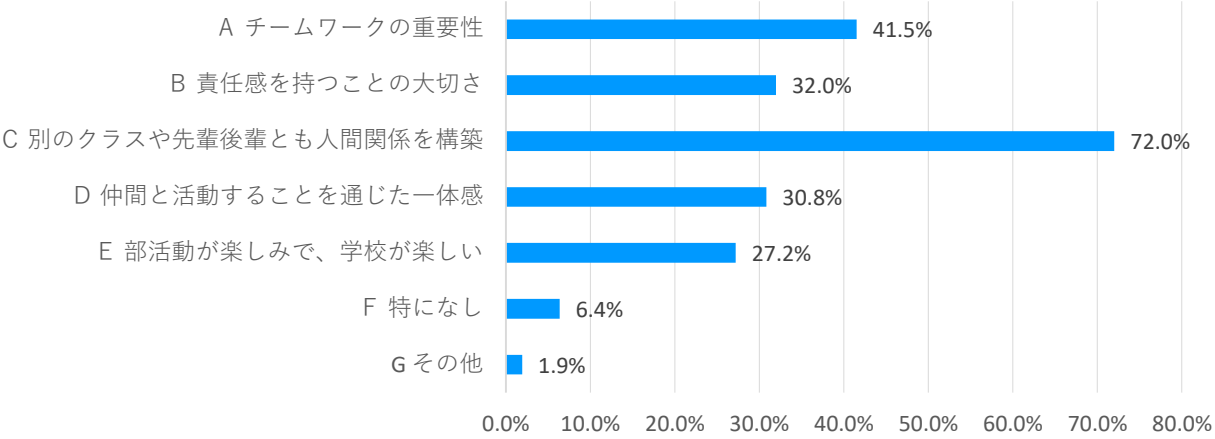


⑦ 部活動の部費・会費以外の年間経費（大会参加費・遠征費）

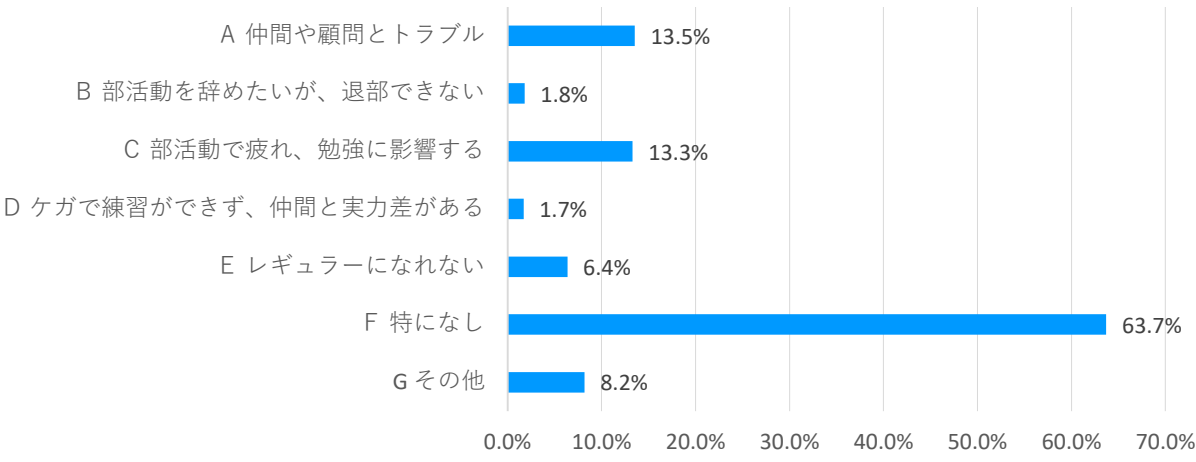


- 部活動における子どもが「成長した点、良い影響があったと思う点」として、「人間関係の構築」を挙げる回答者がもっとも多かった。
- 一方、子どもが「悩んでいる、困っている点」については「特になし」が6割を超えており、「人間関係のトラブル」「疲れが勉強に影響する」、が次いで多かった。

⑧ 部活動で子どもが「成長した点、良い影響があったと思う点」（複数選択）



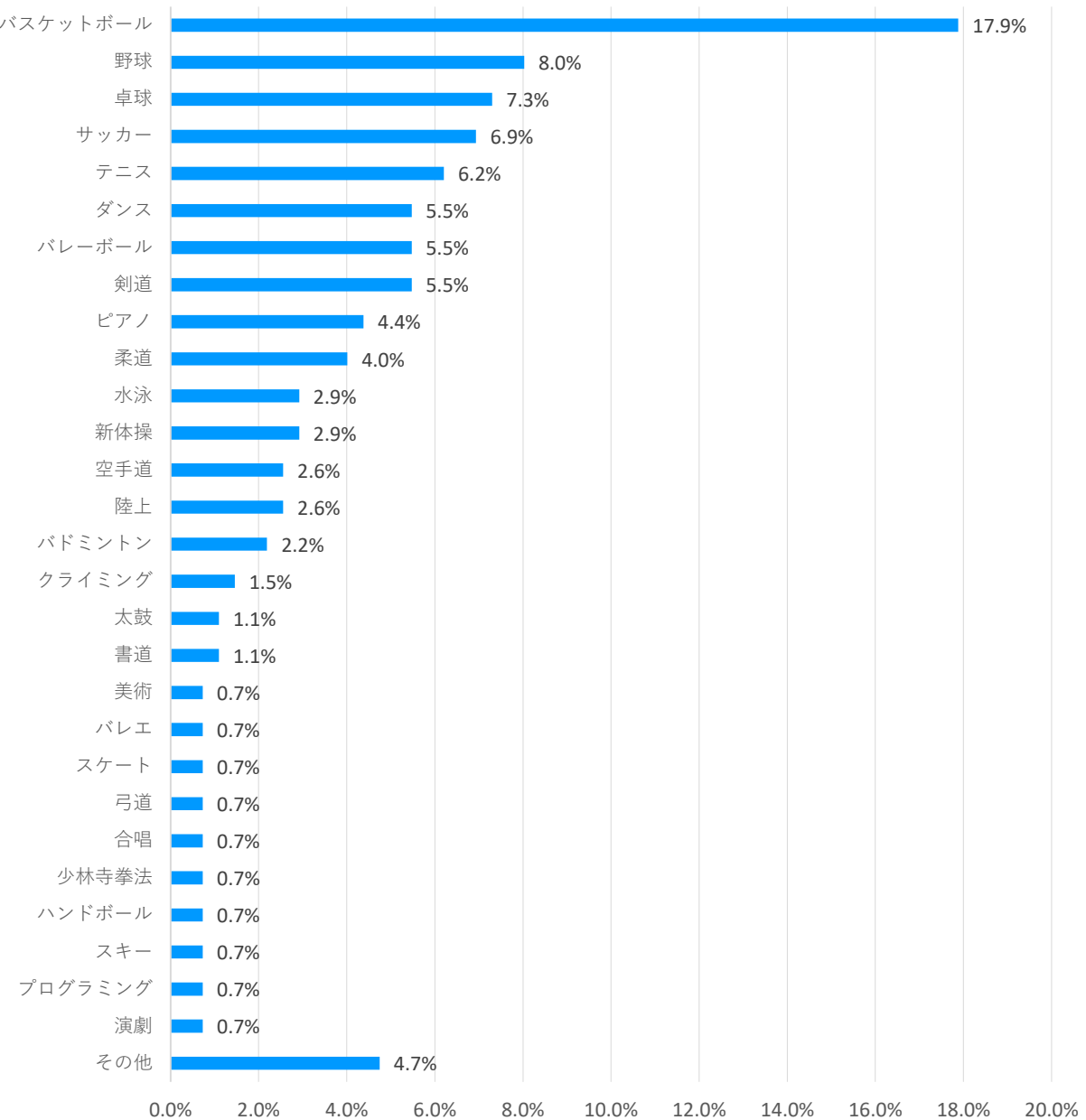
⑨ 部活動で子どもが「悩んでいる、困っている点」（複数選択）



問3 クラブ活動の参加状況

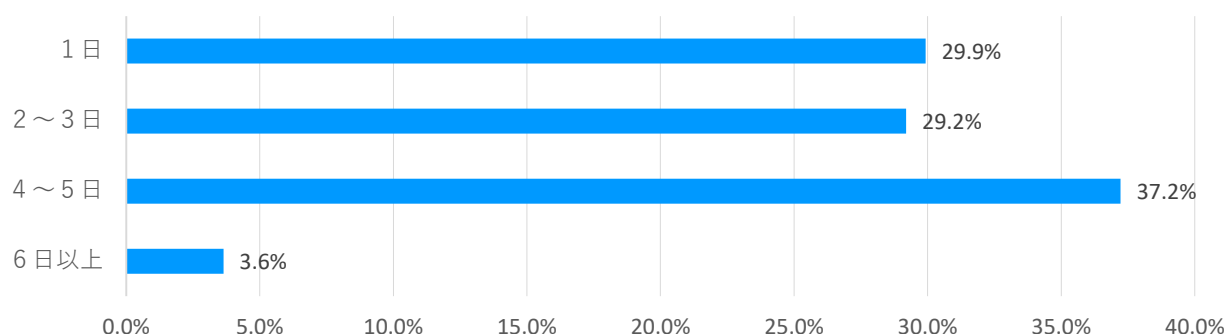
- クラブ活動への参加状況について質問。
- 「バスケットボール」が最多であり、「野球」「卓球」「サッカー」が続いた。部活動にある競技が多く、技術向上やより高いレベルを目指してクラブ活動を行っていることが考えられる。

① クラブ活動の所属状況

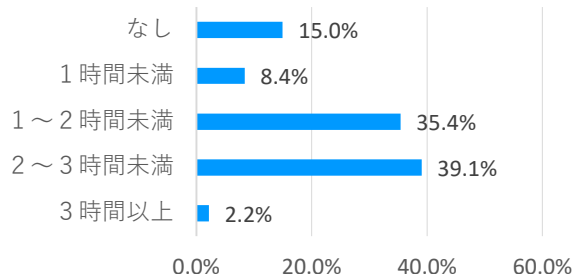


- 週に4～5日活動しているクラブが最多であった。
- 平日・休日共には2～3時間程度の活動時間が最も割合が多く、休日に集中して活動するクラブが多くなっている。
- 専門性を求めて加入している場合が多く、「中学校にやりたい部活動がない」ケースは1割程度と低かった。

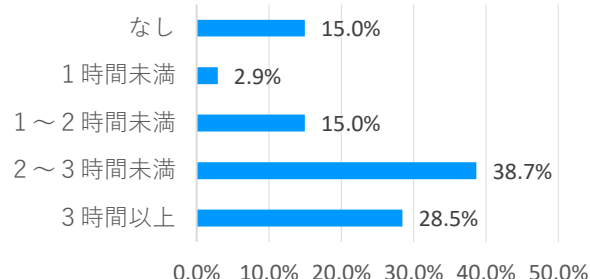
② クラブ活動の活動日数（1週間あたり）



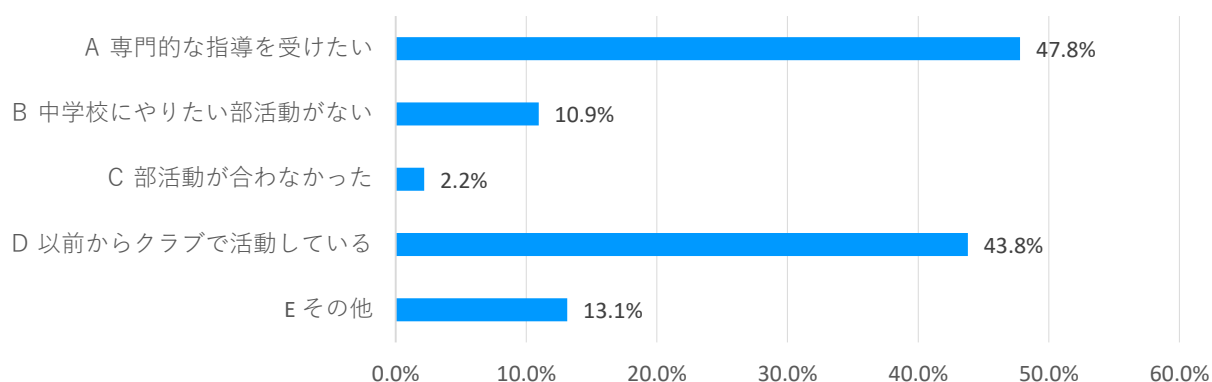
③ 平日の1回あたりの活動時間



④ 休日の1回あたりの活動時間

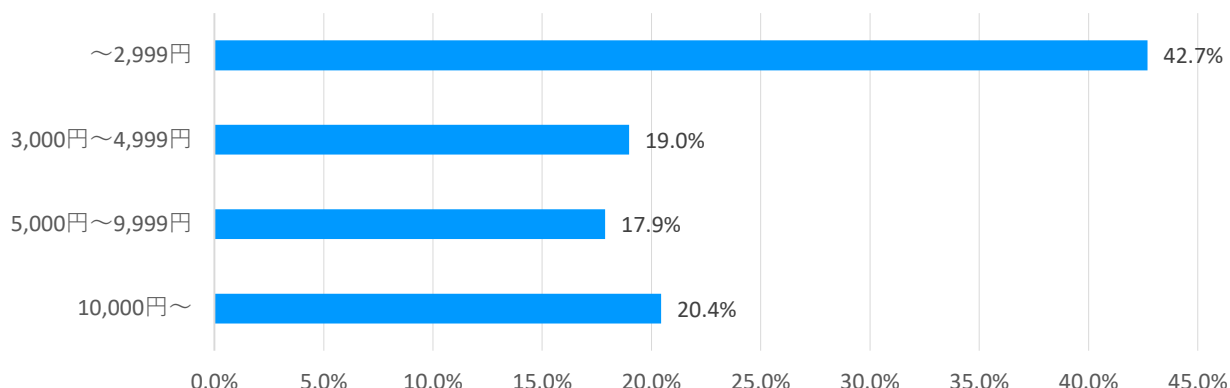


⑤ クラブ活動に所属している理由（複数選択） （追加想定）学校部活動を選ばなかった理由

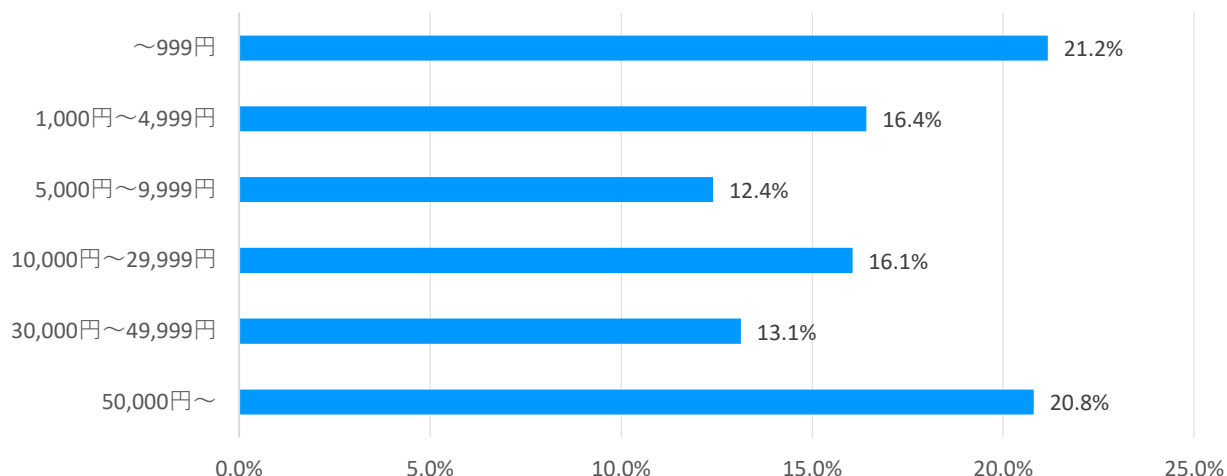


- クラブ活動の月額が3,000円未満が4割強で最も多かった。一方で6割近くが3,000円以上となっており、部活動よりも高額となっている。
- 活動により、年間経費の金額は大きく異なっている。1,000円未満と50,000円以上の割合はほとんど同割合で、金額差が大きい。

⑥ クラブ活動の部費・会費（月額）について



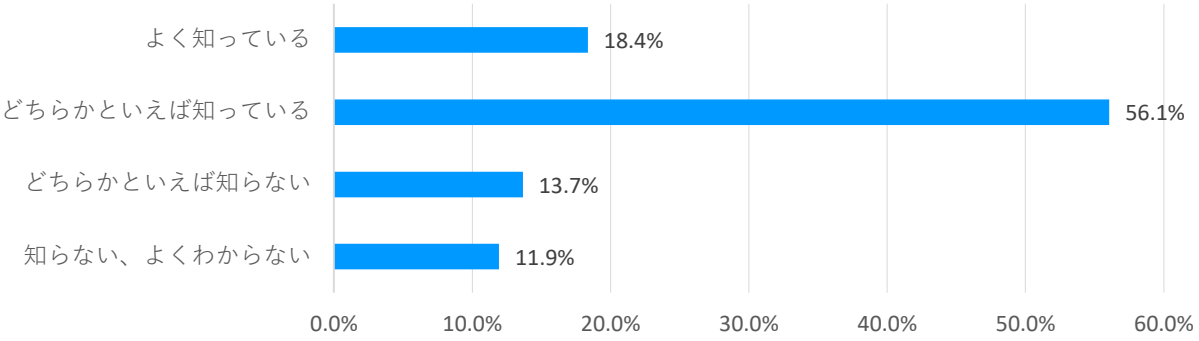
⑦ クラブ活動の部費・会費以外の年間経費（大会参加費・遠征費）について



問 4 部活動の地域移行について

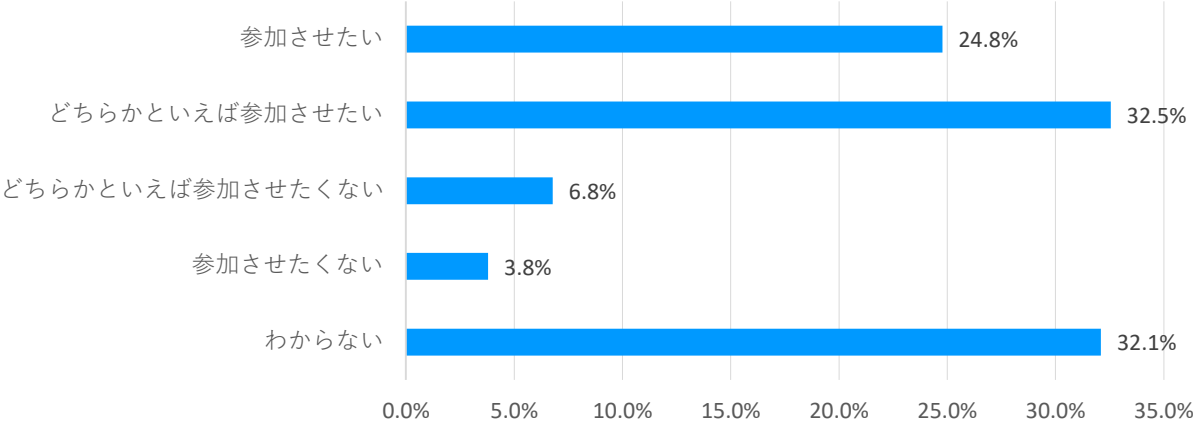
- 部活動地域移行の認知、期待について質問。
- 部活動の地域移行については、7割強が認知している状況。
- 参加に肯定的な意見が6割近いが、「わからない」との回答が3割以上で、地域移行の状況が分からない様子も推察される。

① 部活動の地域移行についての認知状況



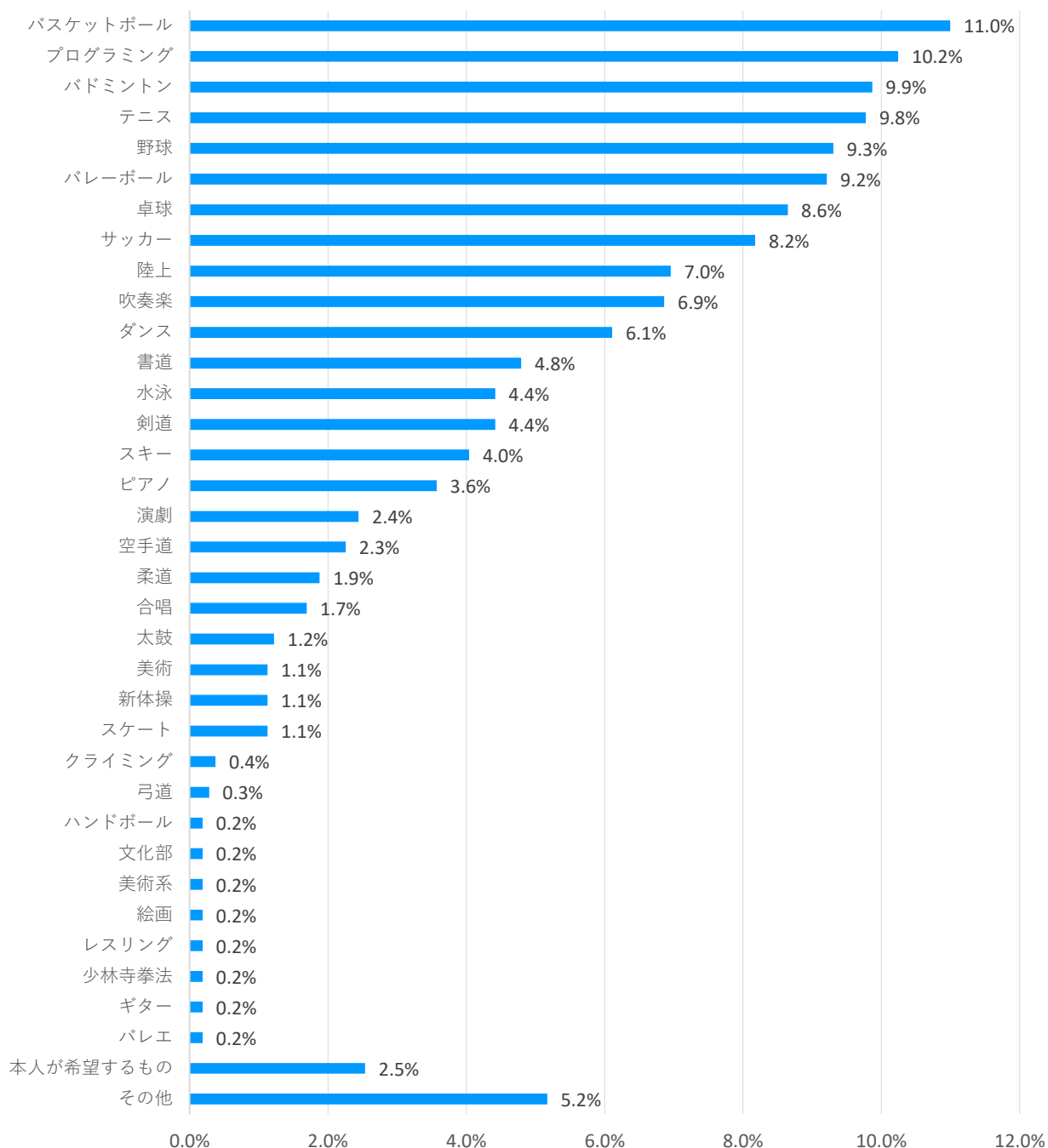
② 地域移行した部活動への参加希望 (追加想定)

休日は部活動を学校主体から地域主体のクラブ活動となり、活動場所や指導者が平日と異なることも想定されます。



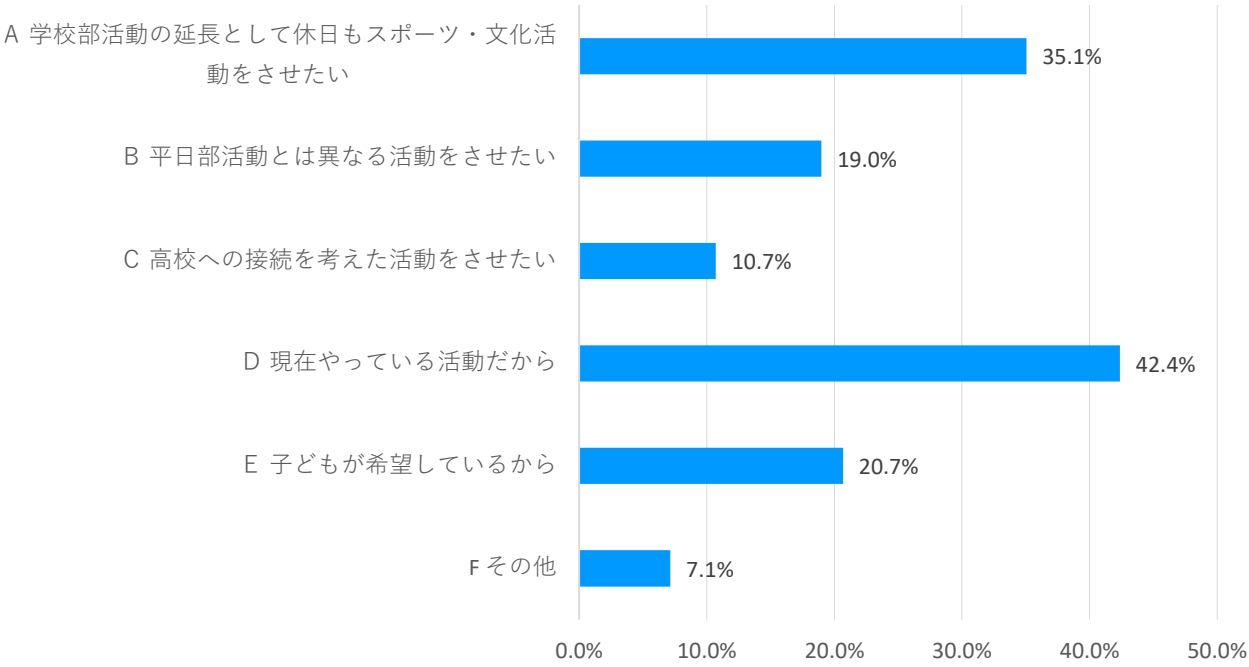
- バスケットボール・テニス等の競技のほか、「プログラミング」「バドミントン」といった部活動にない競技への希望が高いことが確認できる。
- 部活動にはない活動も多くみられ、多様な希望が見受けられる。

③ 休日に地域主体のクラブ活動へ参加させる場合に、希望する活動（複数選択）



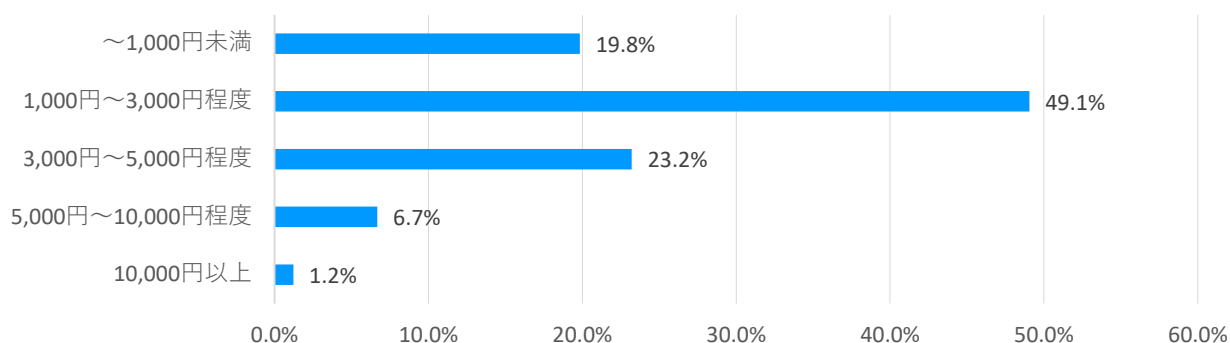
- 「現在行っている活動」を継続する回答割合が最も多かった。次いで「学校部活動の延長として活動させたい」が多い結果となった。

④ 休日に地域主体のクラブ活動へ参加させたい理由（複数選択）

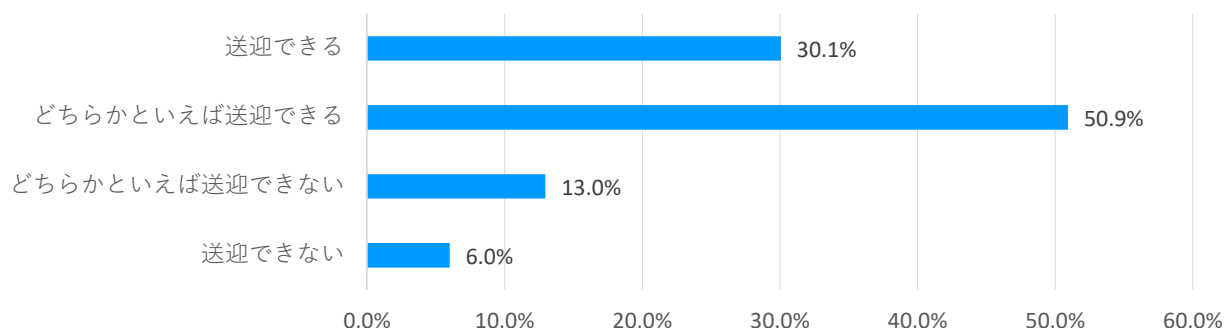


- ・月謝について、1,000円～3,000円程度までが最も許容できるとの回答だった。無料で部活動をしている割合が多いことから、1,000円未満の回答も多くなっていることが予想される。
- ・送迎については、約8割が送迎できるとの回答であったが、休日は仕事などにより送迎できない回答者もいるため、活動場所までの移動は課題になってくると想定される。

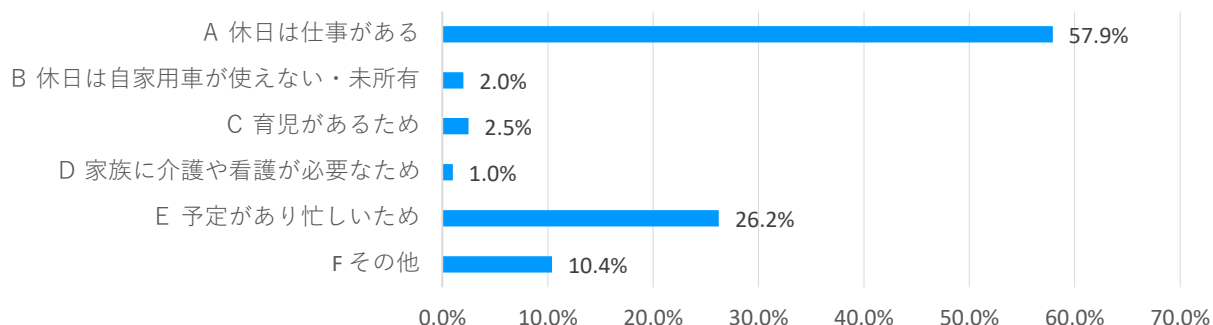
⑤ 休日の部活動が地域主体のクラブ活動となった場合に、許容できる月謝額



⑥ 休日部活動が地区（学区）外の体育館等で行われる場合、送迎可能か（追加想定）送迎の範囲は、片道概ね30分以内の想定をしています。

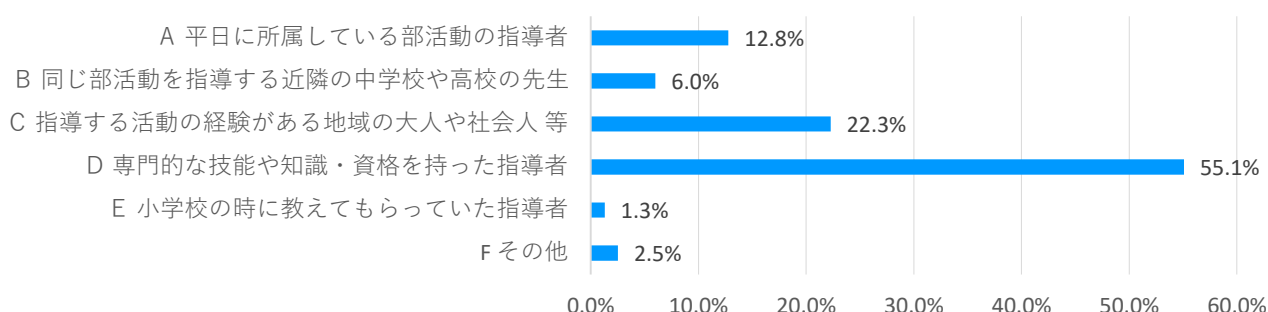


⑦ 送迎ができない場合の理由

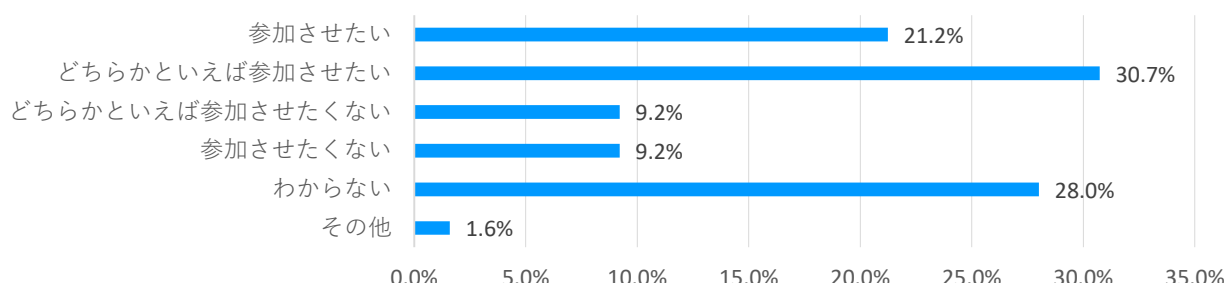


- 保専門的な指導を望む回答が約 6 割と、専門性を求める声が多数であった。
- 約 7 割の回答者が合同部活動の参加に肯定的であったが、「わからない」の割合も多く、地域移行への不安が推察される。

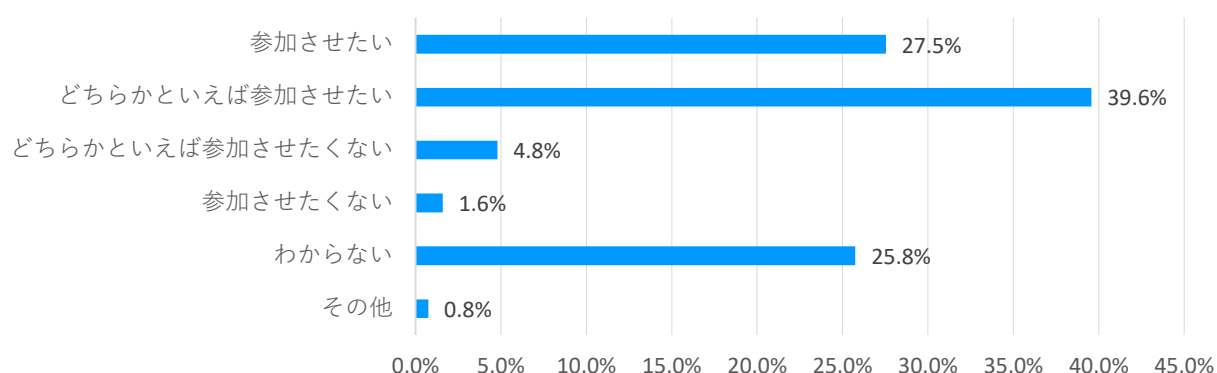
⑧ 休日部活動が地域主体のクラブに移行した場合に、希望する指導者



⑨ 勝敗や大会・コンクールの結果にこだわらず、気軽に楽しく体を動かす、いわゆる「ゆる部活」への参加希望



⑩ 休日部活動について、やりたい種目が合同部活動により継続できる場合の参加希望
(追加想定) 自分が通う中学校以外が会場になる場合も想定される



⑪ 部活動の地域移行に関わる自由記述（まとめ）その1

自由記述に多く寄せられた項目から順に掲載する

一つの回答に複数の項目が記載された場合もあるため、その際は、いずれか一方の内容を採用とした。

【保護者負担について】

- ・ 地域的に交通手段がなく学校以外で部活を続けていくには親の負担が大きすぎる。
- ・ 夫婦共に休日は仕事。今も送迎は大変。自分で行けない範囲が広がると大変。保護者が土、日休日でない家庭も多いので考慮を。送迎ができなくて我慢させている活動もある。
- ・ 通学はスクールバスを利用中。地域移行後、保護者の送迎が必要になるのであれば、保護者の負担は大きい。平日の部活時間も現在の社会体育のように遅くまでの練習時間が出るのは心配。
- ・ 環境や家庭の都合で送迎ができない家や、高額のコストがかかる場合、挑戦したくてもできない子が出るのではないのかと言う懸念がある。
- ・ 共働きで週末も仕事で部活動の送迎に苦勞。自校練習時にのみ自転車使用が認められているが、近隣中学への練習・試合に出向く際にも自転車や電車移動を許可して欲しい。または費用を徴収して中学からバスを出してほしい。
- ・ 学校管轄外の場所だと今より保護者の負担増。そこまでしてやらせるべきか悩ましいです。学校だと安心出来ることが多い。
- ・ 地域移行になったら、学校の部活はどうなるのか？月謝を払ってまでやる事か？部活動は趣味に近いもの、月謝を払ってまでやらないと思う。
- ・ できる限り子ども自身が通えるような活動を希望したい。月謝などが今より増えることは正直負担。

【指導者確保について】

- ・ 部活動は技術指導だけではない。勝利至上主義になり過ぎないで欲しい。経験者がよい指導者と限らない。指導者育成がとても大切だ。
- ・ 指導者は、安心して子ども任せられるようきちんと専門知識を持ち指導者として相応しい方をお願いしたい。
- ・ 大会は休日にある。平日・休日の指導者が異なると子どもたちは混乱しないか。
- ・ 心的、身体的な体罰やハラスメントが起こらない様な、仕組みをしっかりと作って欲しい。
- ・ 競技経験があるだけでなく、専門的に学んだ人をお願いできるなら、移行する意味がある。学校から管轄が外れると、コーチのやりたいがまになる。
- ・ 一般の人が指導者だと資質に不安。性的な関心を子どもに持つ人、または指導するうちに芽生える人もいる。指導者は、1人ではなく複数人にし、しかも男女混合にするなどの工夫がかかせない。
- ・ 地域移行には反対。少ない手当で指導できるはずがない。施設に恵まれない佐久市でどの様に強くするのか？指導者は定年した人か、高校の先生しか居ない。教育委員会がもっと教員に対して休日手当をもっと出せば良い。1日の部活指導で2000円では酷い。
- ・ 部活動で足りない部分を地域のクラブ活動で補いたい。顧問が運営しているクラブチームに勧誘されているが、指導方針に難点があり他のチームに入りたい。顧問が他のチームに所属するとあからさまに圧力をかけるため悩んでいる。

⑪ 部活動の地域移行に関わる自由記述（まとめ）その2

自由記述に多く寄せられた項目から順に掲載する

一つの回答に複数の項目が記載された場合もあるため、その際は、いずれか一方の内容を採用とした。

【情報提供について】

- ・ 地域移行で今後お世話になるクラブ等への説明がなさ過ぎる。少子化に伴う地域校は仕方ないが先生の働き方改革に伴うことなら納得いかない。
- ・ 地域移行に関する情報や市としての方針など保護者が知る事ができる情報が少なすぎる。早めに行政、学校側で方針を出してほしい。
- ・ 具体的にどのようなことが検討されている状況であるか、周知してほしいです。
- ・ 各家庭にしつこいほどの説明をしてもらいたい。アンケートだけでは分からないことだらけ。子ども・保護者が納得してないで後々トラブルになるでは指導されていく側も迷惑。佐久市の中学校の全部活を実際に見て子どもと保護者の意見を聞いて欲しい。
- ・ やってみたいと分からないことが多い。関係者が気兼ねなく意見交換できる場が必要。

【部活動は現状維持/休日の部活動不要】

- ・ 保護者の送迎ができない家庭はやりたくてもできない生徒の方が多くなる。学校でやってくれたらありがたい。
- ・ 学校での部活は必要だと思うので無くさないで欲しい。
- ・ 部活動によっては、大会等に向けて休日に集中的に練習したい。団体で行うものは学校毎に行うべきだと思う。各学校に外部から指導者を入れるのではダメか？
- ・ 環境を変化させたくなく、反対だ。
- ・ 休日は基本的に休みにすれば良い。休日に集中して勉強する事も必要と考える。

【活動の方向付けについて】

- ・ 勝ちたい子と楽しみたい子と分けてもらいたい。
- ・ 同じスポーツでもやる気度合いに分けた複数のクラブがあればよい。
- ・ 上を目指す子（家庭）は部活以外の活動をすれば良い。学校部活と地域活動の選択肢がある環境を維持出来るのが一番だ。選択肢が増え分散し、活動者数の問題もある。そういった多方面の問題が解決出来ない以上は無理に地域移行を行う必要はない。

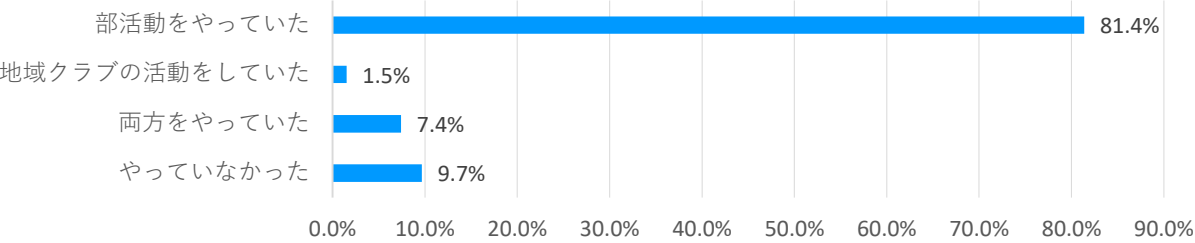
・ 【その他】

- ・ 新たな選択肢があってもいい。納得できない学校の指導者よりもいろんなところを教えられる人もいるか？と思う。
- ・ 子ども達にとって一番良い方法をお願いしたい。
- ・ 大人の都合でこの移行期にかぶってしまった子どもが一番可哀想。同じ中学に進む子が同じチームに流動的に入れるシステムになれば良いですが、個人に委ねるのは仲間でバラバラになってしまい可哀想。
- ・ 部活動の時間が15分しか無いなど、頑張りたい子ども達の能力を伸ばす事を放棄しているように見える。地域移行後は大会等などはどうなるのか？

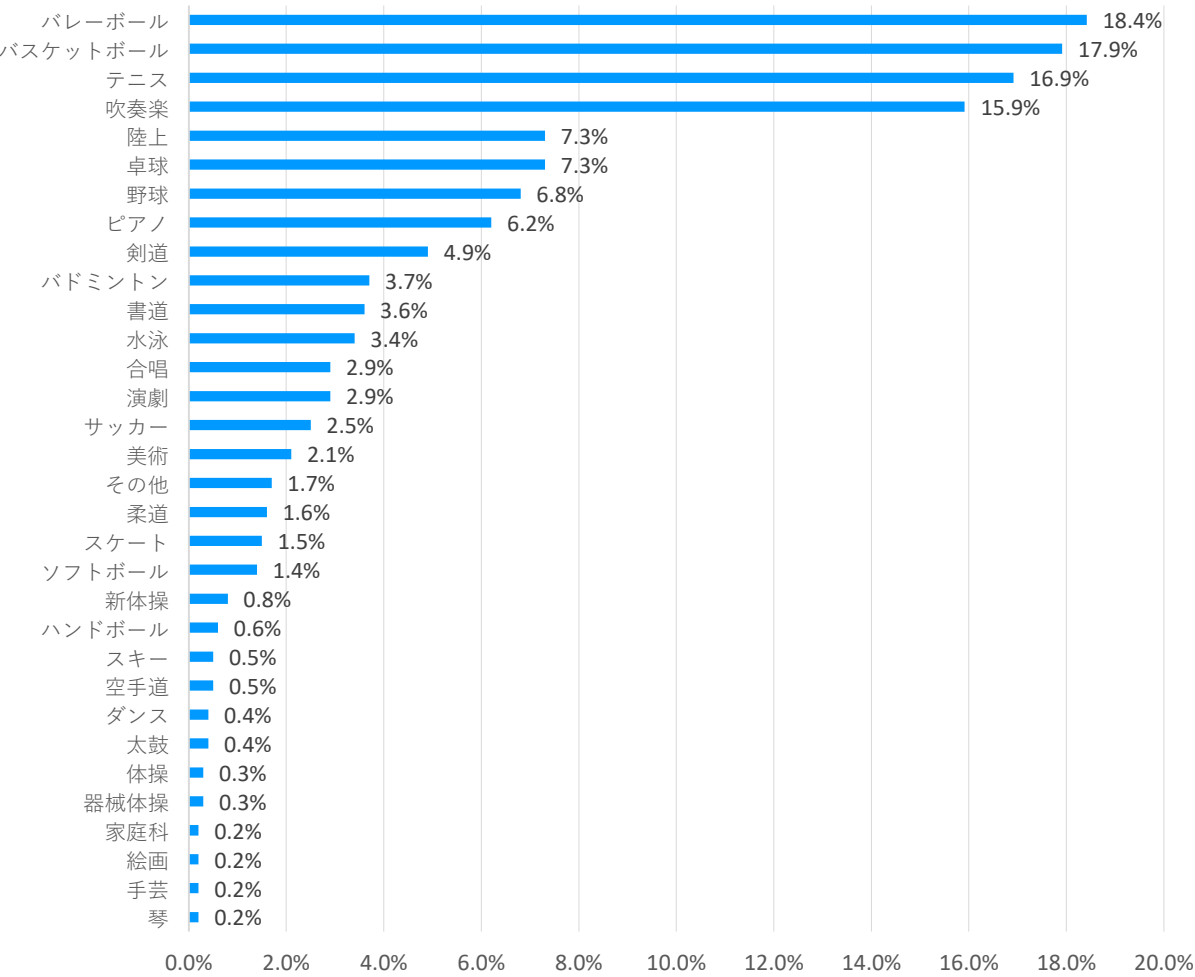
問5 保護者の経験・指導について

- 保護者の部活動経験やスポーツ少年団等の指導経験について質問。
- 地域指導者をいかに確保していくか、検証する。
- 約9割の回答者が、中学校時代に活動を行い、多様な活動をしていた。

① 中学生時代に部活動やクラブ活動でスポーツや文化活動の経験の有無

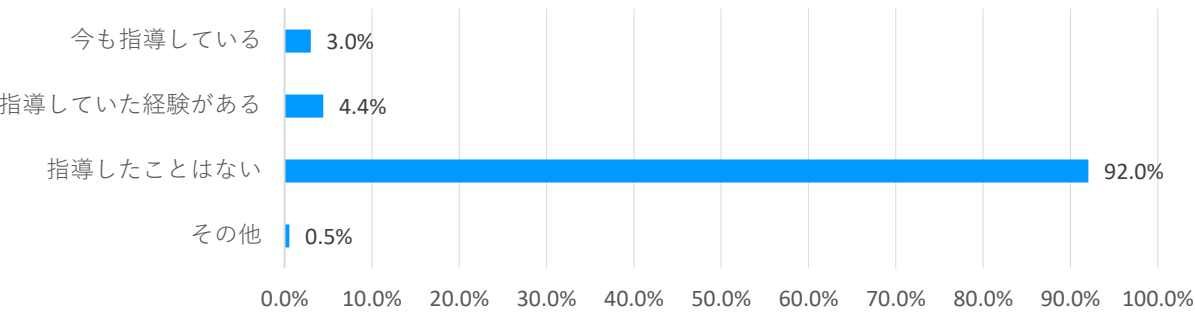


② 経験した活動の種類（複数選択）

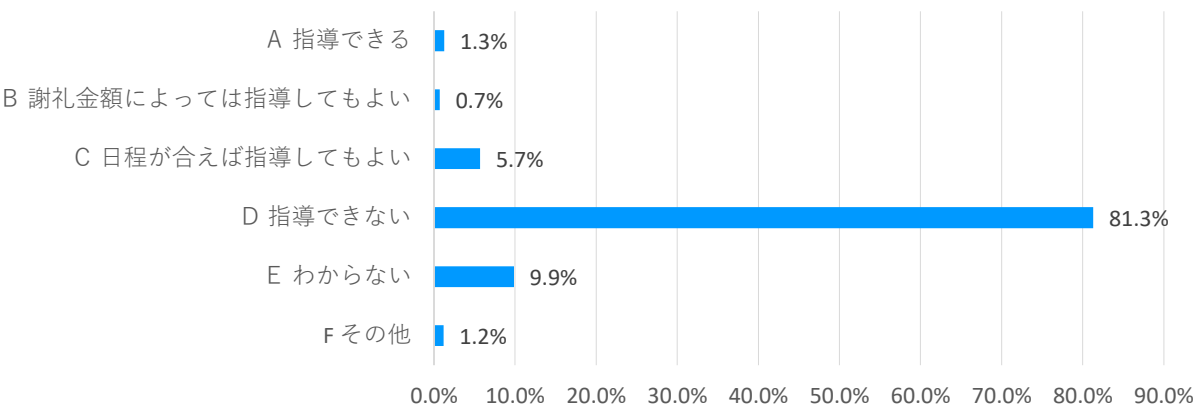


- 指導経験のある回答者は7.4%であった。
- 7.7%の回答者が、地域移行後に条件によって指導者となり得ることが分かった。

③ スポーツ少年団や文化活動等での指導経験について

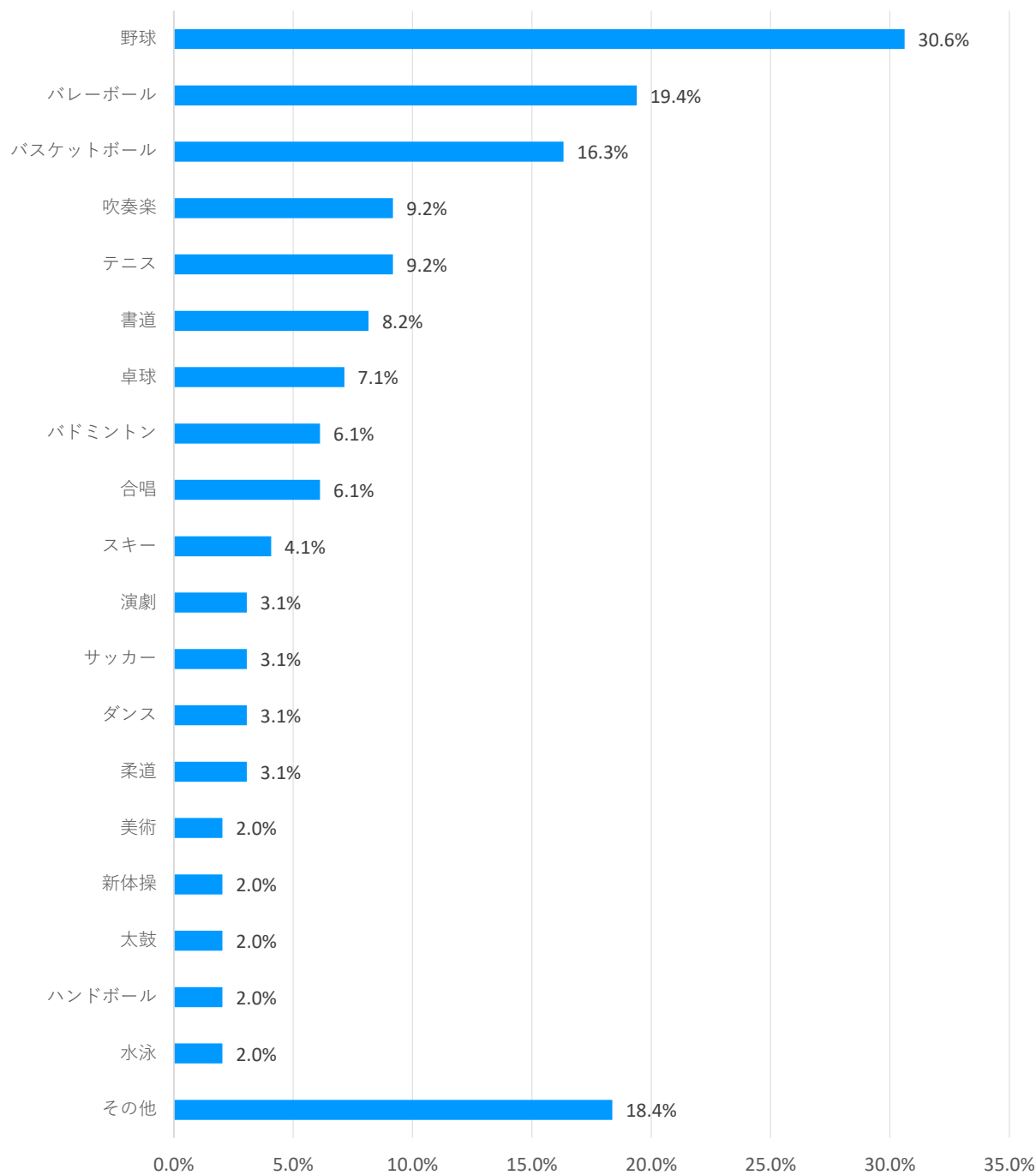


④ 部活動が地域に移行した際、指導者になれるか



- 指導可能な活動について、野球との回答が最も多かった。
- 多くの部活動の競技・活動について、指導可能な人材がいることが確認された。

⑤ 指導可能な活動（複数選択）



佐久市立中学校の運動・文化部活動の 地域移行に向けたアンケート調査結果

(5) 教職員 版

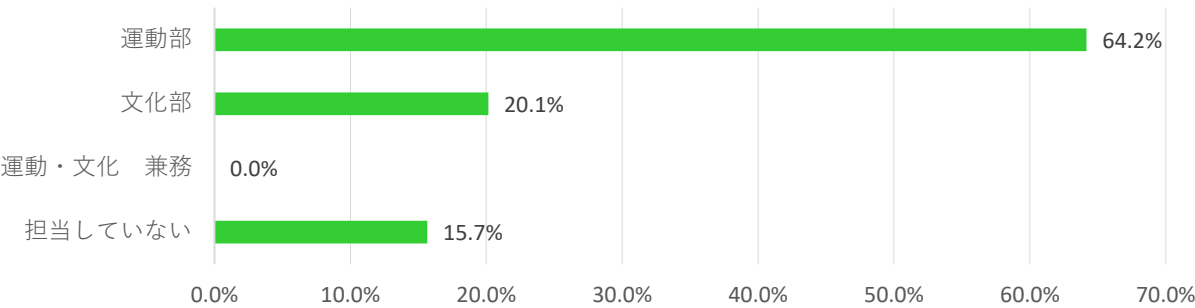
対象教職員数	回答件数	回収率
1 9 4 人	1 3 4 件	6 9 . 1 %

佐久市教育委員会 社会教育部 スポーツ課
令和 6 年 3 月

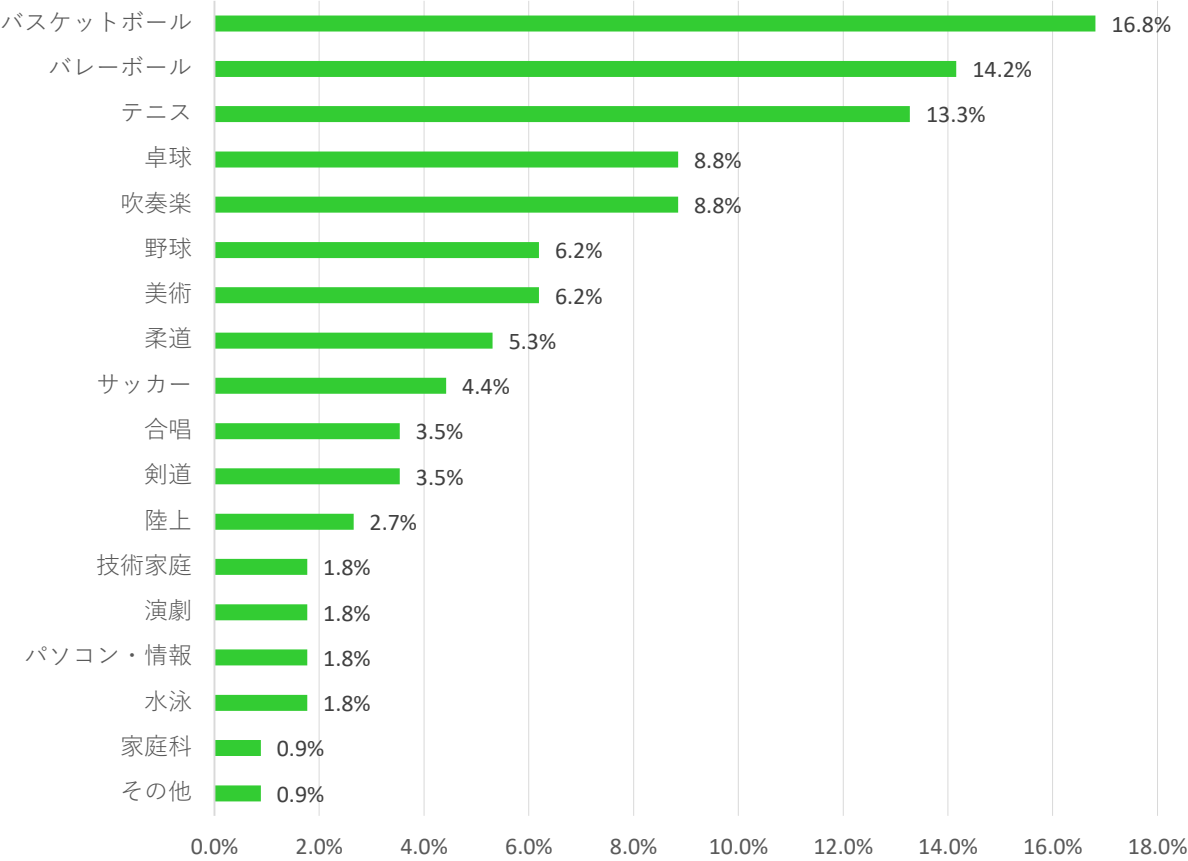
問 1 部活動の指導状況

- 部活動の顧問状況、競技・活動経験などを質問。
- 運動部、文化部で8割以上の教職員が顧問を務めている。
- 運動部を受け持つ教職員が多くなっている。

① 部活動顧問を担当の担当状況（副顧問も含む）

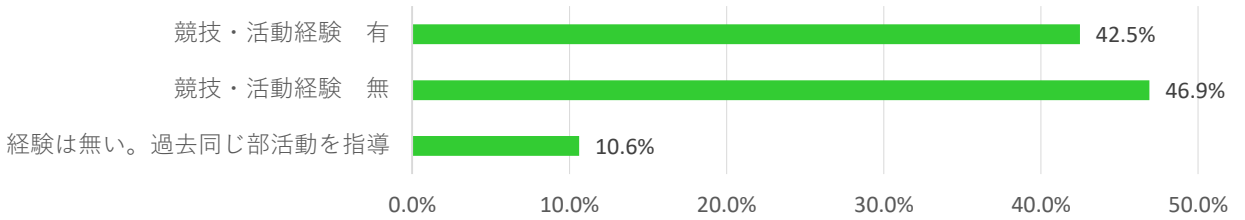


② 受け持つ部活動の競技・活動の種類（複数選択）

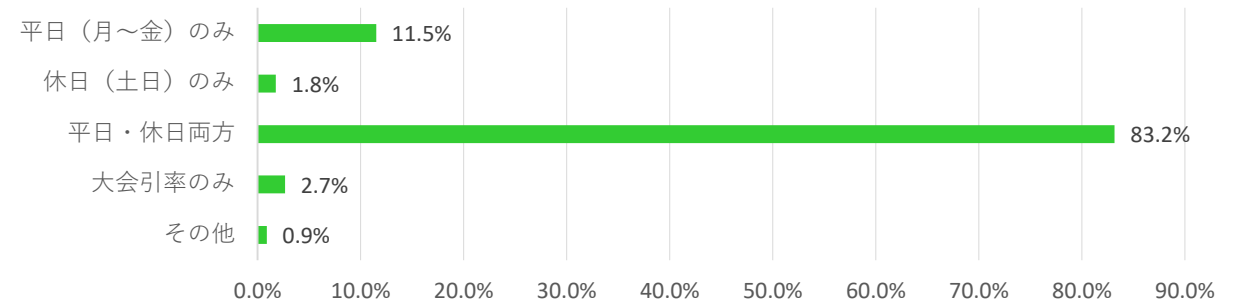


- 受け持っている部活動の競技・活動経験は「ない」という回答が約半数で、「経験はないが指導実績あり」を加えると、約6割の回答者が未経験であった。
- 平日・休日両方活動している部活動が多く、1回あたりの従事時間は、平日で1時間以上、休日で2時間以上が多数を占め、顧問の負担が大きいことが示された。

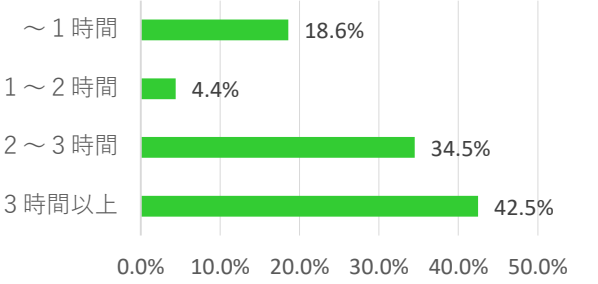
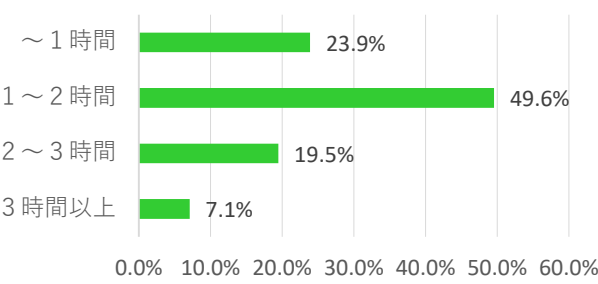
③ 受け持つ部活動の競技・活動経験及び指導経験の有無



④ 部活動の活動日（曜日）について

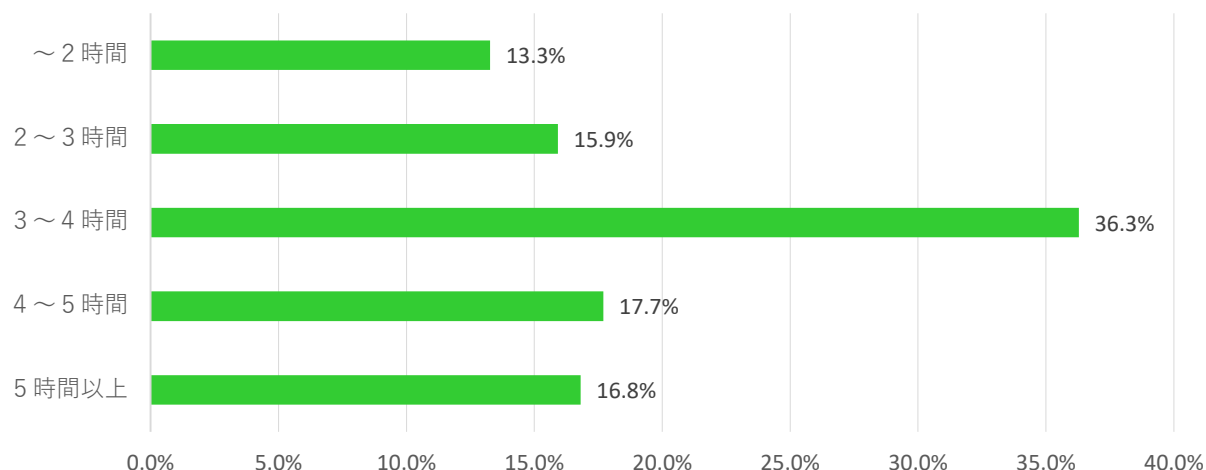


⑤ 平日の1回あたり部活動の指導従事時間 ⑥ 休日の1回あたり部活動の指導従事時間

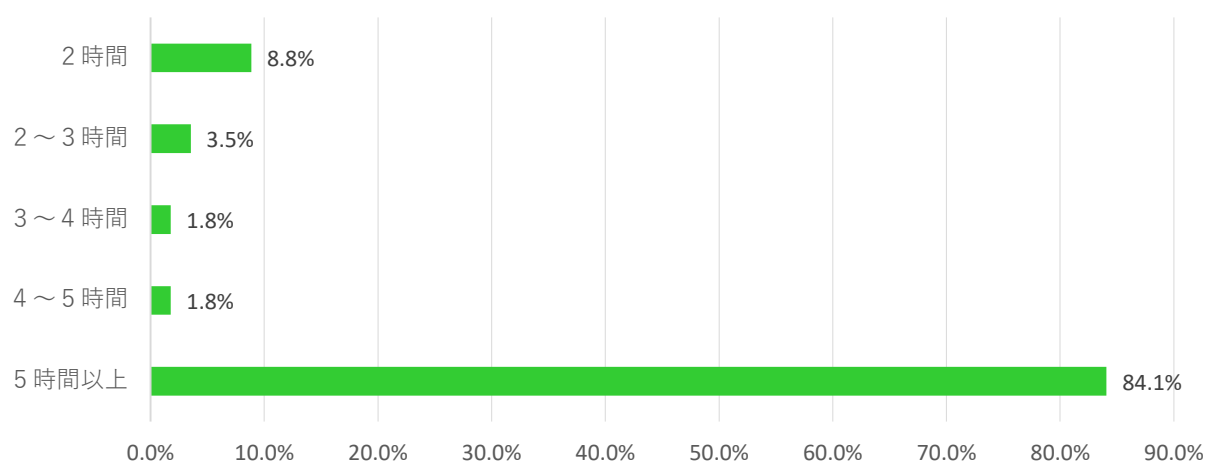


- 休日の練習試合や行事においては、回答者の7割が3時間以上、だった。大会やコンクール等においては8割強が5時間以上従事している。
- 部活動の顧問を務めることで、教職員が平日休日問わず部活動に従事していることが浮き彫りになった。

⑦ 休日の1回あたり練習試合や行事の部活動従事時間



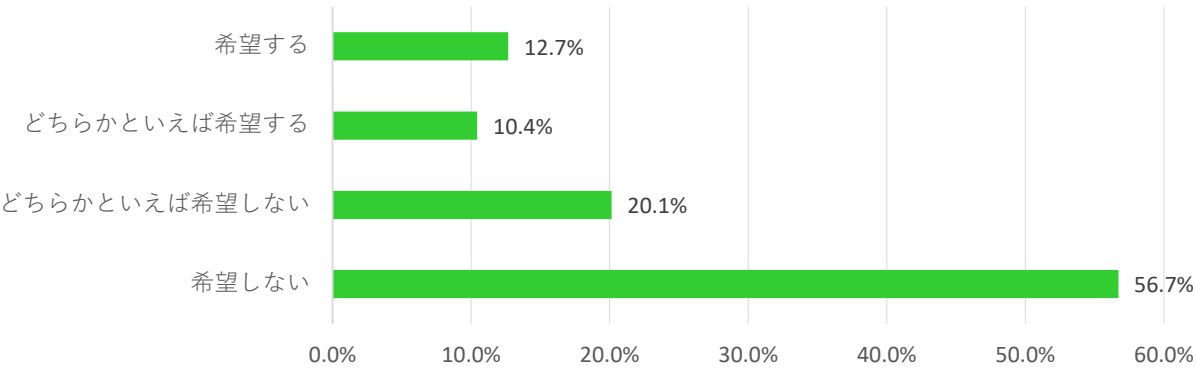
⑧ 休日の1回あたり公式試合・大会やコンクール・発表会の部活動従事時間



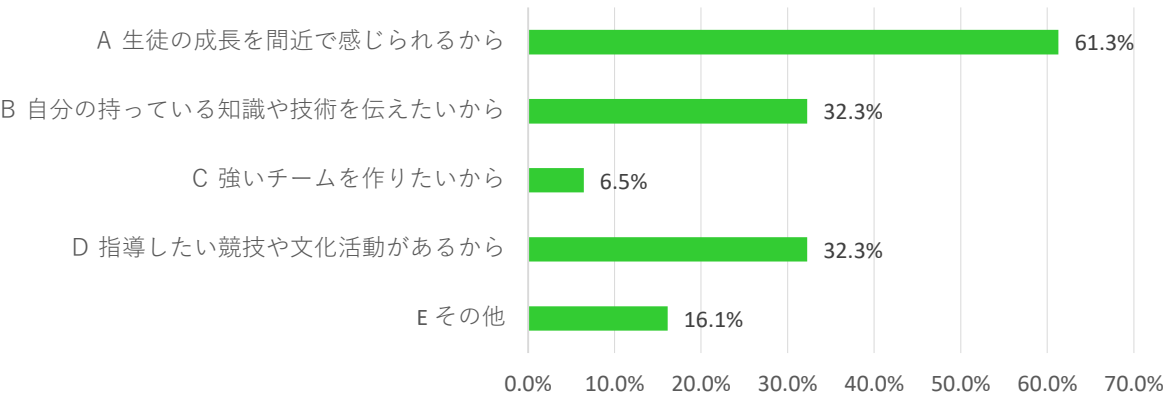
問 2 休日部活動の地域移行に向けて

- 休日部活動の地域移行後の指導希望などを質問。
- 指導を希望する回答者は約 2 割のみであり、大多数は指導を希望していない。
- 指導希望の理由については、「生徒の成長を間近で感じられる」が最も多く、「強いチーム」を望む声は少数であった。

① 休日部活動が地域移行した場合の指導希望状況

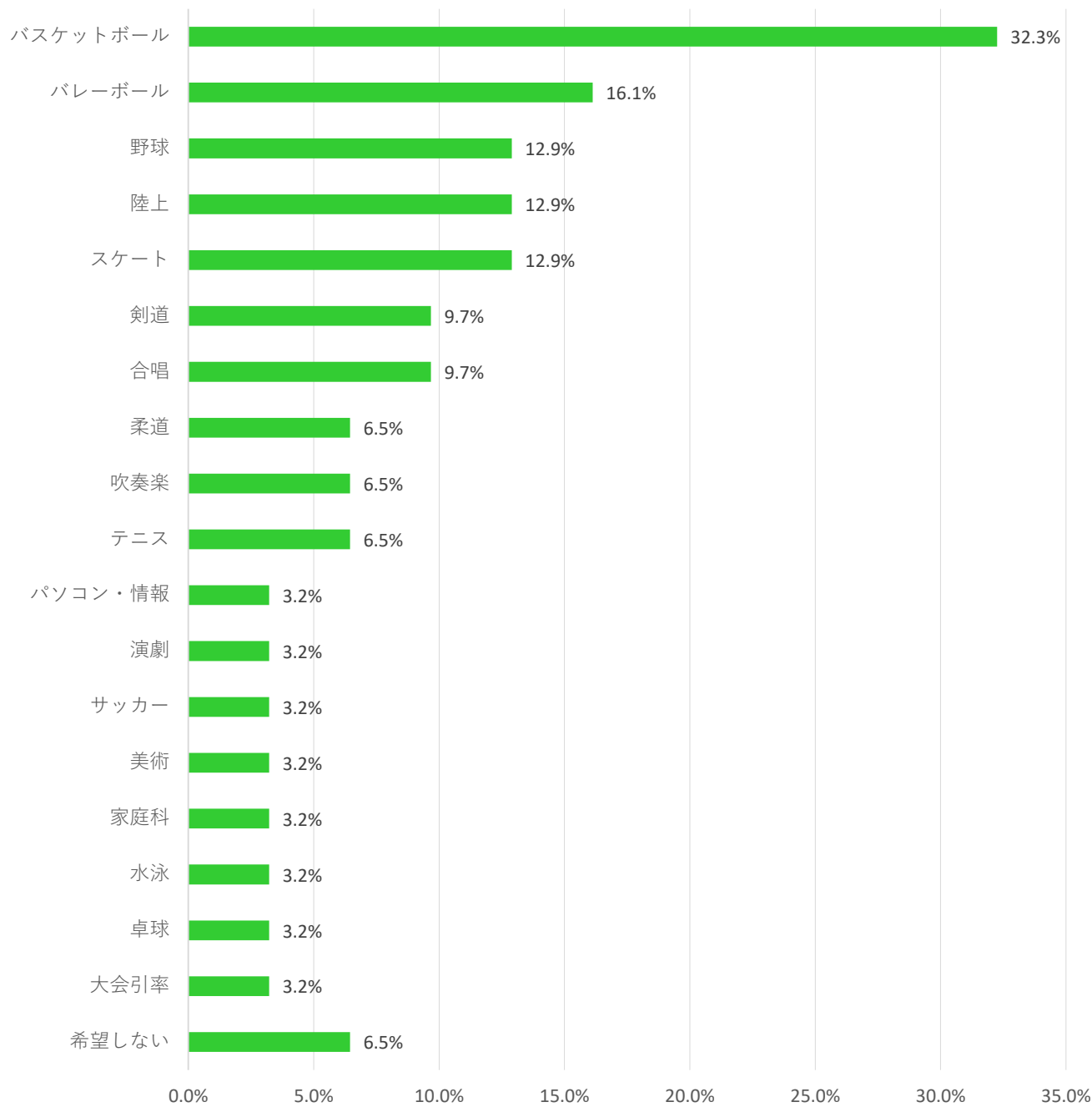


② （休日部活動の地域移行後）指導を希望する理由（複数選択）



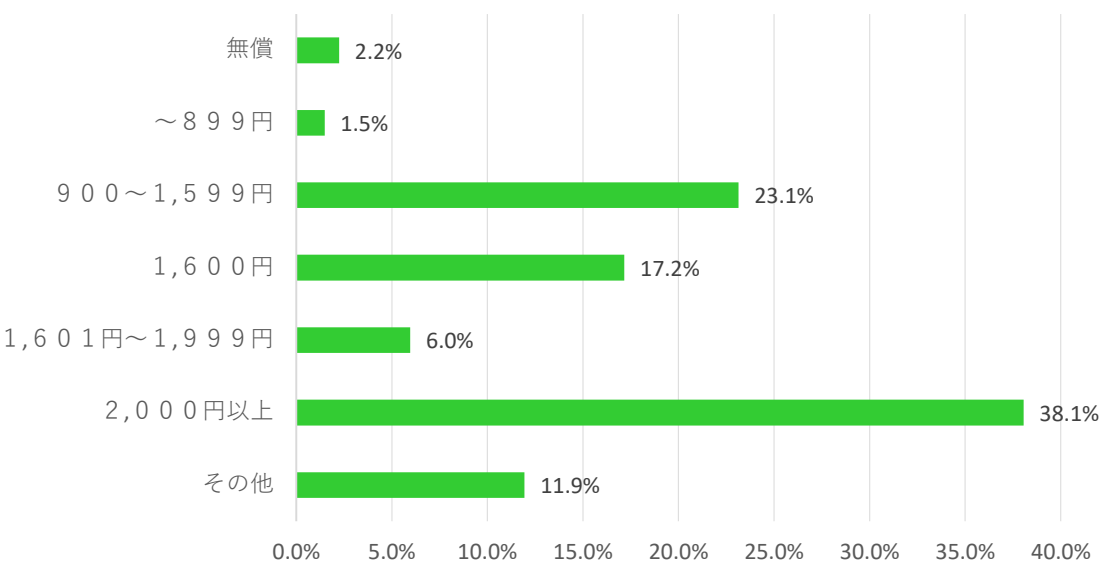
- 休日部活動の地域移行後も指導を希望する競技は、「バスケットボール」が最多の2割強で、「バレーボール」が続いた。
- 3番目の「野球」以降は、現在指導している競技・活動との順番が異なる。指導している活動のミスマッチや、負担感が影響していると推察される。

③ （休日部活動の地域移行後）指導を希望する競技等（複数選択）

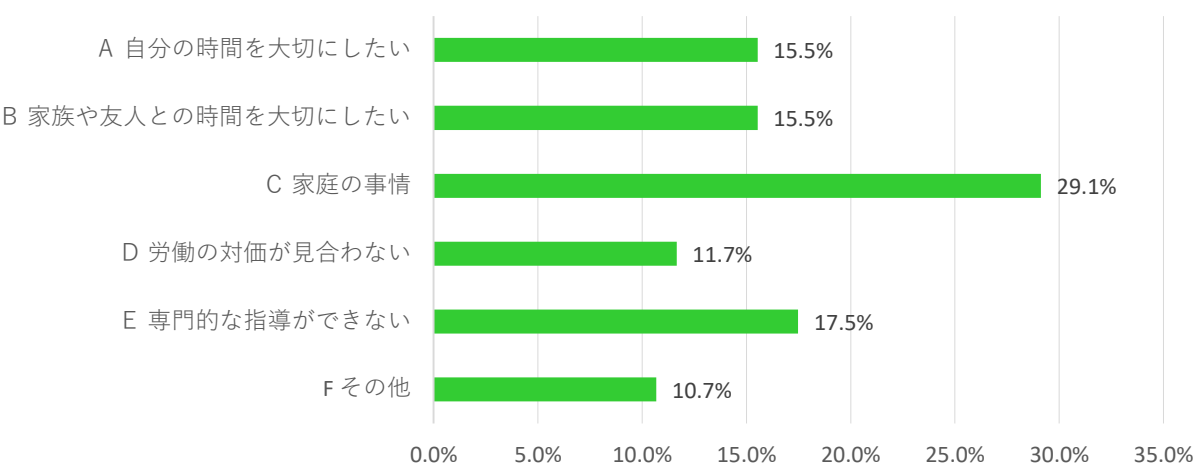


- 希望報酬額は、1時間あたり2,000円以上を求める声が最も多かった。900円以上を求める回答者は8割を超えており、現在の報酬額への不満が反映されていると考えられる。
- 指導を希望しない理由としては、「家庭の事情」が約3割と最も多かった。また、時間的な拘束の影響が大きいことが見受けられた。
- 「専門的な指導ができない」ことから負担を感じている様子も確認された。

④ （休日部活動の地域移行後）指導する場合の1時間当たりの報酬希望額



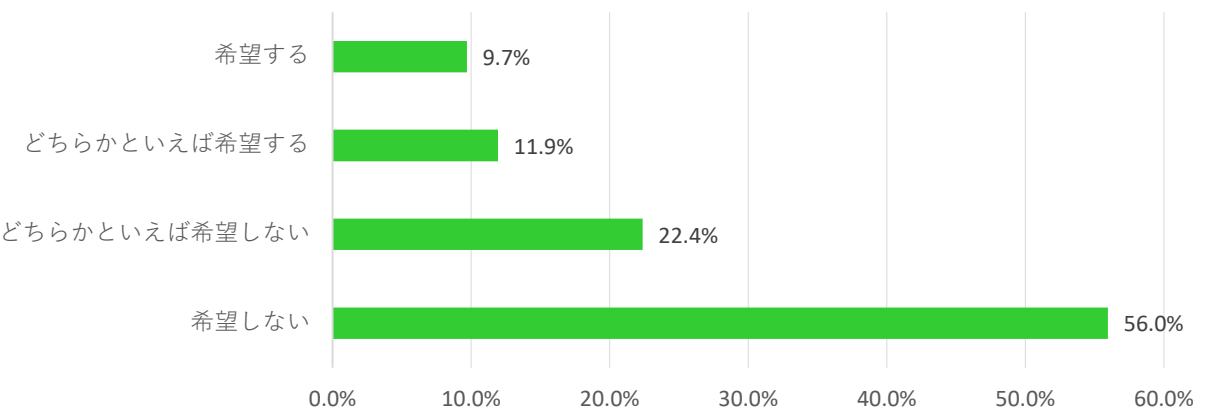
⑤ （休日部活動の地域移行後）指導を希望しない理由



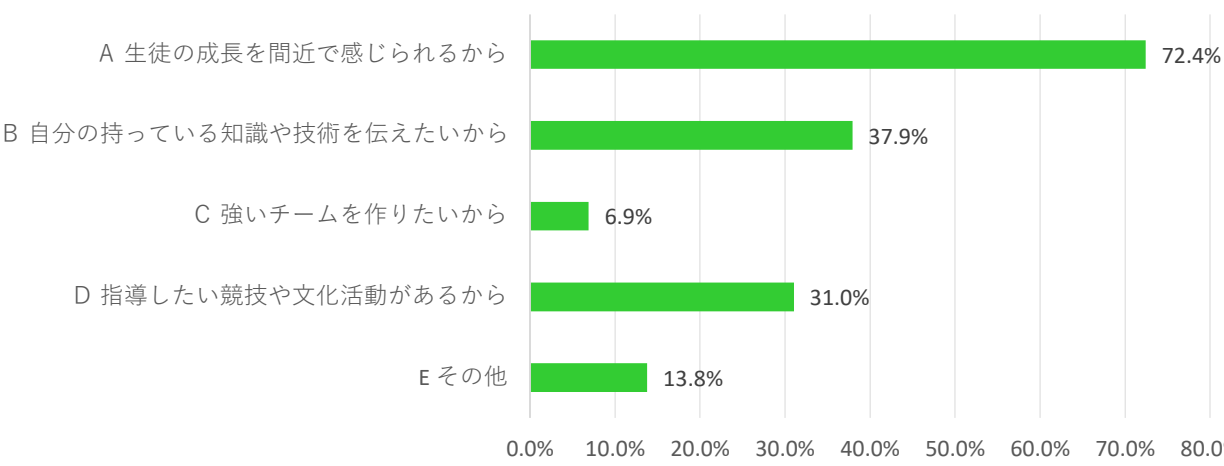
問 3 平日部活動の地域移行に向けて

- 平日部活動の地域移行後の指導希望などを質問。
- 指導希望する回答者は2割程度で、おおむね休日の地域移行後の指導希望と同じ割合であった。平日休日を問わず、指導希望者は少数派である。
- 理由として、「生徒の成長を間近で感じられる」との回答が、休日と比べ微増している。

① 平日部活動が地域移行した場合の指導希望

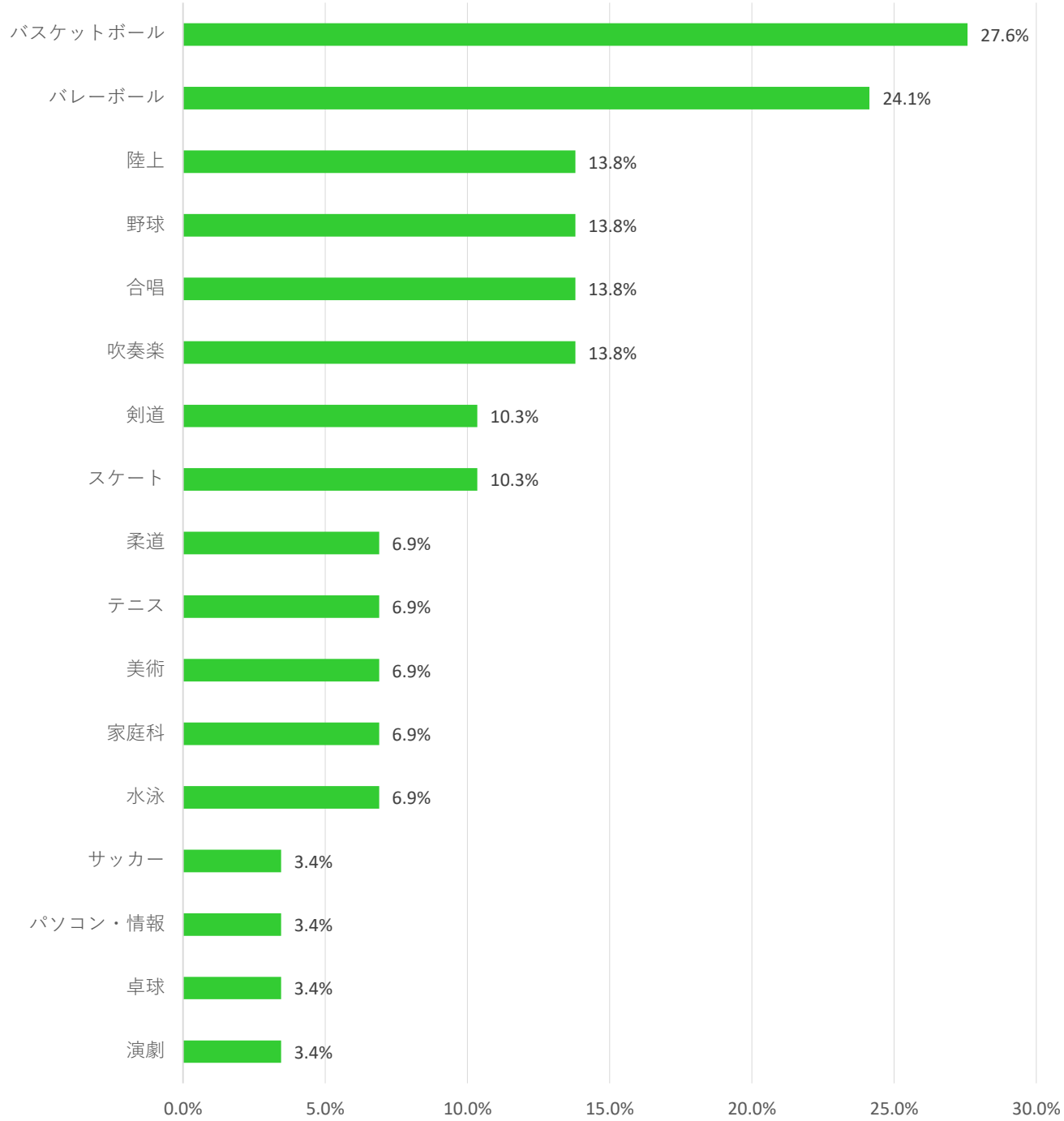


② （平日部活動の地域移行後）指導を希望する理由（複数選択）



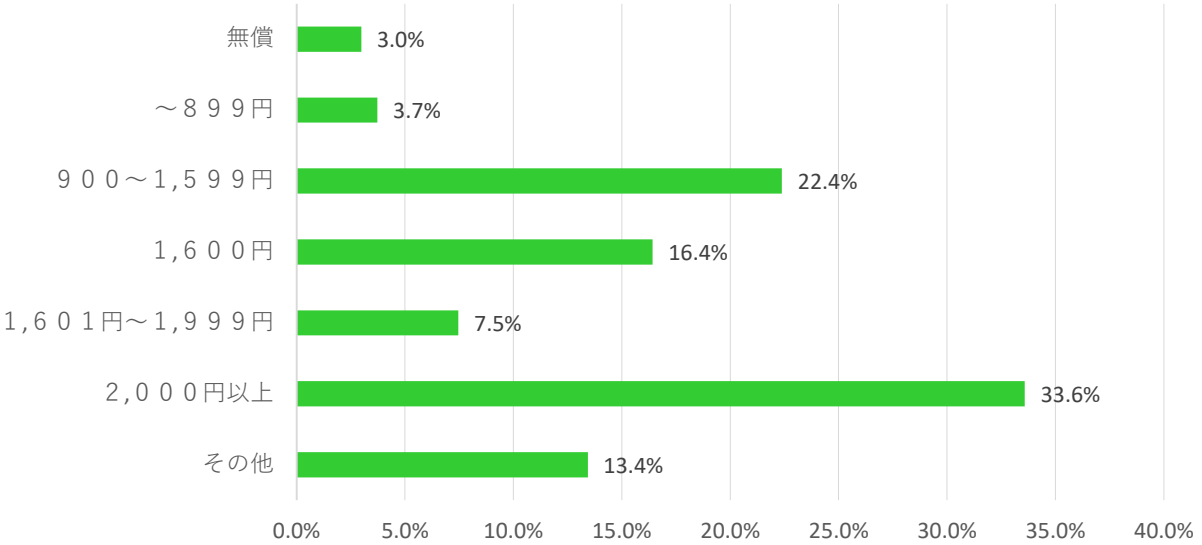
- 指導を希望する競技・活動は、休日の指導希望とおおよそ同じ順番になっている。割合が若干変化しており、休日と平日で指導の希望有無が異なっている。

③ （平日部活動の地域移行後）指導を希望する競技等（複数選択）

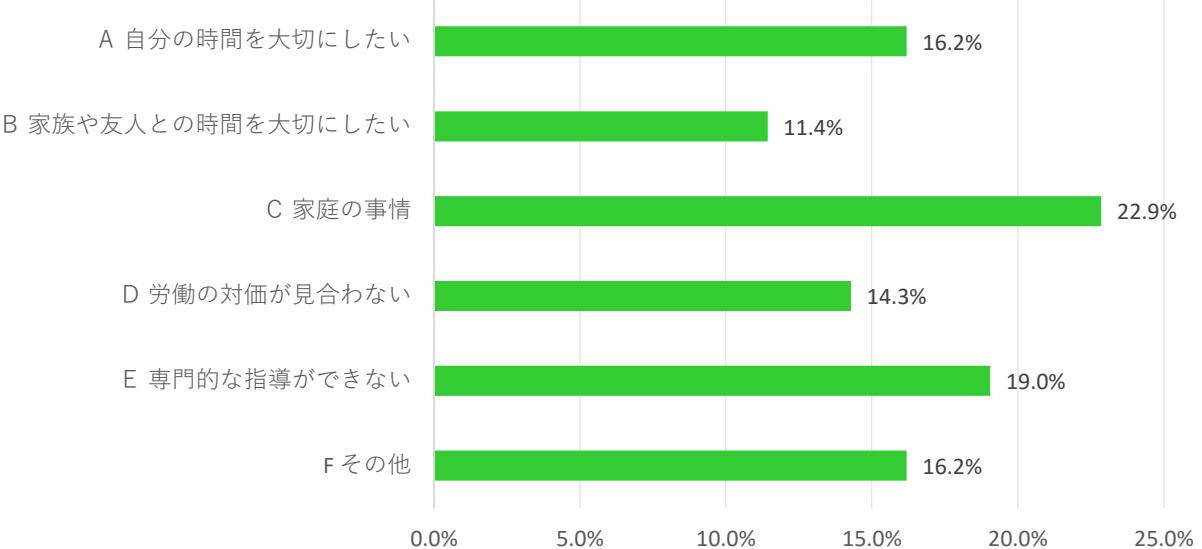


- 希望報酬額は、1時間あたり2,000円以上を求める声が最も多かった。休日指導における希望報酬額とおおよそ同じ金額が求められており、現在の報酬額への不満が反映されていると考えられる。
- 指導を希望しない理由としては、「家庭の事情」が最も多く、「専門的な指導ができない」ことから負担を感じている様子も確認された。

④ （平日部活動の地域移行後）指導する場合の1時間当たりの報酬希望額



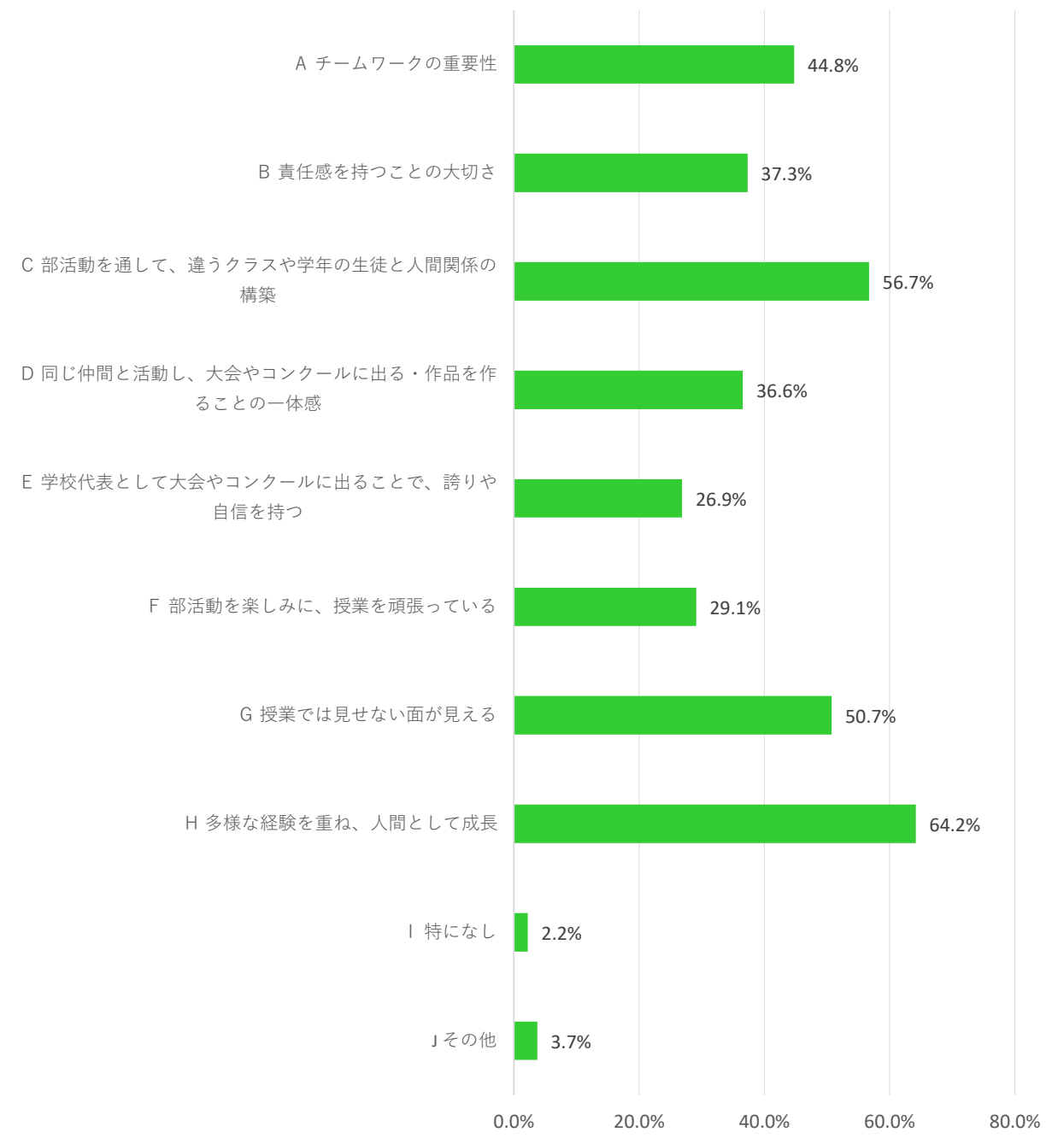
⑤ （平日部活動の地域移行後）指導を希望しない理由



問 4 部活動の役割について

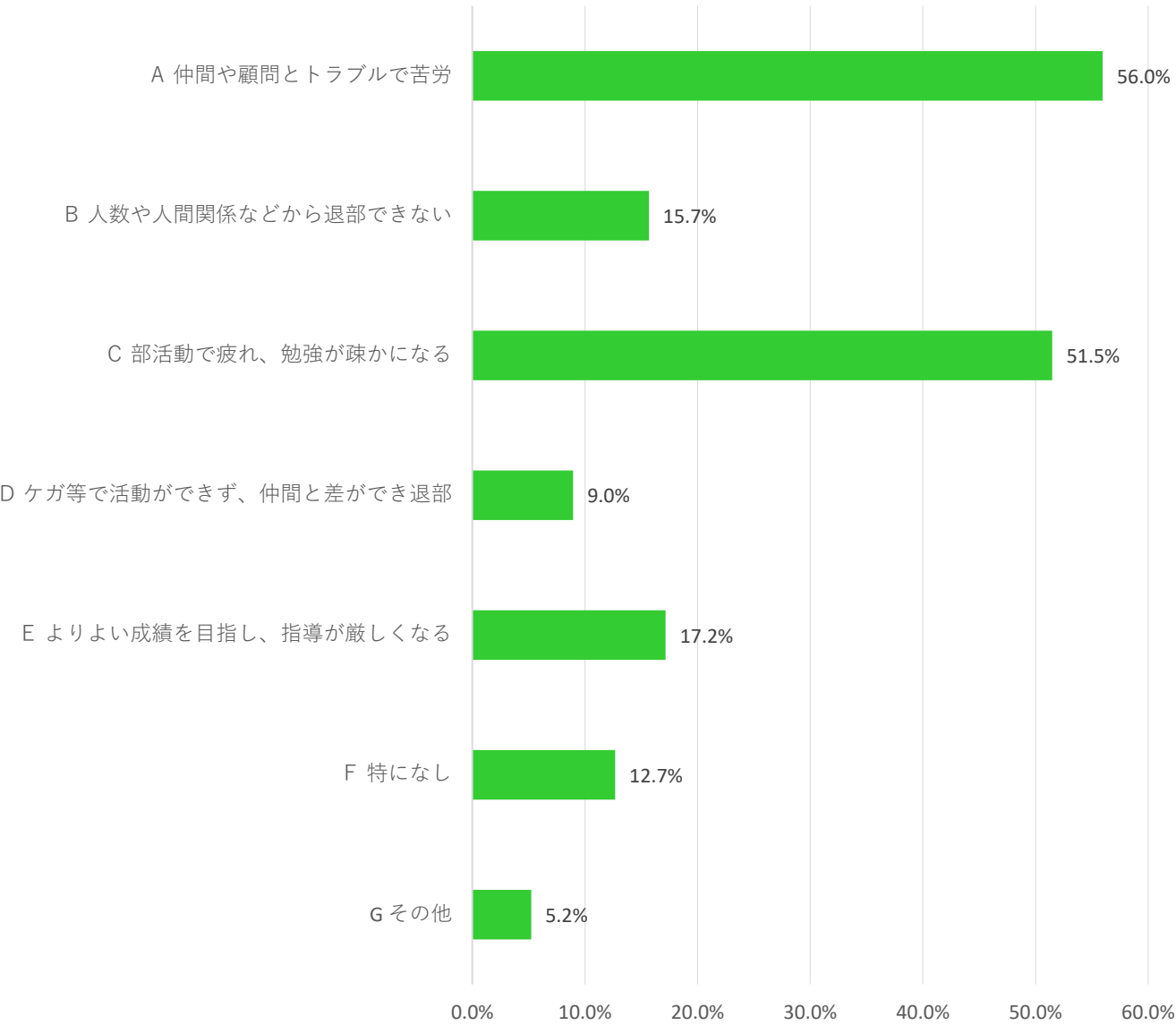
- 部活動が生徒に与える影響などを質問。
 - 「多様な経験により成長」「人間関係を構築」することが部活動の良い面として捉えられている。「授業では見せない面が見える」といった部活動特有の回答も半数程度あった。

① これまでの経験から考える、部活動が生徒に与える「良い面」や「教育的意義」(複数選択)



- 「仲間や顧問とのトラブル」「疲れにより勉強が疎かになる」といったマイナス面が懸念されている。
- 「特になし」も 1 割以上の回答があり、良い面のみを捉えている回答者もいた。

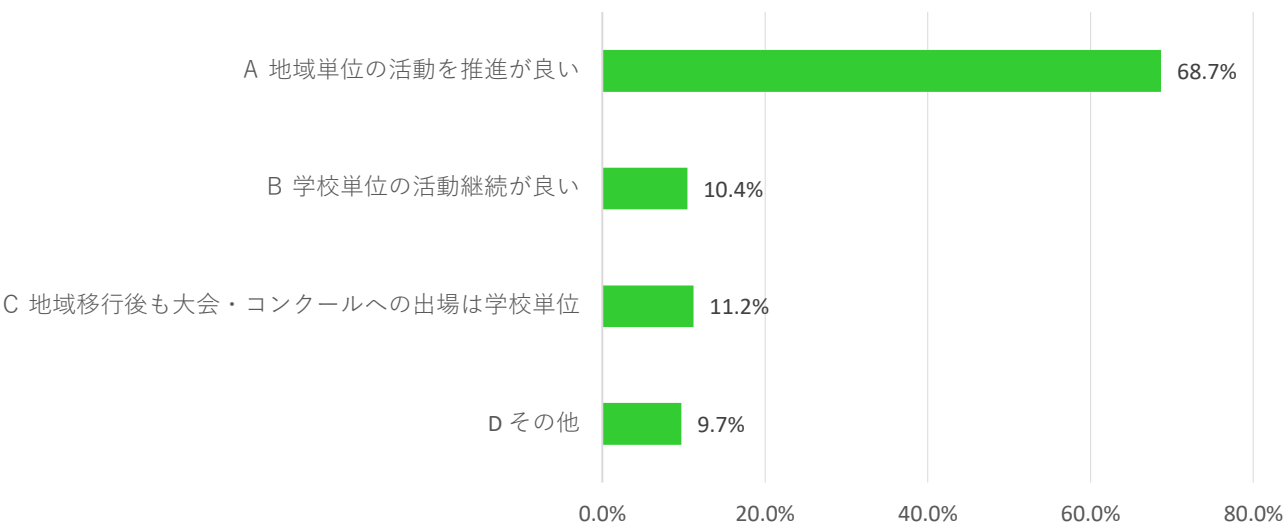
② これまでの経験から考える、部活動が生徒にとってマイナスとなった事例（複数選択）



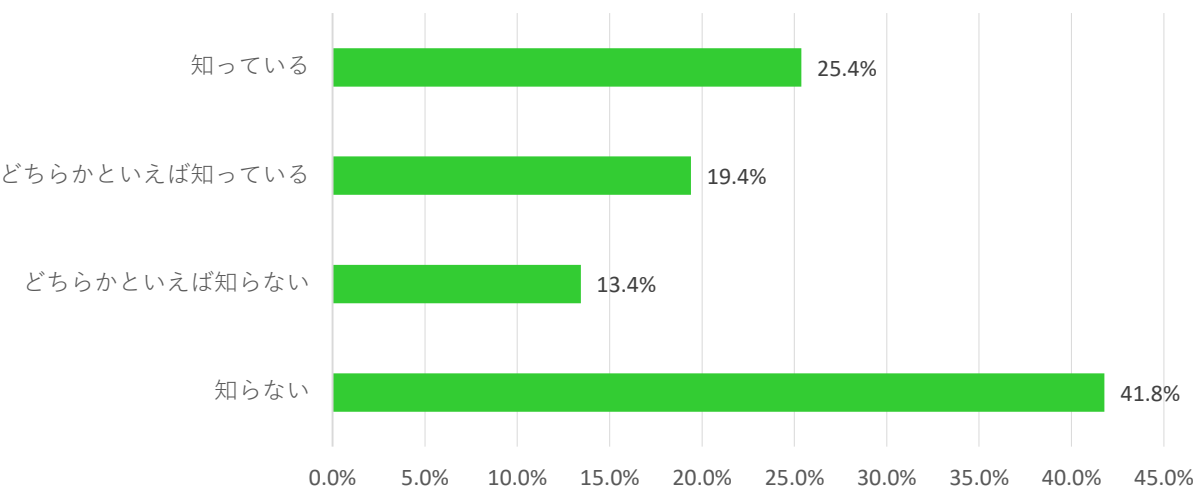
問 5 部活動の地域移行について

- 部活動の地域移行に関する質問。
- 「学校単位」から「地域クラブ」で活動していくことについて、約 7 割が賛成意見であった。一方、2 割程度は学校単位での活動や大会出場を望んでいた。
- ゆる部活についての認知度は半数を下回っており、知らない回答者が多かった。

① 地域移行により、学校単位から地域クラブ等での活動や、大会・コンクールへ出場することについて

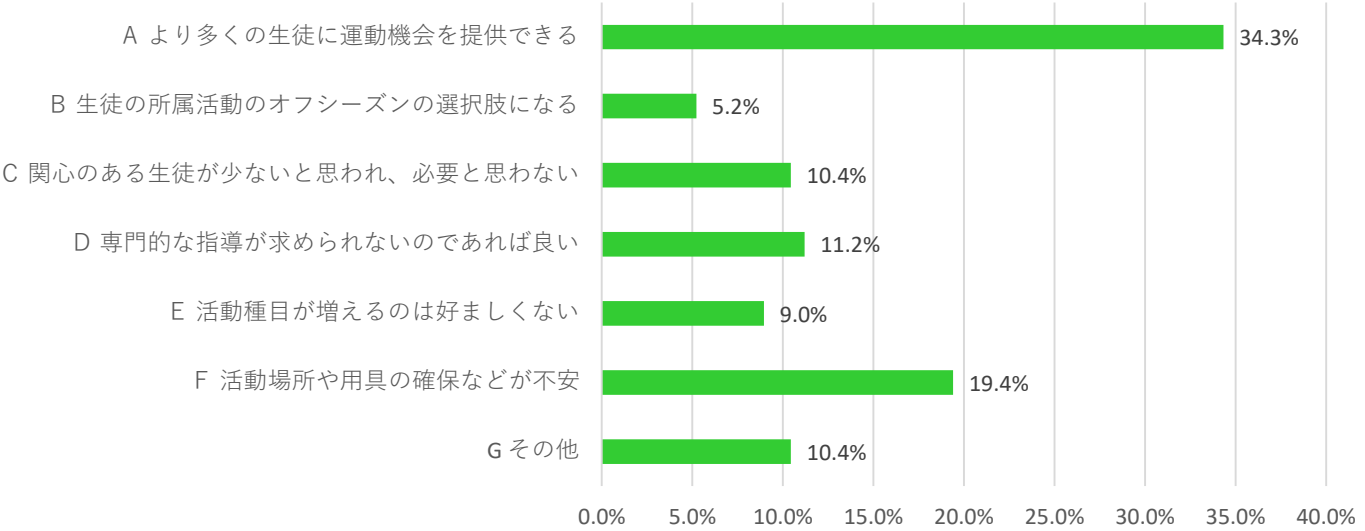


② 勝敗や大会結果にこだわらない、気軽に楽しく体を動かす、いわゆる「ゆる部活」（同好会やサークルのような活動）への参加希望

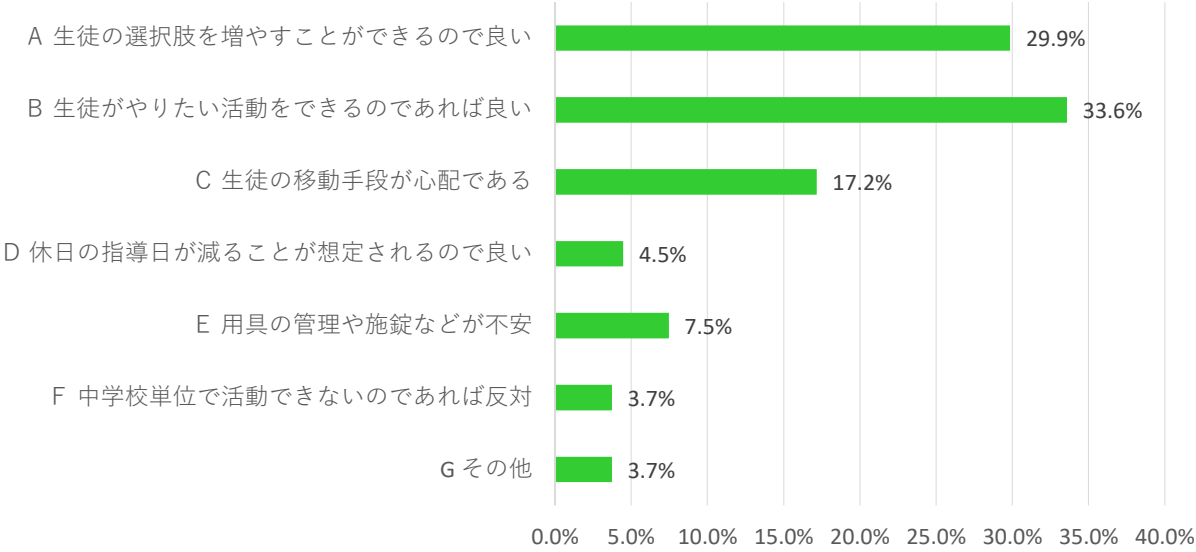


- 半数程度の回答者は、ゆる部活に対して肯定的な考えだった。
- 休日の合同部活動について、7割程度から賛成の意見が上がった。一方で「移動手段」や「用具の管理」の面から不安を感じている回答も上がっている。

③ （休日の部活動に関し）ゆる部活が佐久市でも行われる場合の考え

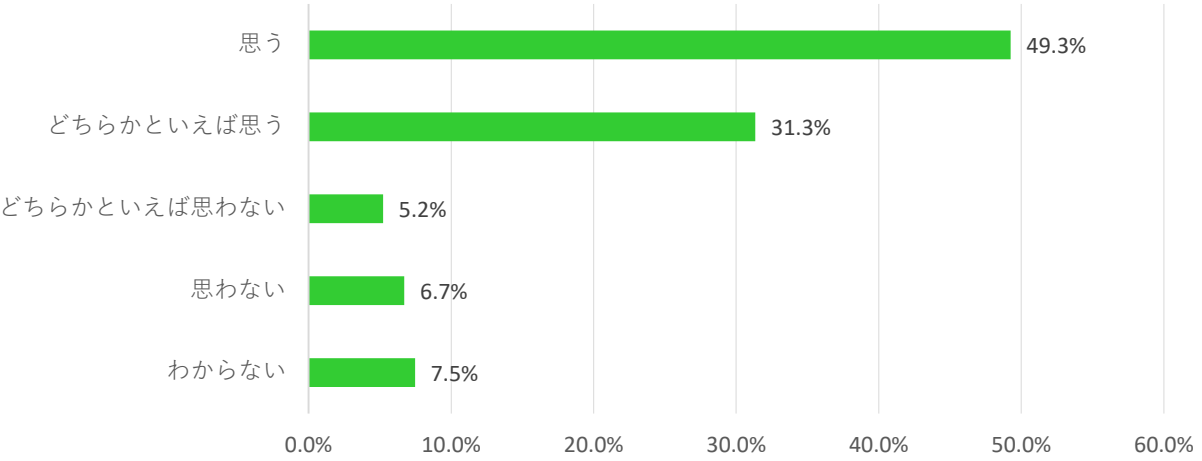


④ （休日の部活動に関し）部員数が少なく活動できない種目について、合同部活動等の取組により活動を継続・大会出場できる場合の考え



- 部活動の地域移行が教職員の働き方改革に貢献していると考えている回答者は、8割を超えており、働き方改革への期待が見られる。
- 懸念事項として、「教職員が継続して指導する可能性」が8割以上と最も大きくなっており、指導負担が減らないことが危惧されている。また、移動など生徒や保護者の負担への心配の声も上がっている。

⑤ 部活動の地域移行の、働き方改革への貢献



⑥ 部活動地域移行に関する、部活動の現場から考えられる課題（複数選択）

